



2・3月

華北合作目次

卷頭言

華北合作社系統機構の整備へ

特別寄稿

華北に於ける
合作運動に寄す

戦闘的組織運動
への方向轉換

華北合作社組織體系
確立への準備號

われ等の主張
わが指導する合作社の
現況

春耕資金六百万圓に決定

▲實踐者に寄せるの言

朝鮮留學歸來所感

(一)

(二)

(二四)

(二八)

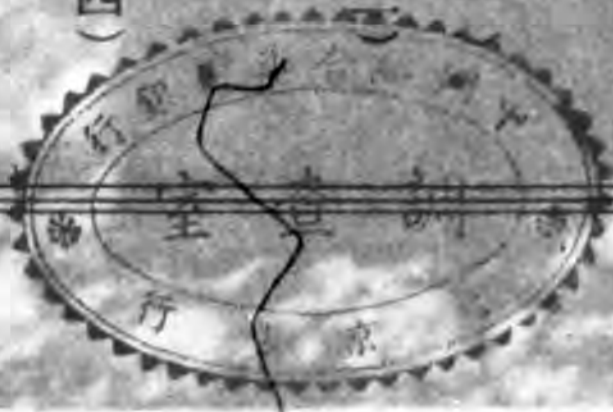
(二五)

(三六)

(四五)

(五〇)

(五二)



種子球根
植物種類
殺菌劑
噴霧器
農具

の 木植浜横



華北合作

日 文 欄

卷頭直言

わが合作社陣營の參謀本部たる合作社中央機關は、全華北合作社系統組織整備への出發と同時に今やその設置の前夜にある。これはわれ等合作社陣營の戰士としてまことに同慶に堪えないところである。

しかしながら、たとひ全国的にその系統組織が整備され、その中央機關が設置されたにしたところで、これによつて無條件に華北合作社運動が全面的に前進するものだとする早計は斷乎戒めなければならない。廻りくどいことは止して單刀直入、簡明直截に直言するたとひ合作社の形態だけ如何に整つたところで魂のこもらぬものであつたとすればそこに何等華北一億農民の志向する合作社たり得ない。ましてや農民の組織たる合作社がたとへば數字的形態のみに終り、組織を無視しあだかも指導者の意欲に従つて、即ち指導者のための合作社たるかの様相を示してゐるが如きにおいてをや。

華北に於いて合作社の系統機構を完備し、強力なる中央機關を設置し、同時に優秀なる指導者を獲得乃至養成することの喫緊且つ重要事たるは今更喋々の要は更にない。併しながらたとひ單にそのみを追ひ、魂を置き忘れ質的展開を怠ることありとせば許すべからざる痛恨事である。華北合作社はあくまで華北一億農民のものであり、農民の經濟生活の向上、延いては社會生活の向上のためのものであつて、如何に完備せる系統機關と雖もこれを度忘れしたとすればいたづらに佛作つて魂入れずの愚に墮したものと云ふべきである。更にまた指導者たるもの良き民衆の經濟生活の指導、訓練に缺けるところなき適格者を切實に要求してゐる。合作社指導者たるもの華北合作社運動の新たなる出發に當つて緊確一番一大決意を持つて立ち上るべきの絶好の機會である。

原稿編輯室に殺到せよめ

文章の上手下手は問はず。いなはで。葉言飾りたつ。六ヶ敷い葉を
使ふのが原稿はいな。手紙形の式もい……報告形の式もよ
使ふのが原稿はいな。手紙形の式もい……報告形の式もよ

華北合作社運動の逞ましましき前進へ!!!

華北合作社系統機構の整備へ

安河内 哲夫

合作社は本來資本主義社會に於て經濟的弱者が自己防衛の爲めの相互扶助、有無相通の利便を享受し經濟的向上を目的として發生したものであるが、之が夫々一定地域に於ける個々の合作社である場合それは非常に微力なものであり、其の發展も自ら制約を受けることは明白で、合作社本來の使命達成にも其の成果が期待出来ないことになる。此の制約を排除し充分其の目的を達成する爲めには幾つかの合作社が結合することに依つてより大きな力が附與されて發展することになる。

斯る合作社を基礎として其の上立つた中樞機關は自ら強大となり其の力と適切な指導を合作社に與へることに依つて合作社は漸次負荷された使命をも果し得るに至るものである。特に合作社が自由

主義的に發生したものでなく其の國の政策として取り上げられ、上からの施策として合作社が組織運営せらるる場合、上の政策を下に徹底せむるの爲めにも又合作社を發展せしむるに必要な指導監督及バックの強力な力となる爲めにも系統組織の必要なことは絶對的な條件であつて、合作社が經濟團體である限り其の機構は全國的な規模に於て最大の能力を發揮し得る。然も出来るだけ簡単な組織機構が要求されるのは當然であらう。

華北に於ける合作社運動も其の進るべき課程として先づ縣の合作社が設立されたが爰に述べたる如く單位合作社が進展し得る程度には自ら限界があり、特に此の國の性格及び國狀から當然負荷せらるべき幾多の特殊使命を帯びる合作社が急速なる進展を要請せらるゝ

現在の客觀的狀勢に於て合作社進展の必須條件である系統組織の確立と人的要素の質的擴充は最大緊急の課題であつた。

然して此の系統組織の確立と之に伴ふ指導監督系統の一元化を主張する意見は昨年の初頭或は更にもつと早く既に合作社運動に關心を持つ一部識者の間に拾頭してゐたのであるが、當時は直接合作社指導運営の掌に當つてゐた新民會自體が華北の新狀勢に相應する爲め宜撫班との統合、機構改革が實施せられんとした際で運動の中樞たる中央が何等積極的に發動せず、従つて地方は現地の狀勢に應じ工作の必要上自主的な合作社運動を展開してゐるに過ぎなかつた。

昨年四月頃より指導方針の統一が中央、地方の雙方に於て切實に叫ばれた結果、指導監督系統を規正する爲め中央に於ける關係各機關を網羅した合作社輔導委員會の設置が提唱されたが種々の事情から遷延し、拾月中旬に至つて漸く合作社研究委員會が組織され、こゝに始めて上級機關設置問題が取り上げられるに至つたのである。

爾來再三論議研討せられ大體の大綱的成案を得たので近く正式に發表され、中央機關並に省聯合會等の公式の上級機關の設置を見、系統機關が一應確立され、之に伴つて人的要素の質的擴充が行はれることになつた譯である。將來に於ける機構の簡略化は當然の歸結としても合作社運動の急速な進展が明確に豫約され着々實施される運びに立ち到つた事は合作社運動にたゞさほるものにとつて同様欣快にたえない次第である。

華北に於ける合作社は當面の緊急課題であつた系統組織が確立され、新民會との密接な然も有機的關係を保持しつつ其の指導の線に沿ひ新民會の使命の一翼として合作社に負荷せられた任務遂行に邁進する譯であり、新民會は合作社との組織的混同を避け事業の經營主體としての合作社を明確に認識し、之を政策的に把握指導、分會の實踐運動と合作社の活動とを合理的にマッチせしめ會工作を着實に進展せしむることが必要であらう。

將來に於ける合作社運動の正しき發展の成否は新民會及合作社に

於て活動する同志達の相互に理解ある融和協力の如何に係るとも言ひ得るし、合作社運動を正しく且つ力強く進展せしむることは他面新民會運動の素地を培養し相互に運動の促進ともなり、兩々相俟つて大東亞共榮圈建設の鞏固なる基礎を築くことになるであらう。

華北合作社の重要問題

發表遅延について

編輯室

前號卷頭に特報せる而して次號に於て詳細に報道する約束であつた事項は都合により本號に於て發表出來ないことになつたのは残念であるが、本誌印刷完了の頃は發表する運びに至るであらうと豫想される。従つて本問題の華北合作社進行上最重要問題たるに鑑み、發表の出來る日を待つて即座に或は號外として或は其他の形式に於いて速報することとする。

華北合作社

組織體系の確立への準備

省合作社聯合會の組織に就いて

一、省聯合會設立を繞る種々の意見

省聯合會に就いては設置するか否かに付き色々な意見が存在した。然し縣聯合會が組織的に孤立し、上部系統組織よりの援助指導なくしては、その發展が望まれぬ段階に達して居る事は、合作社運動關係者の齊しく認むる所であつた。然して統制の徹底經營能率の向上の點から上部に一個の組織を設け、縣との中間には支部を設ける方針に於て有力な意見は一致を見て居た。

省聯を設置する意見に於ては、之以上の上部系統組織即ち中央機關を考慮せぬ論と考慮する論の二通りがあつた。前者は合作社の聯合組織は省に止め、中央には精々指導のみの機關を設くる考へ方で、後者は差當り中央會を設けてもすぐに華北全般にその手を伸ばす事は不可能であるとの豫想から、先づ省聯合會を作り、合作社運動の進展を待つて中央の設立に至らうとする考へ方である。

全華北に亘る合作社組織の一元

化及其の指導方針の統一徹底が、目下の合作社運動に課せられた使命を達成する上に絶対に必要であり、然も指導は事業及其の監査と結付かずしては、何ら有力なものでない理由から、差當り金融部門の整備を主とし、之に指導部門を加味する華北合作社中央機關を設立すとの決定を見たものの如くである。

かくなつた上は、省聯合會設立の問題は中央と縣との中間組織を如何にするかと云ふ問題に轉化する。之に就いては中間組織を中央機關の支部にすると云ふ意見と省聯合會にするると云ふ意見が存在した。思ふに省聯合會とした場合に於ては、省は殆んど百に餘る縣を管轄する故に、直接縣を把握指導し、又その世話をする事は不可能であり、概ね道單位に支部を必要とするのである。故にこの二つの意見は判り易く云へば、中央、支部、縣とするか、中央、省、支部、縣するとかと云ふ事になる。前者

の理由とする所は、聯合會が自治的結合で、一個の法人をなす故に、方針の分裂、一元的指導統制の弱体化、事務及び經營の非能率化を生ずる虞を防止せんとする事であり、後者は行政機關との關聯性が主たる理由となつてゐた。行政機關との關聯性は組織形態に於ける關聯性と省公署の補助金との關係との二つに分けられる。前者は新民會の組織系統の約一年に亘る運用經驗に依つて、民衆運動の組織を行政機關のそれに似せる事の不適當性は新民會の同志諸君が身に沁みて痛感された事からして、容易に當を得てゐない結論を下し得る。然も合作社の能率を尊ぶ事は、その經濟組織なる性質によつて、より以上に緊要なのである。補助金は華北政務委員會に於て一括して中央機關に交附される方が、運動進展の省別跛行、省のブロッカ化を防止する見地から原則として妥當であらうと思はれる。

こゝで行政機關の省道縣制に關

する淺見を述べれば、省公署の權限は非常に強く、道公署は省公署と縣公署の連絡機關的のものである。之は清朝の巡撫、民國革命後の督軍省長の性格及び行政機關の中に永年必みこんだ包辦的性格等の當然の歸結であつて、指導を重んじ新しい建設へ邁進する機構として聊か力の發揮に不便であらうと感ぜられる。何故ならば、指導する場合にはその管下十縣乃至二十縣が手頃であつて、此の程度ならばよく各縣の事情も判り、長官の把握も充分に行ひ得るが、それ以上の場合にはこれらが不充分的な爲善意をもつて行はれた事も連絡不圓滑及意圖徹底不充分的の爲結局却つて逆なものになつてしまふ虞がある。而して指導を徹底せしめるには、それに關聯して權限を附與しなければその完遂を望み得ないのである。行政機關はともかくとして民衆運動に於ては同志的團結、及指導統制の強化が發展の爲の必要條件となる故に道組織を強くし省は連絡機關的なもので足ると考へられる。滿洲國興農合作社の中央、省制を持ち出して、省聯合會設立を主張の基礎とするの

は、約二十縣程度を管轄してゐる滿洲國の省と百縣以上を管轄する華北の省とを名前に因はれて同一視するものではあるまいか？

要するに種々の意見の綜合された結果、省聯合會は差當り中央機關と縣聯合會の仲繼的機關とし、中央機關整備の基礎を培養しつゝ、中央機關の支部に轉化せしむる様

一、省聯合會の性格

省聯合會は「中央機關と縣聯合會の仲繼的機關」と意圖せられてゐる故に、自治的聯合團體たる形態が採られても、絶対に中央の統制に從はねばならない。いやしくも人事又は經營等に於て中央の統制を紊し、省のプロツク化を計る様な事があれば、新秩序建設に於ける重要組織の隊伍を亂し、勢力の分散を圖つたものとして斷乎肅正さるべきである。而して中央

に結論づけられた様である。察するに現在の政治的狀勢と中央に直ちに大きな機關を作るまいとする希望等により影響されたものと見られるのであつて、結果から判斷すれば、中央機關設置論と中央機關を將來に豫想する省聯合會設立論との結合と云へるのである。

× × ×

二、省聯合會の組織

省聯合會の會員は當該省内に於ける縣聯合會に限られ、強制加入となるべきである故に此の際看板だけの縣聯合會又は經營責任者にその人を得てゐない縣聯合會を直

機關整備の基礎を培養するには縣聯合會に至る合作社全組織の協心戮力が必要であるが、殊に省聯合會はその先頭に立ち、中央機關整備に貢獻し、その充實と共に地方支部に轉化する日の一日も早からん事を期すべきであつて、省聯合會自體の發展の夢想に因はれて、將來の中央機關地方支部への發展を阻止する様な動きは嚴に慎しむを要するのである。

とする保證責任である。尙省聯合會はそれが經營的に自立出來ぬ現狀よりして經費補助の意味で省公署の助成金又は中央機關の交附金を受け、事業進展を圖らねばならぬ。

省聯合會の運営を堅實にし使命實現を支障ならしむるため、指導陣容中に省公署、新民會又は華北棉產改進會、華北交通株式會社の職員が參加する事になつてゐる。

省聯合會の組織問題に於て最も難しいのはその支部に關する方面であつて、この事情は特に河北省に於て著しい。この省に於ては縣聯合會は普及し、事業の量も相當に昇り、必要に迫られて成立した道聯合會も一部に存在し資金迄有つてゐる。然も省聯合會所在地となるべき保定は河北省の經濟中心地でない。従つて經濟的重要性に應ずる支部の權限擴大及道聯合會資産の一應の分配が考慮されねばならぬと思はれる。

尙華北合作社中央機關は差當り金融業務に關し各省聯合會内に支所を設くる模様であるから、縣聯合會に對する貸付、預金受入業務

は省聯合會と中央機關支所の緊密なる聯繫の下に行はれるであらう。

事業に就いては、省聯合會は差當り教育、宣傳、普及、監査等の指導業務に重きを置き、經濟業務は金融業務に限定し、販賣購買業務に關しては縣聯合會の販賣購買の斡旋に止むる事になるのであるが、現在の縣聯合會の經營擔當者の手腕經驗及取引先の狹範圍の爲縣聯合會の取引は不利に陥り易く、延いては社員の信頼を害する虞があるので、斡旋業務は相當活潑に行はれる事が必要で、なるべく上部の斡旋を常態とする様に指導しなければならぬであらう。

農業技術の指導に關しては華北農事試驗場及華北棉産改進會の指導を下に傳達する事を主とする事は、經費及人的關係から考へて妥當であらう。

上述の如き組織を以て省聯合會が近く成立するのであるが、我々は之を充分活用しつゝ、運動の全般的進展を計り、その輝かしい發展の解消、中央支部への移行の時期を早からしむる様、極力奮勵努力しなければならぬ。

(編 田 政 雄)

應募原稿……第一席

社員外利用に就いて

産業組合中央金庫

大 野 利 雄

協同組合運動の歴史が十八世紀以後に於ける資本主義機構に對する被壓迫階級たる中小産者の防禦手段としての城砦であり、經濟的弱者の解放運動であつた事は歴史の變遷、社會情勢の推移に依り協同組合の性格が變更されつつある今日に於ても尙ブリンシバルとして嚴存して居る。

此の意味に於て、協同組合本質自體としては合作社の經濟機關を社員外の之を利用し福利を得るを得ざるは當然と云はねばならぬ。

然しながら今日、社會の客觀的情勢は中小産者の城砦として合作社を單に出資社員の經濟手段としてのみ存在するを許さなくなりつつある。

即ち合作社事業の根本は何と云つても社員の經濟更生でなければならぬ。

而して社員の更生は部落の更生であり亦農村の更生でもある。農村そして部落の更生達してのみ初めて社員個人

の經濟更生は望み得るのである。

此處に金融、生産、配給、消費等日常生活の諸過程に於ける部落活動の綜合的操作を必要とし又合作社の活動も此處に充分の關心を持たねばならぬ。

が、然し果して部落民の全部が合作社を利用し得るや又之が爲全部部落住民に合作社加入の經濟能力有りや。

此處に合作社運動當然の欲求として加入し居らざる部落民を如何なる形式に於て吸收し之に合作社利用の道を開くべきかの問題が生ずる。

今筆者の論せんとする處は此の全部部落民吸收策としての『合作社設立について』である。

此處に言ふ合作社とは一合作社事業單位たる村落を其の地の實情、地形等を斟酌して數區に分ち其の分ちたる各一區を範圍とし全住民より結成せられたる團體であり、合作社事業の部落事務を中心に冠婚葬祭、自警、作業等の共同化を計る相互扶助の自治的綜合

機關である。

之が性格としては全住民の總意に依る自發的團體とし其の設立に當つては部落民の意志を尊重し極く自然的なものとす必要がある。

而して之を合作社に團體加入するの道を開きて必然的加入とし以て全部部落民を系統的に吸收し、社の事業を全面的に利用せしめんか、現在加入し居らざる部落民の經濟的福祉は勿論發展途上に在る合作社の事業計畫遂行の基礎的實行團體として、農業生産生活資材の配給生産、物の集荷販賣、金融等民衆民生の向上政策の完遂以て合作社運動の強力なる下部組織とする事が出来るであらう。

然し乍ら如何なる組織と雖も其の成果は一に運営方法の如何にある。

之を惟ふ時此の運営に當りては地方事情を充分斟酌の要あり、各部落の有力者の協力、進取ある青年の正への勇敢さにも負ふ處充分とせねばならぬ。其處に初めて部落の更生をして個人の更生は可能であらう。

中國には自治組織として世界にうたはれた保甲制度があつた。其の熱意こそ新生中國への輝しき發足が望まれるものである。

x	x	x	x	x
x	x	x	x	x
x	x	x	x	x
x	x	x	x	x
x	x	x	x	x

縣合作社聯合會の組織と運営

一、組織に就いて

中華民國に於ける近代的合作社運動は民國八年復旦大學教授薛仙舟の上海國民合作社儲蓄銀行の設立に始まつたが、社會改良を目指し知識階級、天災戰禍よりの復興救済を意圖する慈善團體、農民の土地闘争を防止せんとする政府、遊休金融資本の有利なる投資先を農村に求めんとする銀行がその推進力をなしたのであつて、民衆の組合的習慣による自主的發展は存在しなかつた。

一般に後進國に於ける協同組合運動は民衆の經濟力並に知識程度の低位により民衆の自覺による組織を待つ餘裕なく、資本主義の農村侵入による打撃を緩和し國力を維持すべき緊急な國家的必要から政策として上から實施されるのであるが、華北も此の例に洩るゝものではない。

華北合作社運動は流通經濟の合理化、民生の安定、農業生産力の

發展を圖ると共に、この基調の上に立つてこそ始めて達成せらるべき華北の特殊性より要求せらるる政治的經濟的諸任務が課せられてゐる。即ち大東亞共榮圈建設の爲の經濟的基礎として日滿支經濟ブロックの重要な一翼としての華北經濟の再編成を促進し、之が楔となり、このブロックの要求する農業生産物の増産確保を圖ると共に、新民會の領導下に強力に進展せしめらるゝ新秩序建設の爲の民衆運動の重要なメンバーとして組織擴大の先鋒となり、剿共工作に於て經濟組織として利點魅力を振りかざし積極的に參加協力せねばならぬ。かゝる使命の故に、更にかゝる使命を民衆自體が自覺しない故に、華北の合作社は上よりの政策とし指導者精神を以て設立され運用されるのである。然るに合作社は協同組合の本質上自主性なる屬性を有しなければならぬ。社員の自發的活動、理解に基づく協同が無ければ合作社の合作たる活動は不可能であり、合作社

に課せられた全使命の達成は畫餅に歸する。この上からの指導性と下からの自主性は何處かで結びつけられねばならぬ。この結合に於ける最重要據點は行處か、それは縣聯合會である。

その理由は使命の自覺その遂行の能否に求められる。鄉村住民に使命の自覺なくその理解も早急に期待し得られぬ事は華北の教育及民衆の文化程度から容易に結論し得る所である。鄉村合作社の役員となり易い村内の有力者も大同小異である許りでなく、却つて基本的使命である流通經濟の合理化、民生の向上、生産力の發展を阻止する傾向があるのである。彼等は殆んど土豪劣紳の性格を有し不在地主、商人、舊型官僚と共に一般農民より半封建的搾取を行ひ、爲に農民を疲弊せしめ農業生産力の發展を阻止する桎梏となつてゐるのである。然るに縣に於ては既に合作社要員が數多の縣に配置せられ、今後又續々訓練せられ配置せられるであらう。この人々は上

部の指導により使命を自覺して居り、又不充分な人も容易に上部の指導の枠内に入れ得るのであるが、かゝる人を全鄉村合作社に入るゝ事は人的に又經濟的に不可能である。従つて合作社系統組織に於て指導性を有する最尖端の組織は縣であり、縣聯合會は強い指導者の性格を持つて農民に相對し彼等の自發協同を誘發強化しつゝ使命實現に對する積極化に應じ合作社運動に於ける自主性を濃化する如く指導して行かねばならない。而して合作社運動においては事業經營と結付かぬ指導は無力であるから、事業經營の實權は鄉村に無く縣に集中しなければならぬ。之が縣聯合會の組織方針を決定する根本基調である。

縣聯合會を事實上の單位合作社とする方針には以上使命上の理由に加へ運營技術上の理由が存する。合作社運營上の危険を豫防し堅實なる發展をなさしむるには信用及事業分量の大なる事を要する。合作社に於ける信用は人的信用である、即ち社員の多數と經營者に優秀人材を得る事である。華北農村の疲弊せる現状からすれば經營の單位を鄉村に置く時、合作

社は非常に微力化し些少の危険負擔によつて破産し易く經濟的微力は優秀なる經營擔當者採用を困難にし不成績の原因を累加する。事業分量の過少は直ちに經營の基礎を脅かすのである。日本内地に於て小單位を採つて多くの解散組合を出し、それが對策として合併に苦心した轍を踏むの愚を再びしてはならぬのである。今敵と戦ひつゝある華北の地に於て破産又は不振合作社を作る事は治安上の影響輕視出來ない。堅實なる經營に依つて社員を利益の享受から相互扶助、團結強化へ更に進んで全般的使命實現への積極化へと誘導しなければならぬ。

以上の理由に依り縣聯合會は實質的に單位合作社たる性格を持つのである。縣聯合會の性格は鄉村合作社の性格によつて規定せられて出て來るものであるが、鄉村合作社については同志安齋氏が書いた。敘述の都合上止むを得ず鄉村合作社に觸れたがそれを併讀する事により足らぬ所を補つて頂きたい。

(一) 構成員

縣聯合會の構成員は當該縣内に於

ける鄉村合作社に限るものとし強制加入とする事に華北合作社に關する意見が決定的である事は、組織の重點を農村に置き、市街地の特殊合作社を縣聯合會に加入せしめず縣聯合會を事實上農事合作社たらしむるものである。之は農村重點主義を叫びつゝ組織の安易性に引きづられ市街地消費組合的組織に陥る傾向に對する頂門の一針である。かゝる傾向は必然的に城關内商人その他の縣聯合會組織内に於ける比重を高め、合作社運營の方向を歪める。何故ならば縣聯合會は事實上單位合作社でありこの組織内に農民に比して文化程度高く從來農民の無智に乗じて不當の利益を占むるを常態として居た之等の人を入れる事は、彼等の利益が農民の利益と融合せず農民の福利伸張に關する共感薄く、然も從來の慣習よりする農民の半封建的從屬を利用し、全體を引きずる傾向が強い。然して農民は長年の壓制搾取に慣らされ彼等の志向要求を腹藏なく發表する事は仲々しないのであるから、彼等の意向を正しく把握するにはたとへ發表に好條件な状態においたとしても語

間の意味迄洞察せんとする心構が必要である。華北や滿洲の農民は彼等に加へられた虐政、不當なる取扱に對する不満を「今年は年廻りが悪い」と云ふ言葉で表現する、彼等が特定の人又は機關が悪いから困ると云ふ事を表明する時は、も早や蜂起の寸前にあると云ふ事が云はれてゐるが、以て参考とするに足る。かゝる状態に於て農村を重點とし農民把握を完遂するため縣聯合會の構成員が鄉村合作社に限られるのである。この事は市街地の特殊組合を無視する事ではない。之は縣聯合會の組織内に入らず上級機關に加入せしめる等特別の處置を取り、縣聯合會とは業務協定により結び付くべきである。華北合作社の性格全般に色濃くしみこんでゐる農事合作社的傾向よりして重點よりの偏向は嚴しく戒しめられねばならぬ。

機關その他公共團體職員への購買品配給又は商人に對する卸賣等は合作社の本質に外れる行爲は嚴禁しなければならぬ。行政機關其他の職員に對する必需品配給は一時的なる場合は新民會の厚生工作の一部門となるであらうし、恒久的な場合は消費組合として市街地特殊組合として扱はるべきである。

鄉村合作社の強制加入は華北合作社運動に於ける痛となしてゐた指導系統機關別による分立を決定的に打破する規定として重要な意義を有するものである。指導育成機關の分立は合作社運動の草創期に於ては各方面各様の要求から合作社が急速に作られる必要があつたし、又普及の速度から云つても統一の原則を抽象論として振りかざす事は當時の狀態に副はなかつた爲に、止むを得なかつたが、運動の現段階は指導系統別分立による方針不統一、之より結果される指導理念の混亂、組織及業務の重複による經費資金の亂費、社員負擔の過重、何よりも悪い事は統一的勢力としての合作社組織を不能ならしめた點等の缺陷を前進へ

の桎梏として粉碎しなければならぬ状態に達してゐる。此等の弊害除去の叫びは現地に澎湃と漲つて來て居た。然も各指導機關は凡て全華北的なるもの故、現地的解決を困難ならしめて居た。今こそこの缺陷を全華北的に決定的に解決すべき秋である。この規定により合作社は今後指導機關又は設立機關の如何を問はず統一的勢力として結集せられ、指導統制の社員までの侵透を達成し得るのである。

(二) 出 資

縣聯合會の出資は鄉村合作社への社員の出資金をそのまゝ全部鄉村合作社より集めなければならぬ。之は事業的に見て縣聯合會が實質的に單位合作社であり、鄉村合作社はその下部組織として資金借受團體、販賣品集荷團體、購買品配給團體として運営される事から必然的に生れて來る結果である。經營の危険を負担せず自身で經營を行はないう鄉村合作社に資金を置く事は全く無意味である。

鄉村合作社に出資金を残さず之を縣聯合會に集める事のも一つの意義は社員は縣聯合會に對する結

付を強くする事である。金額は少なりと云へ共同の具體的表現であり又權利の附隨してゐる自分の出資金が縣聯合會にあると云ふ事は一つの精神的紐帶として社員を縣聯合會に結びつける。之は敵より民衆を確保する場合の一つの力となり得る。

是に注意すべきは「合作社は社員の出資により活動するものなり」と云ふ一般的な規定を華北に其の儘當嵌めて、出資金を運営資金として重視する考である。之は現段階に於て決定的に誤つてゐる。半封建的零細農制の下に喘ぐ疲弊した農民にそれだけの資力の有る筈がない。無ければこそ今までも巨大の合作社事業助成金が支出されたし、又農業金融資金として巨額の資金が準備される様に決定したのである。出資を運営資金として重視するならば、必ず巨額の出資を求めざる事になる。之は華北農村の現状よりして必然的に一部の者が多額の出資をなす事になる。多額の出資をした者はその代りに何かそれだけの特殊利益を豫定に入れるのであつて、それが無ければ出す筈がない。従つて合

作社はその一部の者に牛耳られ、使命の達成を引き曲げられてしまふ。

殊に民衆獲得の先鋒たる使命を擔ふ合作社はまづ取ると云ふ事を考へてはならぬ。まづ與へ之に牽きつけて組織し理解せしめた上で取ると云ふ順序が順當である。

理解が徹底して居ないのに形を整へるために出資を取る事は農民に役所的營業が始まるので税金のやうなものを取られるのだと云ふ感じを與へるのみであり、民心の把握、合作社の正しい理解の上に相當な障害を加へるであらう。現地の例によれば準備もなしに出資金を徵集して合作社の體裁を整へたために、農民への思惑から何かやらねばならぬと焦つた場合もある。準備なしに事業を焦る事は合作社運営に於て最も危険な事である。

出資金は精神的紐帶たる意義が強いのであるから、社員への加入を容易ならしむるため、一口の金額は多額であつてはいけない。中國は合作社法は事變前制定されたものが暫行法として存在してゐるが、之に一口二圓以上と規定されてゐる故に、定款に於て一口二圓と規定して、その内一圓を納めしめ、残りの一圓は事業益金、拂戻金等より納入させる事とし、初の一圓に於ても分割拂を認めると云ふ方法が相當に行はれてゐる。全戸包擁に導く方針からすれば、かゝる方法が最も適切であらう。

(三) 責 任

縣聯合會は保證責任とすべきである。有限責任ならば出資の限度に於てしか責任を持たぬ故に、出資總額は少いが事業は相當大規模に行ふ事を豫定せらるゝ合作社に於て、信用上の觀點から事業の發展が阻止されるのである。

それだからとて無限責任にすれば、信用は大になるが、構成員相互の親和相識の關係が無いから、構成員は自分の知らぬ原因による破綻を自己の財産の全部によつて償はねばならぬと云ふ懸念を生ぜせしめる。之は組織の擴大及將來に於ける増口を阻止する。この點は相互の面識親和により互に戒しめ助け合ひ得る鄉村の組織と趣を異にする所である。

保證の限度は、一方信用の増大を計り、一方構成員の不測の場合

に對する懸念を考慮し、出資額の二倍程度を妥當とする。

(四) 事務所

縣聯合會は縣公署、新民會縣總會及び其の他の連繫を保持すべき機關、會社との連絡及び此等機關の集中してゐる所は殆んど縣の經濟的中心地をなしてゐる關係上、此等の存在する縣城内に事務所を置くのが至當である。而して此處は普通縣内に於ける最も治安の良し所であるから、その組織網は治安狀況種々な鄉村に戰鬪的に伸ばさねばならぬにしても、經濟組織の本質上その中樞は治安良好の土地に置かれねばならぬ原則に相應するのである。

鄉村合作社の組織網が擴大して縣城から遠く連絡が不利不便な事情を發生した場合は、その地域の經濟及交通の中心地に支會を設ける。現状に於ては支會の設置點の決定に於て治安上の考慮が特に拂はれねばならぬ。

(五) 役員、理事會、總會、參與

役員は理事長一名、副理事長一名、專務理事一名、理事若干名、監事三名とするが妥當である。

理事長、副理事長、專務理事を業務執行機關とし、重要業務は理事長が執行し、事故ある時は副理事長、專務理事の順位により代理する、常務の執行は專務理事が行ふのである。

新民會の責任者を副理事長とし、新民會と合作社の使命及性格の關聯からして、合作社の事實上の責任者たる專務理事に新民會々務職員を以て充つる事によつて、指導性を充分確保し、他の理事監事は總會に於て自主的に選出させるが適切である。尙副理事長即ち新民會縣總會次長と專務理事は常に鄉村合作社の動きに注意し、正しい方針に進み行く鄉村合作社の代表が選出されるやうに誘導しなればならぬであらう。

理事は監查機關であつて、理事會に出席し發言權を持ち又意見を上級機關に上申するが、別に監事會を組織したり、總會招集權を持つたりする必要はない。總會は會員によつて構成され、最高意志決定機關となる。以上縣聯合會の諸機關を羅列したが、此等の機關は如何にして構成されねばならぬか。

理事會と總會との關係については、從來總會に於て相當綿密に意志決定し、その範圍内に於て理事會が審議執行する事が原則となつてゐるが、代表が餘り理解もせず又一々理解に努力させねばならぬ程重要でない瑣末事まで一々總會の決定に待つと云ふ自由主義の殘滓的な非能率性を排除し、組織の基本となる定款の制定變更、事業計畫書、豫算決算の承認、役員の選出のみを總會に任せ、その他の重要事項審議は總て理事會に委すが妥當である。

聯合會の獨立性が強く、組織運営には自由主義的色彩濃く、然も一般的文化水準が高い時には内部的監査の方法として考へられ得るが、華北の如く系統組織による上からの指導と結び付いた内部監査の方法が採られる所ではその必要はない。平生の些少の偏向、不正を注意し、經營の狀態に氣を配り、理事會に於て發言する程度で充分である。上級系統機關による内部監査の行はれた協同組合に於ては監事の總會招集權は三十年以上の間一回も行使されず空文として規定の中に存在してゐる實例があるのである。監事の權限は上級機關への上申權により充分強化されるのである。

既述の通り縣聯合會は上からの指導性と下からの自主性の結合に於ける最重據點であらねばならぬ。上からの指導性の失はれぬ限りに於て出來得る限り自主性を濃厚にする事が構成員の熱意を誘發し彼等を積極化する途である。この意味に於て國家の意志を遂行する行政機關の長を理事長とし、華北唯一の民衆指導實踐組織たる

監事は監事會を組織したり、總會招集權を持つたりする事は、縣

合作社運動に對し、華北棉產改進會及華北交通株式會社は部分的とは云へ、非常に強い要求を持つて居る。之はこれ等の機關が自ら合作社を育成指導した理由であつた。即ち華北棉產改進會は棉花の改良及増進確保の爲、華北交通株式會社はその經營する汽車、自動車、船の交通路を保護する目的によるその兩側十軒の間の住民の民心把握の爲である。これらの使命

は非常に重大であるが、然し合作社運動の持つ全般的使命よりすれば部分的なものである。基本的な機關以外のものが理事として澤山理事會に入る事は下からの自主性の面を減殺する傾なしとしない。故に之等の機關は參與會を組織し之に理事長、副理事長、専務理事を参加せしめ、關係事項につき聯絡協力を行ふが妥當であらう。現地の狀勢に依り參與理事として理事會に参加せしめる事も差支ない。

理事會及總會は現階段に於ては指導者精神による説明を通じて民衆を納得せしめ、之が民意として出て来る様に指導しなければならぬ。その重要な意義は會議活動を通じての宣傳訓練、民意の聴取洞察にある。

(六) 經費

發生期合作社の常として、當初は經費を償ふに足る収益を擧げる事は中々困難であるし、合作社の健全か否かは全縣に與へる政治的經濟的影響は尠少でないから、收支相償ふに至る迄合作社は助成金を必要とする。合作社への助成金はその意義、目的よりして行政機

關から支出するのが世界の通則である。又系統的に組織された合作社に於ては、上部機關は能ふ限り下部組織の強化の爲同じ目的を以て交付金を渡し、その經營的成人化を促がすのである。(尙助成金及交附金は經費として使用さるべき金である事は一般の通則である。)

二、運營に就いて

縣聯合會は華北合作社の地方的據點として金融販賣購買利用の綜合的運營を爲すと共に、合作社普及發達の爲の指導及農業技術指導を爲し、鄉村合作社を借受團體集荷團體配給團體のものとして統制從屬せしむる事が、縣聯合會の事業運營の基本である。

縣聯合會は實質的に單位合作社として事業の運營をなし、完全に指導及四業兼營を行ふのである。而してその運營に當つては、大東亞共榮圈建設の爲華北合作社運動に負荷された經濟的及政治的任務の達成、半封建的搾取の合理的排除、及び合作社の自主性育成の爲に、強力なる指導統制を行はねばならぬ。この理由として擧げられ

た三つの目標は互に密接な關聯性を持つてゐる。半封建的搾取の合理的排除を圖らずして、大東亞共榮圈建設の爲要請せらるゝ任務の達成は覺束ないし、自主性を育成せねば、眞の經濟提携、共同防共は實現されない。民衆の自主性には實現されぬ提携共同は挿芽と同じであつて、確固性がない。民衆が生活の中から共同提携を希ひ、之に對する反逆は民衆に對する反逆としてそれを防遏に努むに至つて始めて、泰山の如き確固性を有するのである。又その自主性は半封建的搾取を合理的に排除せねば存在し得ないし、又存在を許せないのである。

更に具體的に説明せば、大東亞共榮圈建設の爲の諸任務中には棉花麻等の共榮圈の要求する農産物の増産、石炭、綿布、鹽、雜貨等の配給合理化、敵の抗戰經濟力低下及民衆の積極的奪取の爲の敵地區經濟封鎖への協力等色々あるが、總て之等は指導統制の強化なしに行はれ得るものではない。半封建的搾取に就いてはどうか。之には色々の形態があるが、合作社運動に差當り關係を持つも

のは高利貸商人及仲介者の不當搾取、小作料、苛酷な課税等の社會的原因及び天災によつて痛めつけられた農民は、耕作の初、收穫前の端境期、家人の冠婚葬祭等に際し、高利貸の下に走る。華北に於ける金貨の利率は商業金融に於ても十割を突確するものがある。農民に對する利率に至つては二、三割から二十割を越へる範圍迄色々ある。その高率は先進各國の常識を以て量られないのである。商人は農民の無智無力に乗じて不當な利潤を收めるのみならず、農民に對する金融を通じて不利な取引から彼等が逃げ出さぬやうに拘束するのである。

更にその間に介入する仲介者に依つて農民の不利は増加する許りである。例を棉花にとれば棉花協會の買付値が百二三十圓から九十圓位迄の時奥地買付値は四十圓四十五圓と云ふ様な値であつた。之でいくら棉花増産、集荷の増加及インフレ防止を叫んでも、實効は納められぬ。然も農民はかゝる機構にしつかと結付けられ、之を自力で絶ち切り得ないのみならず、合作社に加入した後も、統制を緩

めると舊機構の拘束は直ちに活潑化するのである。更に郷村の有力者は一般に土豪劣紳の性格を有して指導統制を緩めると合作の良意圖はこゝで止まり、住民の八十八パーセントを占むる中小農に滲透せず、却つて自分の不正を隠蔽せんとする土豪劣紳の悪宣傳に依り離されるのである。

第三の自主性の育成は上述の事情と密接に關聯する。現在自主性を全面的に與へる事は一部土豪劣紳の自主性を認め多數を占むる中小農の隸屬を是認する事である。郷村の有力者の土豪劣紳の性格を洗ひ落す迄は、自主性は必要な程度に制限され、指導統制は強化されねばならぬ。更に合作社の全般的使命に對する社員認識向上が、自主性賦與の條件になる事は云ふ迄もない。自主性は上述の様に今は制約を受くるべく余儀なくされてゐるが合作社の本質からして、之を伸長せしめねばならぬ。之には聯合會の誘掖指導が必要である。而して全民衆的自主性は一部有力者の相當に根深い抵抗を抑へつつ實現される故に、強力な指導を下から盛り上げる力に結び付けな

ければならないのである。こゝに土豪劣紳に關し色々述べたが、誤解を避けるために一言して置く。彼等に就いては組織外に放逐せよと主張するのではない。合作社組織の初期に於ては我々は必ず彼等の力に待たねばならぬ。然し組織に於て先づ彼等を擁護むからとて、最後の運営方針迄彼等本位にせねばならぬと云ふ結論は出來ない。全住民と共通する利害の面に於て彼等を擁護むやうにすべきである、然して之が全戸加入を目標とする華北合作社の正統な行き方であると云ふのである。

之に對する反對論は合作社の組織運営の重點を郷村内の有力者に置けと云ふのである。その理由とする所は、「彼等がたとひ二〇%を占むる少數者なりとは云へ、實質的に郷村内で力をもつて残りの八〇%を引きつづて居る。然も彼等は反共產主義的色彩が濃い。八〇%の中小農を獲得するより容易である」と云ふにある。之が原則的として成立たぬ事は華北合作社の使命からして容易に歸結される所であるが、現在の急迫せる國際狀勢から急速に要求される華北の治安

確立の爲の戰略論としてはどうであらうか。治安を早く確立するのが第一條件であるから彼等の不正は看逃して、彼等の従來の利益を侵害せず、その力によつて郷村を抑へさして、味方につけるがよいではないか。治安が確立したら、本來の軌道に乗ればよい。」と云ふ意味である。之は敵がその組織の根幹に充てんとしてねらつてゐる對象が中小農である故に、之を放置するの危険性からして、先づその妥當でない事が結論されるのである。更に郷村自衛組織としての全民衆を組織するこの組織の大部分は勿論住民の八〇%を占める中小農に依つて占められてゐる。而して自衛力と云ふものは敵に對して護らるべきものの意識がその構成員の心中で強ければ強い程、昂揚發揮される。「擁護東亞新秩序」といつても中々村民の頭に切實に訴へないだらう。彼等が最も切實に感ずるものは生活であり、經濟的利害である。合作社が之によつて彼にしつかと結付いた時に、彼等は文字通り自衛に奮起し合作社の防衛から、之に對する輸送路、指

導者、保護者の防衛に及んで行くであらう。若し合作社が事變前通り、土豪劣紳の高利貸行爲援助の資金プール、プロローカ的不當利益授與の爲の間屋として動いて居たならば、合作社は自衛組織強化に寄與する所ではなく、敵の逆宣傳に材料を提供し敵側によりする民衆奪取を補助する事にさへなるであらう。かくては華北建設の爲合作社運動が取上げられた理由は消滅するのである。又現在敵が人民戰線戰術により土豪劣紳を餘り壓迫して居ない故に、彼等を大切に扱つてやらねば、敵の陣營に追ひやる事になると云ふ懸念も出るかも知れぬが、之は敵が武力と政治力で全郷村を壓倒した後、彼等の力を取入れてゐる事を知らぬものである。今や國共確執の激化は屢々傳へられてゐる。國共兩者が離れば離るゝ程、共產黨に於ける貧農偏重、土豪劣紳打倒の政策は強化されるであらう、かゝる狀勢に於ては、土豪劣紳の不正を我々の側で抑へたからとて、中々敵側へ飛びこめるものではない。缺乏物資を入れる、生産品の有利な販路を開く、農耕資金を借す事

に依つて彼等も等しく利益を受け
るのであつて、その程度が従前は
不當に大きかつたのに、統制を強
化した合作社では適正な額しか
いと云ふに止まる。物資の購買販
賣ではコムミツションを莫大に收
め、貸付金では轉貸出来るのでな
ければ何もして貰はぬ方が、い
と云ふ結論は彼等としても中々出
し難いであらう。

以上で指導統制を強化せぬ理由
は明らかになつたが、その手段方
法はどうするか。第一は專屬取引
の原則を守る事である。縣聯合會
から郷村合作社を通じて社員へ、
社員から郷村合作社を通じて縣聯
合へと云ふ取引ルートの中へ何者

も介在せしめぬ事である。縣聯合
會が取扱ふ物品について他の者と
取引する事を禁じ、違反者は社員
としての利益享受を停止する等の
手段が取られねばならぬ。第二に
郷村合作社縣聯合會の下部の借受
團體集荷團體配給團體のものと
して統制從屬するものなる故に、
事業運営に於ける手数料を取る事
は許されない。従つてその経費は
縣聯合會からの交附金又は社員の
所有土地畝數及經營土地畝數を考

慮して判當てられ縣聯合會の許可
を経た所の社費により支辦さるべ
きである。第三に縣聯合會の職員
は常に郷村に出で行つて、縣聯合
會の經營方針が社員に正しく達し
て居るかどうかを見なければなら
ぬ。資金の使途は約束に合つて
るか、販賣代金は間違なく社員に
渡つてゐるか、購買品の價格數量
に異状はないか、村の役員の行動
はどうか等々。判らぬ所や間違は
指導によつて直し、大きな不正は
罰し、賞罰を明らかにして、郷村
民の心を擱んで行かねばならぬ。
更に中小農中の活動的になつて來
た分子を役員の中に加へる様誘導
して行くのである。

運営に關する一つの重要問題は
商業資本との關係である。合作社
は流通過程に於ては商業資本を節
約する機能をもつ。日本内地の動
きを見ても判る通り米屋とか、小
間物屋、呉服屋等々經營單位とし
ての組合結成は業者を二分の一
又は三分の一に減じて小賣商亂
立時代に劣らぬ配給成績を示して
る。この様に假に今まで米屋が全
國に二萬戸あつたとし、その資本
の合計が一、二〇〇萬圓であつた

として業者が三分の一になり、そ
の資本總額が二分の一になつたと
すると、資本にして六百萬圓と云
ふものが米の流通に使はれてゐた
ものの中から餘り、他の必要な方面
に廻されるのである。(六百萬圓と
云ふ數字は嚴密なものではない。
全般的に業者が減少すれば、その
資本の中の米屋としてしか使用さ
れぬ財産となつてゐるものは減價
又は全然價值を失ふから、それだ
け減少する。)合作社は合理的配給
機構としてかゝる作用を行ふので
ある。殊に華北に於ては商業機構
が複雑重疊してゐるから、合作社
運動の進展に伴ふ之が整理は廣く
大きなものがあらう。しかし合作

社は商品流通に要せらるゝ商業資
本を少くして済むやうにするであつ
て、之を全然なくするものではな
い。如何に合作社が普及發達して
も商業資本は残るのである。合作
社は大量にまとまらぬ商品は取扱
ひ得ないし、大産業に於ける原料
購入、製品販賣について合作社の
占むる比重は極く僅かしか期待し
得られないのである。全商業資本
に代はると云ふ事は民衆の出資に
よる事からどうしても避けられぬ

寸言

華北の特殊性から思ひ付いてか
この頃特殊性と云ふ言葉が非常に
はやる。人の足らぬ事も金の足ら
ぬ事もひどいになると自分の知
識の不足さへもが、何處何處の特
殊性になり兼ねない。特殊性を主
張する時には充分その基礎となり
得る具體的事實を擧げる様にしや
うではないか。

華北社會を村落社會と規定する
事は勝手だが、經濟の發展がその
封鎖的經濟を放置して置くかと問
題だ。大東亞共榮圈内に於ける經
濟提携は商品經濟の農村進入を促
進するものではないだらうか。

に足るだけあればいゝのであつて
之を合理化により節約すればそれ
だけ生産力擴充に振向け得る譯
で、それによつて經濟力を伸張す
る事になる、この意味に於て合作

社は國家の經濟力伸張に寄與する所少くない。産業開發、經濟提携が叫ばれても、民族資本に於ては商業・銀行資本が壓倒的でありその産業資本への轉化關與は一五%に足らずである。然も銀行の投資の對象は先づ政府の公債であり、之は産業助成に殆んど使はれず農民の肩に税金の加重となつてのしかる結果をのみ生んだのである。かゝる産業開發の方向に逆行する金融資本構成の基礎を崩すためにも、合作社は應分の貢獻をせねばならぬ。

以上の役割により合作社はその業務の範圍に於て一部の商人と利害の對立を來す事は蓋し理の當然である。戰爭により打撃を受けた配給機構の復興のみを意圖し、商人との些少の摩擦も恐れるならば臨時的委員會の組織を以て足る。その場合は民生の安定、生産力の向上は一片の夢想となるのみである。そして合作社が阻止すべき農村の破産的狀態を實現せしめ、却つて商人の足下を切拂ふものである。

商人との關係を考へる場合城關商人の手先となつて農村を廻る仲

買人の事を顧慮する要はない。彼等は自らの資本を持たず、城關商人から融資を受けて買付するを常とし、集荷機構としての合作社から之を見れば、流通過程に資本も投ぜず、中間の段階を設定して不當利潤を貪るのみ、全く害あつて益なき存在である。

城關商人殊にその中の糧棧、花行等の大商人は之と事情を異にする。彼等は相當の資本を流通過程に投じてゐる。

從來の社會機構に於て、官僚地主と一體になり、民生の安定、生産力の向上を阻止したとは云へ、嚴然たる現状維持的勢力をなしてゐて、之に不必要なる刺戟を與へる事は、治安の安定確保の見地から、避けらるべきである。但し新建設に對する協力の性質より見て、合作社の方が信頼性が高いから、合作社の發展を第一義とし之と商人とは妥協なる觀點に立つて關係を付けねばならぬ。而してこの妥協は縣の交易市場を通じて行はれるのが最も當を得たものである。

之に關しては華北に於ける開始以來いまだ日が淺いから、滿洲の

經驗を徵するに、次の様に述べられてゐる。

「從來國內の糧穀市場は何等の統制も無く、自由競争に委された結果、奸商并び存し、之等奸商は農民に對する高利貸的機能を營むと同時に、青田買その他の不法なる買付方法によつて、農民はその得たる血と汗の結晶たる糧穀を一方的恣意によつて賣却せざるを得ない状態にあり、之が爲に農村の建設、農業生産力の維持増進は全く阻害され、之が改善は地方に於ける指導者達の痛切に要求する所であつた。従つて農事合作社の交易事業も差當り糧穀取引方法の改善を圖るが爲の公平なる取引方法公正なる價格の實現を目標とし運営せられた。而して之が運営に當つては、省令に従ひ、縣に於ては縣令を以て、農産物交易場規則、農産物検査規則の發布を見、農事合作社を指定して之が運営に當らしめた事は當然の事である。其の結果農産物の取引は公平に行はれ、農民は安心して賣却をなすことを得、又検査の結果農産物の品質は統一せられ従つてその商品價值は向上し、手取價格は増大し、農産物の改良増殖品位向上に對し農民に與へたる教育的訓練的効果並にその得たる經濟上の利益は甚だ大なるものがあつた。加之、一方

市場に於ては交易場の運営を見る迄は、糧棧の有する商的機能は全く喪失するかの如き杞憂により幾多の不安動搖を見たが、その實施の結果により優良なる糧棧は自由に交易場に出入して買付を爲し得るのみならず、公正なる取引の結果は從來の奸商、泡沫的の不良糧棧を淨化し、優良なる糧棧は從來の時間的勞力的浪費を節約し得て、交易場を通じて安易且つ大量買付を爲し得るの利便を得たる外、検査により穀類の品質純潔となり不良品の返送等の事なく取引の安全を得て長期貯蔵に耐ゆる結果價格は安全且つ平均化し不慮の損失を蒙る事なく一般に交易場成立を謳歌するに至つた。」（滿洲に於ける農村協同組合運動）より

而して又交易場は指定買付人より保證金を預る故に所謂「土着資本」の利用をも達し得るのである。この場合交易場經營は合作社が擔當し、商人は經營中樞に入れる事なく買付だけを行はせる事である。經營を商人が左右する様にならば、交易場設置の意味は殆んど失はれる。

註II土着資本の利用について
國策として華北の鐵礦工業を主とする産業開發に於ける土着資本の利用が叫ばれて居たが、何

時の間にか之が合作社運動に入り込んで来た。

前の意味に於ける土着資本の利
用は半封建的高利貸商業資本の
段階にある華北の民族資本を産
業資本に轉化させる事になる
ので、生産力を向上せしめ經濟
上一進歩であるが、後の意味に
於けるものは、半封建的資本の
農村把握強化その從來持つてゐ
た機能即ち農民の生活安定及農
業生産力向上の阻止の機能に油
を注ぐのみで、新建設の車を逆
に廻らす効果を持つのである。

近年華北の中國銀行が巨額の
遊資を農村に逆流せしめた理由
及結果に想到する時之に對する
一つの旁證を提示するであら
う。

商人との妥協の結節點は交易場
であるが、その他合作社自體の運
營に於て注意すべき事は、合作社
を商店化しない事である。即ち取
扱を雑多にせぬ事及員外取引を行
はぬを原則とする事である。

る。合作社は民衆の組織體として
動くから強いのであつて、民衆か
ら離れたならば、僅かな資金と貧
弱な設備では決して他と太刀打は
出来ぬのである。華北の合作社に
はこの傾向を有する所が相當多い
のである。之を防ぐためには、事
業の擴大に進まんとする意欲を
少し抑へ、宣傳訓練により、組織
を確立し、充實し、組織力を發揮
し得る程度に應じて事業の擴大伸
張を図るのが堅實である。

合作社の事業運営に當つては差
當り金融、販賣業務に重點を置
き、その經營的自立に努めねばな
らぬ。

合作社は現状に於てこそ巨額の
助成金により維持せられ、又さう
しなければ立つて行かぬのである
が、可及的速かにその經營的自立
を達成しなければならぬ。巨額の助
成金は何時までも無制限に出され
得るものではないし、又合作社自
身としてもいつまでも之に頼る事
はその本質に反するからである。

上に積極的に努力する爲の刺戟を
失ふ。外部からの支持になれ、自
分等の協同力により生活を向上せ
しめると云ふ精神を段々磨り減ら
してしまふ。之は自力更生團體と
しての自殺である。第二、補助金の
恆久化は、必然的に之を支出する
行政機關との人事的聯絡關係を密
接にし、然もその關係は隷屬的な
ものになつてしまふ傾向を有つ。

かくて合作社發展の創意的活動を
萎縮せしめる。上からの統制強化
の爲に、官廳化の傾向歓迎すべし
と云ふ論があるならば、大東亞共
榮圈建設に於て企圖する綜合的計
畫經濟はかゝる方向を取つて居な
い、又それでは目標を達成し得な
い、と云ふ事を言つて置かう。機
構的に統一せられた中での創意的
活動の活潑化、今まで官僚に獨占
せられてゐた統制企劃機構への民
間權威の進出、その民間權威が従
來屬した事業圈の利益代辦者とし
てでなく國家の目的の中にその頭
腦手腕を生かし、特性を有する事
業圈を綜合的計畫の中に圓滑に組
入れる事、等により、大東亞共榮
圈に於ける綜合的計畫經濟が確立
され得るのである。

合作社に於ける事業の重點は信
用及販賣事業である、信用事業を
重んずる事は、華北の農民が再生
産の資金にも窮して居り、高利貸
資本の絶好な餌食となつて居るた

動かぬ組織

甲「僕の所では僕が赴任する前か
ら全縣下に分會があつた」

乙「素晴らしいね」

甲「合作社は少ししかなかつたの
で、分會と合作社が一體となつ
て工作を進めねばならぬと云ふ
譯で、分會の數だけ合作社を作
つたので、今では全縣下合作社
の無い所はないのだ」

乙「偉いものだね。事業は何をや
つてゐる。分會はどんな事をし
てゐるのだね」

甲「所が分會も合作社もどう動か
してよいか判らないんだ」

め彼等の疲弊を愈々大ならしめ、
農業生産力の確保増進が望まわぬ
状況を打開するためである、この
趣旨を貫徹する爲に、貸付資金は
生産資金の無擔保對人信用貸付を

原則とし、農産物販賣に際する販賣品擔保の流通資金貸付を併行せしめる。貸付に際しては直接農民に渡り然も之が意圖外に使用される事を防止する爲萬全の注意を拂はねばならぬ。

販賣事業を重んずるのは、之が農民經濟の面から見ればその收入増加に全般的經濟の面から見れば農産物集荷に結付いて居るからである。

華北の合作社の現状より見れば事業の重點は購買事業にある。購買事業は收入の範圍に於て有利に物を買ふ事は可能ならしめるが、積極的に收入を増加せしめる事は出来ぬ、然も收入の増加こそ疲弊した農民の活路である。之は販賣事業の領域であり、加ふるに販賣事業は農産物の圓滑なる集荷を達成せしめ得るのである。

販賣事業の進展に伴ひ、縣聯合會には農産物倉庫を附設する。之があれば、農民は不利な販賣を爲さずに、自己の有利と考へた相場の出る迄持ちこたへる力を附與されるのである。加ふるに對敵經濟封鎖の爲の食糧集積に際しては、農産物倉庫は保管施設として利用され

る。販賣事業に於ては、共同計算委託販賣を原則とし、買取販賣を避くべきである。之は取扱量を容易に増加して、仲々外見華やかに見えるが、現在物價が浮動的であるから、合作社の損失を招き易い。他の商人が申出る相場との差が出れば、農民は之と取引せんとし統制を紊す事も起るであらう。要するに、合作社に危険を負担せしめ、合作社を農民の意識に於て自己と關係のない商店に化せしめ、役員と社員とを對立せしめむる所の買取販賣は原則として避くべきである。

る。

縣聯合會の購買販賣事業運営に就いては、現在の縣聯合會經營擔當者の手腕經驗及取引範圍の狭少から来る不利を防止するため、上部系統機關の斡旋を出來得る限り求めねばならぬ。實際の取引は地方一般經濟界と縣聯合會の間に於て行はれるにせよ、かゝる處置を取らずしては、相場無知、取引手腕の免除からして、不利な取引を行ひ易いのである。縣の責任者が直接出て仕入を爲して來た所、現地の一般商人より高く仕入れて

るた爲に、購買品の處置に窮した例等を折々見受ける時、殊にこの必要を痛感するのである。

農業技術指導は縣聯合會に技術指導員を置かず、他の關係機關の援助に待ち、その技術指導員を自己の機構によつて活動せしめ、縣聯合會はその統制を行ふのが妥當である。縣聯合會自體が採用する事は經費及人事統制上に於て種々の不都合を生ずるのである。

以上經營の一般の方針に就いて述べたのであるが、信用、販賣、購買、生産利用、農業技術指導、教育訓練宣傳、等の各論に就いては別の機會に譲りたい。

(福田 政雄)

鳥 瞰

昔情深い王様がありました。百姓は今年は腹一パイ飯が食へるだらうかと心配しましたが、一軒一軒廻る譯に行きません。體が一つしか無かつたからです。思案の末鶴につて空から視察しました。下界は一面青々としてゐた

ので、今年は民豊かなりと思つて宮殿へお歸りになりました。續りさへすれば耕やす人は食ふに困らなかつたのでせう。青田賣買も高利貸もなく、青く見えるものは皆穀物だつた頃の話です。

掲 示 板

- 現地で人手困難な圖書、雜誌等は編輯室へ相談しやう。遠慮なく。
- 現地の生きた寫眞が欲しいものだ。
- 口を酸つぱくするやうだが原稿を送れ。原稿といへば堅くるし
- い
- が現地の模様を手紙でもハガキでも、文章の上手下手は問題外だ、何もしかつめらしく原稿用紙に書かなくてもよい。

郷村合作社の性格に就て

(一)

華北に於ける合作社運動は世界的政治情勢の變轉に依つて、益々緊急なる進展を要請せられるようになった。

東亞共榮圈確立のために、戰時經濟體制のひたむきな強化に依る、農業部門への要請は益々加重せられつゝあり、これに即應しての食糧政策、特殊農産物の確保、擴充のためには、農民の生活安定が絶對的條件であり、これ等の要請のために、生産力擴充への積極的推進力たるべきものとして合作社の役割は愈々重きを加へつゝあるが、その組織活動は恰も、この役割の重大化の前に諸種の缺陷を暴露し、昏迷しつゝ幾多の混亂が惹起せられた。にもかゝらずその客觀的な要請と民生安定の絶對的な方向に對して、依然として生産力増進の不可缺なる要件として、舊い遅れた生産關係の上に立つ複雑な階級構成の華北農村を、新民精神を基調とする農村へ再編

成をすることが要請される。この要請に應へるためにはこの國の國民經濟の基幹たる農業經濟を近代的合理的なものへ發達せしめることが、合作社に課せられた不可避的な課題であり、その任務を遂行するものは合作社を措いて外にあり得ないと考へられる。

かくの如き任務を持つ、華北に於ける合作社運動の性格及びその運動方向の如何と云ふ問題に就て、即ちこの合作社運動の基本的問題の決定のために昨年春以來合作社關係各機關に於て検討されつゝあつたが、最近に至り大綱的に漸く決定せられた模様である。

そこで全華北の合作社運動者は勿論、日滿支の合作社運動者及び合作社に關心を有する者より等しく注目し、關心を寄せられてゐるのは、單位合作社の性格の問題であらう。吾々の理解に従へば合作社は、その特定の國の社會構成に照應するものであると云ふ觀點に於て、合作社運動の基礎をなす單位合作社が華北の要求せらるゝ

客觀的情勢に即應しつゝ華北農村の社會構成の基礎の上に組織せらるべき、單位合作社たる郷村合作社の性格が如何に規定せられたであらうか、と云ふことである。

華北に於ける合作社全體の組織形態が如何なる形態にあるとしても、將來、華北の合作社運動の成否を決するものとしての重要性を持つ郷村合作社の性格を、華北の合作社運動の正しき發展のために嚴密に検討し理解せられねばならない。

郷村合作社——單位合作社としての持つ性格は「郷村合作社ハ縣聯合會ノ資金借受團體、販賣品集荷團體、購買品配給團體ノモノヲラシムルモノ」として規定せられる。斯の如く、資本主義を背景として生れた協同組合乃至既存の合作社と異なるものとして規定せられ、單位合作社としての自主性に對する制約が行なはれたと謂ふよりも縣聯合會の下部組織としての存在として理解せらるゝ特異性を持つ。更に縣聯合會は「合作社

組織ノ單位ノ重點ヲ縣聯合會ニ置ク」ことを原則とすことにより、形式的には單位合作社としての性格を帯ぶるものとなる。

この如き特異なる合作社の組織形態を探るに至つた華北に於ける合作社は、當然斯の如き形態を採らねばならぬところの要因が存在しなればならぬ。

(二)

協同組合は「ある特定の國の地域——の社會構成に照應するところの、人格と家計經濟との表現たる組合員の結合による經濟的協同團體」としての本質を持つならば華北に於ける合作社運動も、當然日本内地の産業組合や、朝鮮の金融組合、滿洲國の興農合作社が各各相異なる如く、これ等の組合は勿論、舊政權時代に於ける華北の合作社とも異なるものでなければならぬことは自明の理と謂はねばならぬ。従つて華北に於ける合作社運動の性格の解明のためには華北に合作社運動を生ぜしめたる要因を明かにせねばならない。しかし、その要因たる、東亞新秩序建設のための華北の基本的な性格と農村社會構成に對する考察なくし

ては、この國に於ける合作社運動の實踐も、その正しき進展も望み得ないのみならず絶対に不可能であらう。

華北に於ける合作社の性格を決定する要因を、外的及内的のものに區別しつゝ考察を加へて見よう。

外的要因としては東亞新秩序建設のために必然的に華北に要請せらるゝところの、日華親善、防共を内容とする政治的、その物的基礎を構築すべき經濟的、東亞國防體制の高度化のための軍事的の要請に應ふべき必至的なるものがその要因として存在する。

近來の國際情勢の逼迫に伴ひ、特に日、獨、伊三國同盟の締結を契期とする東亞共榮圈の確立は、國際情勢との關聯に於て、新たな東亞高度國防體制確立のための政治的、軍事的要請に對應する農業部門の必要資源の確保、擴充としての生産力増進が絶對的でありその急速化が要求せられる。

内的要因としては、新民精神を基調とする新社會建設のために、國民組織體の確立、對敵組織の潰滅のための民衆獲得、把握、華北

農村社會の遅れたる中世紀的事象の止揚、農民生活の安定向上、生産力増進の障害の合理的解決並に排除、治安維持等の政治的、經濟的、軍事的の諸要因が存在してゐる。即ち華北の社會構成の特質としての反映が内的要因として最も重要性を有し、この内的諸要因の持つ諸形態は華北農村社會構成の特質たる中世紀的事象の反映として理解され得るであらう。

現實の華北農村社會の中世紀的事象であるが、それは村民の無力と無智に起因する少數の有力者、徳望家と稱せられる者の強權と恣意の支配的な形態、土地配分の不公正、高利地代存在、流通過程に於ける商業高利貸資本の不當なる收奪、一般的文化水準の低位、特に教育施設の僅少に依る文盲、無智、その他租税の加重、濫派の存在等々、この如く、華北の農村社會は依然として遅れたる社會經濟關係に停滞し、基幹民衆たる農民の大多數は極めて劣弱なる状態の下に放置せられてゐること、は先學者たちの究明せられてゐることであり、吾々の現地工作の過程からも察知し得たところの實態

である。

この如き農村社會の實態の上に形式的に行政機構或は其他の機構が如何に立派なる團體を整備したところでそれが農村に於ける眞實の再組織を意味するものではなく單なる形式的な存在であつて、現實の農村社會は整備され居らず、農民の社會的、經濟的生活を制約する諸原因が安除せられたる譯のものではない。むしろ村長、郷長としての地位から必然的な幾多の統制的な力を受け入れて逆に多數の勤勞農民の利益の上に自己の利益を圖る方途を探られる場合が餘りにも多い事を現地工作の中から看取せられるのであるが、その結果農民の生活は愈々窮迫化し生産力の發展への萌芽は摘みとられざるを得ない。

華北農村の各地に散在してゐる敵性組織の存在を如何に潰滅克服するかといふためには國民組織としての新民會運動の展開と、その領導下に、生活面たる經濟活動が敵性組織に對しての對立組織として持たれることが必要であることは論ずる迄もないことであつて、その組織が單に、郷村の所謂有力

者、徳望家等の過去に於ける支配的形態の再版としての合作社であるならば、中小農を中核とする敵性組織に對抗することが可能であらうか。

斯の如き對敵組織としての性格を合作社が持つことはその本來の性格では有り得ない。たゞ華北に於ける現實は合作社運動を以て平和的なもの、或ひは治安確立の地域にのみ設立し得るものであつて、その他の場合を考慮することは本來の性格ではないとしてゐるならばそれは各縣域内及その附近の僅少なる村落にのみしか組織し得られないであらう。このやうなことが許されるであらうか、否逆に積極的に進展せしむることが現實の要求である。この要求に應ずるための合作社の態勢は積極的な組織運動として展開せられねばならない。

かゝる、對敵組織に對するためには全農民の自發的な自覺ある協力がなければならぬ。しかも、全村の一致せる組織體でない限り不可能なことは自明の理である。斯の如き農民の自覺ある行動へ動員するためには、過去に於けるが如

く華北の大多數の農民が政治や、

近代的機構には無關心であり、また、關心を有し、自己の要望すべき事實を持つてゐたとしても、郷村の内部に有する力が、之が参加することを拒むであらう。これは社會人としての共同意識の上に成長したもので無く、一部有力者乃至地主富農の支配に習慣づけられてゐたと云ふ性質、換言すれば、之

等農民の政治的なものへの無關心は、それ自體の力關係により決定せられてゐたもので、この如き農民を行動への實踐を行なはしむる爲には、新たな再編成をする必要とが必要である、そのためには政治的面に於ては新民會運動として展開せられ、合作社に於ける擔任部面は自覺へのための經濟活動であつて、即ち、特に初期に於いて政治的意識の少ない農民を新民精神を基調とする運動へ動員するためには合作社は最も重要な役割として積極的な對敵經濟攻勢のための農民組織を擔當すること、ならう。かゝる自覺なり積極的行動へ農民を驅り立てるためには、敘上の内部的要因たる民生の安定、生産力の増進を圖ることがその前提

として要請せられる。

内的要因として更に土地配分の不公正、高利地代の存在、流通過程に於ける商業高利貸資本の不當なる收奪等經濟關係に於ける重要なところの課題が存在してゐるが、今茲では先覺者たちの究明せる諸結果を以て判明してゐることであるから論述することを止めた

い。以上述べたるが如く外的及内的の諸要因の解決の焦點は華北農村の社會構成に集中せられ、凡ての要因の集約せられたるものとして民生の安定及び生産力の増進となる。そこでこの外的及内的要因に對する課題として要請せられるものは農業政策を第一義とする農民生活の安定向上であり生産力の向上を停滯せしむるところの凡ての障碍の合理的解決であり、排除であらねばならぬ。而してこの農業政策の正しい浸透、適正なる實施を行ふためには、國民經濟の根幹たる農業經濟の組織化の確立が積極的に採上げられねばならない。この團の舊い遅れたる社會經濟機構下にある農業經濟がかゝる機構下に膠着してゐる限りに於て農

業の開発は單に未耕地の開拓する外にその方途は有り得ないし、農業技術の進歩的な改善も、進歩的な經營も、近代的合理的な發展も望むことは出来ない。亦正しい農業政策もその効果も望み得ないのである、しかも國際情勢の緊迫の齎す必然的な要求たる新經濟體制への改變にも添へ得ないであらう。

斯の如き農村の没落過程を救ひ基本的な課題の解決のためには以上述べたるが如き諸要因の制約關係を考慮し新なる性格を有する合作社が設定せられねばならない。即ち華北に於ける國民經濟の根幹たる農業經濟の組織化——合作社運動の展開は絶對的なものとなる。しかして敘上の基本的課題たる外的及内的の諸要因の要請に照應し得るものは、華北農業社會構成の特質たる遅れた中世紀的事象を止揚克明し、農民生活の安定向上を圖り農業政策を正しく浸透結實せしめ、東亞新秩序體制に華北農民並に農業を即應せしめ、農業の近代的合理的發達を圖り得べき農民の經濟的協同組織體としての合作社であらう。

(三)

華北の外的及内地要因から必然的に制約せらるゝ合作社は、合作社の生ずべき理由が存在してゐることは前に見た通りであつて、その結果當然かゝる基本的な要因から華北の合作社は性格付けられることとなつて来る。然らば吾々はその性格としての基調を見なければならぬ。

華北の合作社の性格を決定する基調として先づ東亞新秩序建設の華北に於ける指導精神たる新民精神の實現を根本的指導精神とせねばならないことは當然である、この新民精神の實踐團體である新民會と合作社との關係に就ては本誌一月號に「新民會と合作社との關係」として詳細に論ぜられてゐるから参照されたい、次に、農業政策の浸透結實、及相互扶助による社員福利増進が合作社自體の基調として考へられる。

而して華北合作社の性格として規定せらるゝものは「新民精神を基礎とする勤勞誠實なる農民の相互扶助により農民經濟並に農業を以て東亞新秩序建設に即應せしめ農民の福利を増進し農業の近代的

合理的發達を圖る農民の經濟的協同團體」であると云ふことが出来る。

斯の如く規定せられる性格よりして華北の合作社の組織形態が規定せられねばならぬ。而して、その特異性は制度に非ずして運動としての意義を持つ。即ち新民社會の建設の一翼としての實踐運動であると共に國民經濟の組織運動として考へられねばならないと謂ふことは、合作社が農民の經濟的協同組織運動であると云ふことである。この運動としての性質は當然合作社組織形態の中に反映せられねばならない。この反映は華北農村の社會構成、農村の再組織としての合作社、東亞國防體制に照應する性格、新民會運動との關係等の基本的要因との關聯に於て規定せられてゐる。

以上の如き華北に於ける合作社の性格の規定に基く鄉村合作社の性格に就て考察して見よう。

(四)

鄉村合作社は華北に於ける合作社の單位として規定せられてゐる。即ち、華北合作社がその方針として採用する四段制の基底とし

て、鄉村合作社を設置することを規定してゐる。その限りに於て合作社運動の單位たる意義を持つてゐることは合作社の本質たる相互扶助、經濟的協同實踐の單位であるが故にある。一方前述せる如くその機能に於ては縣聯合會の資金借受團體、販賣品集荷團體、購買品配給團體としての性格を持つてゐる。この意義は縣聯合會の下部組織たる組織體としての部落團體の機能を有することとそれ自體の責任に於ての事業經營ではなく、それは縣聯合會の事業に協力することである。この鄉村合作社の相矛盾し合ふ如き單位合作社としての性格と、その一面事業經營に於てはその自主性は極度に制約され、實質的には縣聯合會の下部組織たる意義を有してゐると云ふところの性格を有してゐることは、華北社會の持つ外的及內的の諸要因よりの要請による特異なるものとして理解せられねばならない。即ち前述せるこれ等の諸要因が具體的にこの性格の規定に作用してゐると云ふこと、それはこの國の農村社會構成に集中せられてゐる。

この國の農業社會の特質たる舊き遅れたるところの社會的經濟的關係が今更云ふまでもなく根強く農業會社を支配してゐることであつて、客觀的勢力たる東亞共榮圈の緊急なる建設の要求と、この國自體の持つ龐大なる農村が、戰場として現實的な姿を露呈し、それよりする國民組織の絶對的な要件からする換言すれば新たな中國の建設のために全面的な敵性組織——共產黨及共產軍と徹底的に闘ふために必要な組織體制が採られること、と云ふのは華北の凡ての建設工作が之の點に集中せられねばならぬことは新民會全體聯合協議會を契機として民衆運動の方向が決定された事實が之を證明するであらう。

この爲には民生の安定向上、そのための生産力の増進、流通過程の合理化は絶對的な條件となる譯である。故に、合作社に於てこれ等の條件が行なはれるためには、この遅れたる農業社會の進歩のために障害となる凡有の事象を合理的な解決、防遏し得る體制を取らねばならぬ。また一方外的要因として述べたところの必然的な新なる經濟體制の確立のためにはその機構の統一なそして強力なる統制がその制約として現はれて来る。「鄉村合作社ハ縣聯合會ノ指導ノ下ニ」各種事業を行ふ方針はこれを意味するものであつて、單なる指導たる意味ではなく組織方針に意圖される如く縣聯合會の下部組織として事業運營と理解さるべきである。凡ての事業運營は縣聯合會に集中せられねばならない。之と逆に單なる指導と解するときは組織方針と相違するのみならずその立案の精神にも背くこととなる譯で、この如き立案の基礎は紋上の外的及內的要因により決定せられたもので、もし之を無視することは華北の現實を無視したるものと云ふべきである。しかも之の鄉村合作社の事業は取纏團體として、正確且つ、具體的に言ふならば縣聯合會の事業に協力することである。

斯の如き鄉村合作社の事業面の縣合作社の下部組織たる性格はその他の部面、所謂農事共勵としての共同設備共同利用、更に共同作業等の事業に及ぶことを意味するものではなく、之等の事業は進展、

伸張を圖らねばならないのみならず華北農村の特殊性は合作社事業に日本の農會的部面を包括することであり、亦その部面に重點を指向しなければならぬところにかゝる特異性が決定せられた理由も存在する。要するに制約部面は流通過程部面に限られたのであつて、これは舊き遅れたる華北農村の社會構成を東亞新秩序建設のために新なる編成を行はんとするところに意義がある。

更に之等決定の具體的な事例として、即ち基本的な諸要因に應へるための障害となる事實を合作社工作の過程に於て、吾々に次の如く教へてゐる。

現存の鄉村合作社は單位合作社としての機能を全然發揮せられて居らない。その性格は縣聯合會の下部組織としての役割だけであることは華北の合作社の現實を知つてゐる者の等しく肯定する所であらう、斯の如き現實を呈した原因として人々は人的不足、資金不足、指導の不適格等々數へ上げられるかその本質はかかるものではなく、その理由

としての一部を言ふて居るに過ぎない。それは社會構成即ち内的要因に起原するものであつて、その一例を採り上げて見るならば、農民の政治や近代の機構に無關心であり社會的協同意識の排除に求められねばならぬ。勿論その爲に必要な教育、啓蒙宣傳等を行なはねばならぬが過去の中國合作史を觀るならばその事が如何なるものであるか、亦先人達がそれ等の事に努力したにも拘らず、現況を呈してゐる事を知れば完全なる單位合作社としての存在となるためには相當年月を要することは明白なることであらう。

次に經營上の問題として、第一に資金が極めて僅少なることである。華北農民の實態より多額の出資金を収集することは極めて困難なることは今更言ふ迄も無いが、假に出資一口を二圓として大郷制度を中心として組織したとしても一千社員として二千圓の出資を得る場合それが一つの經營單位として可能であらうか。不可能なる場合は更に出資金を増加せしむるであらう。その結果後述する如き事由との關聯に於て如何なる結果が現出するかは明白ではあるまいか。

第二に合作社の經營はそれ自體の性質からして經營の爲には第一に適當なる人物を得ることが先決條件であるが、極めて文化水準の低い農村から近代のなしかも客觀的要請からする高度なる組織體を運營する人物は容易に得ることは困難であつて、假に、そのため養成訓練に待つとするもそれは相當年月を要する。特に農村社會構成からする村の有力者なる者に關しては前述せる通りであつて見れば、愈々以て健全なる、そして、急速なる發達を要請せられる現在に於ては困難である。

組織上の問題として生産力増進のための農民の根幹たる勤勞誠實なる農民の生活安定策は、敵性組織特に共産黨及共産軍を中心とする民族戦線との對抗上、急速なる對策に迫られてゐることは内的要因として述べた通りであるが、民族戦線勢力自からの基幹部隊として獲得すべく、ねらつてゐるのは中小農である。殊に共産黨はこの對策として土地政策即ち不在地主乃至は地主より土地を收奪し中小農に配分し耕作せしめその生活維持或ひは生産力の維持を圖つてゐることは見逃すことの出来ない事實である。亦その任務が食糧徵收の手段としてでも合作社を有すること、一方相當の耕地資金等を流れさして居ること等の事實から、吾々の合作運動は先にも述べた通り華北が戦ひの巷にあると言ふことゝ、共に、戦闘組織たることが要求される。而して合作社工作は單に一方的な工作では無く、敵が存在してゐること、及びその構成員たる農民が絶えず争奪戦の中心として置かれてゐる。眞偽は別であるが、聞いた話によると或る縣の如きは、共産黨が地下に潜入し當方の合作社工作其他凡ての諸工作

には表面上何等の闘争乃至は反動的現象を現はしてはゐなかつたが、農民獲得工作は猛烈を極めしかも逆に合作社を利用せしめて居たために、當事者は事業の擴大と順調なるため喜んでゐたと云はれて居る。この如きは合作社が運動乃至戦闘組織ならざること、經營主義的なところにあつたので、斯の如き現實の狀態のもとに自主的な完全なる單位合作社は可能であらうか。亦例ひ可能と云ふ想定が爲されるところでも、一度襲撃せられたる場合を考へられるならば再び立つことは可能であらうか。その合作社は發展も存続も有り得ないであらう。逆にその合作社が活潑なる自主的活動が爲されるとしても、自主的な事業は許されないと云ふことは敵性組織の兵站部乃至兵站基地としての役割に轉化せしめられる可能性を有するからである。この如き事態に備ふるためには配給品の數量査定、所要物資の短期間分の配給、物資の外部流出の防

止、販賣物のために收穫物全部を強制的な保管、即ち良民倉庫の設置、運搬途中の危険を考慮しての各社員直接の配給集荷等々を、縣聯合會が直接行ふ體制と、一村全部を獲得する役割を持つ良民倉庫の活用等が、經營の健全化を圖り、對敵攻勢の實施を可能ならしむ體制を吾々は戰團組織と言ふのである。この如き體制は鄉村合作社が下部組織たる性格を有しその事業に協力的體制を意味し自體の經營を行はないことである。

第二には幾度か述べた如く鄉村合作社の役員たるものは、現實に於ては文化水準の低位から有力者となるのであるが、その土豪劣紳性は凡ゆる場合に發揮せられる。合作社の入社申込、借款申込、購買品申込等から、自己の反對派或は中小農の除外、信用貸款の又貸、縣聯合會や配給品申込等縣聯合會に連絡等する場合、日常食費と稱して社員から費用を徴收し最も惡質なるものは購買品の鞘取り、申込に對する謝禮を要求する等、之等は筆者が現地工作で體驗したことであるが或る地方の如きは鄉村長の地位を獲得するためには合作社を利用すると聞いてゐる。斯の如きは合作社を制度として見るときには別として新中國建設の中核たる新民會運動の一翼としての實踐運動として見る時は絶対に許されない。只、茲に於て注意せねばならぬ事は有力者を排除することではなく新たな農村再建のために善導することである。即ち彼等がかゝる行爲のなし得ないやうな組織體制を持つことに依つて全農民の正しき意向の下に運営されるが如き合作社の建設にある。

第三には全農民を対象とする合作社運動は文化水準の低い農村に於ては知識を有する者即ち教育を受け得る者は有力者か、その子弟である故に當然役員となる。その爲に合作社事業運營の方向を彼等の要求即ち生産用資材の配給等、合作社の目的から要求するのではなく自身の恣意から強く要求する傾向があつて、縣聯合會にまでそれを爲して来たことがあつたが鄉村合作社の場合如何なる結果を持ち来たすであらうか。

以上の如き現實から鄉村合作社の性格が如何に規定せられはならなかつたか明白となるであらう。而して華北合作社に關する研究討論の結果は、鄉村合作社は其の性質に於て自主的資格を持ちその機能に於て自主性を制約し縣聯合會の下部組織たるの性格を有せしめることに一致してゐる。この特異性は敍上の華北に於ける現状から當然説明し得るであらう。

茲に明確ならしめねばならないことは事業の自主性の制約が全面的なものでなく先にも述べた通り流通部面に限られてゐることである。鄉村合作社の自主性は利用事業及生産共勵の部面に伸長せらるべきで、特に華北の農村が一般的に農業外労働にその家計經濟の依存する度合の大きい點より土着産業即ち、手工業乃至副業の生産の増大を計るために、必要なる共同設備、共同作業を行ひ協同意識の

向上發展を圖り且つこれ等の設備、作業等を農業部面への進展を圖ることが華北合作社運動の特に郷村合作社の正しい發展を將來に期待する點からも大きく採り上げねばならぬであらう。

斯の如き郷村合作社の性格を更に筆者を以て謂はしむれば明確に今一步前進せしめ縣に統一集中し、郷村を部落團體としての性格を持たしむることこそ華北の現實に最も妥當なるものと考へられ。それは日本の農村實行組合が産業組合よりも、更に活潑なる活動を續けてゐることに於ても、また、外的及内的の諸要因に對し急速に應へ、特に東亞經濟體制の一環として華北を考察するときに、この確立上からも、當然の形態ではあるまいか。

追而、本稿は郷村合作社の延いては華北合作社の性格の問題の探研にあつたのであるが、早急の間であり不充分の點が極めて多い。特に郷村合作社が縣聯合會の下部組織として——自主性の制約として——事業運營の問題がその性格の反映として採上げねばならぬことである、この問題はいづれ、稿を改めることとする本稿に對する同志諸氏の嚴正なる御批判と叱正を待つ。

安齋 正

興農の同志各位へ

古谷 信夫

皇紀二千六百年を迎へ謹んで年頭の御祝詞を申し上げます。月並な言葉乍ら月日の経つのは早いもので諸兄を夫

夫前線にお送りしてより既に四ヶ月も経過する事と成りました。此間諸兄は夫々の任地で凡ゆる困難凡ゆる障害と闘ひ雄々しい建設への追進を續けて居られる事と拜察致します。同志各位より度々お便りに接し現地銃後にあつて遙にその御奮闘の姿を偲びせめてもその御健康をお祈りしてゐる次第です。

各位の熱意に依つて生れた興農會も何とか早くその活動を始めたいと考へてゐましたが會員諸兄の一部の異動も豫想されたのでそれが確定してからと考へて一日延ばしに延ばしてゐる裡に、意外にも遅延して、その會報の發行も延々となり、今日まで各位に待ち呆けを食はせ或は従つて會の活動も始める事の出来なかつた事を中央に居る者として衷心お詫びする次第です。幸ひ今回中央總會合作科の御配慮と御努力に依り「華北合作」誌が發刊せられその餘白に興農欄なるものを設け之を我等の機關誌に代行せしめることとなりました事は我々のため此の上も

なき好都合と存する次第です。

猶此の際簡單に我々興農の同志としての新しき年に當つて種々な情勢を附記して置き度いと存じます。

華北の情勢に就ては第一線に奮闘せられる各位の方が一層緊迫感を以てよく認識されてゐると思ひますが、合作社の運動の展開に當つても勿論の事、客觀的にも主觀的にも、合作社運動が進展すればする程、その困難や強敵が隨處に現れる事は一層覺悟せねばならぬと存じます。然し我々は我々の理想とする農村産業を振興する事を目的とした合作社運動或はその合作社運動を活潑に展開し又その基礎を確固不拔のものに造りなす事を通じての新民主社會の實現は北支に於いて新民主運動を展開する上に如何に至大なる使命を有するものであるかを沁々と感ずるのであります。

我々の目下の大きな仕事は如何にして共産黨を此の北支から撃滅し、民衆をして安じてその業に精勵せしめるかに凡ゆる努力が傾けられなければならぬかであるが、更らに我々が苟も民衆の指導者たる以上は、共産主義を撃滅

せる豈我々の描いてゐる新民主社會の經濟部面が如何なるものであるか、それを合作社運動を通じ我々は民衆をして如何に之を實現すべきかを少くとも從來の封建主義或は資本主義より秀れ而して共産主義の實現せんとする社會よりも秀れたものを實現せしめねばならぬ使命と責務がその雙肩にかゝつてゐる事を知らねばならぬと思ひます。即ち新民主經濟なるものが萬民をして喜悅せしめるものでなければならぬので、その大理想の實現に向つて我々は挺身しなくてはならぬと信じます。

同志各位より、中央部に於いても最近之が意識愈々昂まり各位の前線に於ける黙々目に見えざる奮闘は今力強く反映しやがて待望の中央機關誕生の機運も近づきつつあります。

我々は民族を異にし人情風俗言語を異にする中國人の中に入つて一番六ヶ敷い此の經濟の仕事にたづさはると云ふ事を全く容易な業ではないが而して之れを爲し遂げねばいかなる工作も實を結ばず砂土に築いた樓閣の様なものです。多少の小さい失敗があつてもその目指す處のものをしつかり掴み、自己の爲す事に自信と信念を以て邁進せねばなりません。

共産黨に勝つには我々は先づ我々の爲し又描きつゝある新民主社會に於ける新民主主義が彼等のものより以上の

(以下二十七頁へつゞく)

寄稿

華北に於ける合作運動に寄す

朝鮮金融組合の發生當時を偲びて

朝鮮金融組合聯合會理事

教育部長 山根

諷

私は昨年四月華北の合作運動を視察に参つたのでありますが、之が御縁となりまして其の後昨年の八月と今度と前後三回に亘りまして、親しく華北の合作運動に接する機会を得ました次第であります。洵に幸福に思ひますと共に名譽に感じて居る次第であります。而して華北の合作運動に従事して居られる皆さんが斯界の先達として眞摯且つ熱心に施設運営の衝に當つて居られるであらうことを思ひまして、大いに敬意を表する次第であります。殊に私は朝鮮に於ける金融組合の創設者の一人と致しまして、創業當時の辛苦艱難をしてみじみと嘗めて居る關係が、致しまして、皆さんの御苦勞の程がはつきり解りまじまして深く同情申上げる次第であります。

然る所昨日新民會に於て今年一月から雑誌を發行して居られると云ふことを聞きまして、之は内に在つては研究誌となるのであらうし、外に對しては合作運動の普及宣傳ともなり或は又示威ともなるのであらうと考へまして、洵に結構の企と存じますと共に、私も何か書くべきだと自ら促され、こゝに貴重な紙面を汚すこととした次第であります。

扱て書くにつきました私は六ヶ敷い理屈よりも何よりも生きた問題を捉へた方がどれ文御参考になるかも知れませぬし又華北の現在の状態があまりにも朝鮮に於ける金融組合の發生當時のそれに似通ふて居るからであります。

朝鮮の金融組合は明治四十年五月三十日發布の金融組合規則に基いて發生し、開始致しました。最初に出來た金融組合の数は三十組でありまして、此の三十の組合が朝鮮の全土を三十區域に分割して各々其の區域とした次第であります。それ故に朝鮮の金融組合は發生と共に朝鮮の全土を其の區域とした次第であります。凡そ協同組合は其の必要を感じた所から自然發生すべきであります。文化の低い場合には其の必要を自覺することは中々出來ないのであります。假令出來たと致しましても其の設置の速力は極めて緩慢なのであります。協同組合が全国的に全面的の活動を爲すに至る迄には長の年月を要する次第でありまして、應急の用を爲さないのではあります。我が日本内地に於てすら産業組合の全町村普及に付て今尙努力が續けられて居ることは周知の事實でありまして、創設茲に四十餘年を経過し文化程度の高い日本内地ですらそんな譯であります。それ故に國家的見地から之が設置を必要と認められた場合に於ては民衆の自覺を俟つ迄もなく全國に一律に發生せしめる方法を探ることが賢明の策でありまして、かくすることこそ即ち施設の普遍化となりまします。又普く庶民を其の惠澤に浴せしむることにもなるのであります。而して此のことは低度文化の中に施さるべき協同組合的經濟新體制の建設に向つて採らるべき所の不可缺の方針であらねばならないこと、やうに思ふのであります。されば金融組合が發生と共に朝鮮全土を分割して其の區域と致しましたことは洵に惠まれた條件の下に出發したと言はなければなりません。殊

に治安の充分に維持されて居らない場合に在りましては、そうした方法を探ることが絶対的の條件となるのでありまして、全土を組合の區域に收めて置いて治安の維持された場所から活潑なる組合運動を起し自然にその隣接地帯の者に組合の利便を自撃せしめつゝ漸次此の運動に参加せしめ、遂に全域を擧げて組合制度の惠澤に浴せしめると云ふ方策を探ることが肝要なのであります。而して此のことは又以て組合運動の進展に治安工作が併行すると云ふ効果を以て酬いられることにもなるのであります。

只發生當初から全國を組合の區域に包容致しますことは協同組合としては過大な區域制を探ることになる傾向を見るのであります。組合員の自覺の下に創められた組合でない限りにおきましては、組合運動の推進力となるものは最初に於ては組合員の協力と云ふ

ことよりは寧ろ組合の經營者に其の人を得るか否かと云ふこと、或は組合員に組合教育を爲すに適する人物を求め得るか否かと云ふことが先決問題となるのであります。言はば組合員を率いて精神的な將た又經濟的な組合へと作り上げるに可能なる人材を求め得たと云ふことが組合運動の推進力となるのであります。

そう云ふ人を擧げて組合運動を任すに足る機構を整へると云ふことが最初の計でなくてはなりません。此の見解からも官設的組合は必然的に大區域を要求しますし、大區域なる故に成功するとも云へるのであります。即ち小區域の組合を設置したからとて自覺のない且つ、經濟的技術も持たない集團である限り、何を爲さしめ、何を爲すことが出来るでありません。従て如何に小區域組合であらうとも荷も設置した限り必ず之が經營の任を全ふ爲し得る者を配置しなければなりません。それが求めて達せられない希望であります。何となれば小區域制組合主義を採りますと、多數の組合を設置することになります。かゝる多數の組合に配置するに足る人材を求めるとも教育することも殆んど望み難いからであります。既に小區域組合では人を求める事が困難でありまして、假令求められたとしても小區域組合では經營的規模も從て小さい譯でありますからそれ等の人材を遇するに足る財政的餘裕を擧げることは頗る困難であります。従て組合を設置すると云ふことが只其の數を見れば喜ぶと云ふのであつたり或は又慈善的組合乃至は補助團體的組合で満足すると云ふのであれば別でありませんが、漸次自助的組合に仕上げて、其の眞價を世に問ふと言ふのでありますならば、官設的組合であればある程指導者たり經營者たり

得る人材を容れるに足る組織を整へることが必要であり之が爲に大區域制組合主義を探ることになる事は自然の要求でありまして、組合運動の進展に伴ひまして區域の分割なり、或は支所制を執るなり實情に即して改善することは素より應急の舉措と言ふべきであります。往々組合制と國家の財政的援助と云ふことを一緒にして考へて居る者もあり、ますが、國家が國策的の一面の機關とする爲に組合制度の發達を奨励する場合に其の組合の發展を助成する意味の發達途上の補助は之が成長を旺盛ならしめる上に良いことであります。永久に補助がなければ經營の出來ぬ組合であつてはなりません。それは自助自立の精神に立つ協同組合ではありません故に、苟も組合ありませぬ故に、苟も組合制度を探る限り嚮て自助の組合としての成長を爲し、自力を以て國家的活動に寄與爲し得ると云ふことを目標として劃策さるべきであります。

而してこゝに所謂協同組合への期待があります。組合制度は自ら經營の可能な機構を求めないのであります。低度文化に發生する組合制度と致しましては、自營上先づ大區域制に出發するの必然性を持つ所以であります。

金融組合が叙上の如くに發生と共に朝鮮全土を其の區域とし漸次其の發展と共に既設組合の分割に依る増設を爲して以つて今日あるの實力を造り、世界類稀と言はれます發展を爲したことは大いに味はるべきものがあるやうに考へます。

かやうな事實から致しまして私は今日の華北の合作運動を觀察致しますときに多少設置方針に検討を加へられる餘地を存して居るのではないか、安心の出來る經營者の居ない小組合を多數に造ることは考へるものではあるまいかと思ひます。

殊に治安工作の進まない所に居ると考へます。朝鮮の金融組合が發生以來一筋に順調な経過を辿り、時の経過と共に民衆と社會の信頼を愈々高めて今日に及んだことは最初に採つた大區域制の下に教育主義或は又指導者原理の方針を採つた成果に歸すべきであると思はれる。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もあるのでありませうが然も事實その方針を採つたことは全く實情に即して金融組合の發展の上に限りなき力となつたのでありまして、今日と雖も此の方針が繼續せられてゐる次第であります、惟ふに此のことは創設者目賀田男の卓見でありまして、適當なる經營者なき協同組合は創るべからずとする先輩の示教を如實に採り入れられたものとして敬意を表せられてゐる次第であります。而してこゝに味ふべき今一つのことは此の官選理事に配するに民選組合長を以つてし、兩者が共同して金融組合を代表すること、且つ理事は單獨にて業務を行ひ得ることとして、此の點でありまして、此の方法は偶々組合長が組合員の意向を代表し、理事が官の方針を組合事業に傳へることとなり、此の共同代表制度の下に下情上通、上意下達の働きが行はれ今日の新體制の要求そのまゝを金融組

殊に治安工作の進まない所に居ると考へます。朝鮮の金融組合が發生以來一筋に順調な経過を辿り、時の経過と共に民衆と社會の信頼を愈々高めて今日に及んだことは最初に採つた大區域制の下に教育主義或は又指導者原理の方針を採つた成果に歸すべきであると思はれる。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もある

選主義が採られ且つこの官選資格者は専門學校以上の卒業生で然も新卒業生と云ふ方針が採られたのであります。既に御承知と思ひますが金融組合も所謂協同組合の發生の仕方とは其の趣を異に致しまして、組合員自覺から生れたものではありませぬ。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もある

選主義が採られ且つこの官選資格者は専門學校以上の卒業生で然も新卒業生と云ふ方針が採られたのであります。既に御承知と思ひますが金融組合も所謂協同組合の發生の仕方とは其の趣を異に致しまして、組合員自覺から生れたものではありませぬ。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もある

選主義が採られ且つこの官選資格者は専門學校以上の卒業生で然も新卒業生と云ふ方針が採られたのであります。既に御承知と思ひますが金融組合も所謂協同組合の發生の仕方とは其の趣を異に致しまして、組合員自覺から生れたものではありませぬ。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もある

選主義が採られ且つこの官選資格者は専門學校以上の卒業生で然も新卒業生と云ふ方針が採られたのであります。既に御承知と思ひますが金融組合も所謂協同組合の發生の仕方とは其の趣を異に致しまして、組合員自覺から生れたものではありませぬ。官の獎勵に依つたと云ふよりも、官で作つたと云ふ方が妥當かも知れません所の一つの官設的組合でありますし、官が組合制度の發達を行政の圓滑なる運行に資せんとしての試みであるとも云へませうし、金融組合の發生的動機がそういう譯であると云ふことは、それ自體が組合員に對する組合教育が不可缺であり、金融組合の運営を負擔して立つ人材を要求して居るのであります。金融組合の内部から、即ち組合員の中から、適材を求めると云ふことは殆んど望まれないと云ふ見解から出發した様であります。其の方針の是非を抽象的に考へるならば色々論議の餘地もある

合は早くも三十餘年前より
實行して來た次第でありま
して、金融組合が當初官設
的組合として生れながら、
年所と共に漸次組合員の組
合としての更生を見つゝ今
日の大を爲してゐる原因の
一つが此の邊にも存在する
と思はれるのであります。

而して金融組合の理事が叙
上の方針の下に採用せられ
たと云ふことから大きく取
り上げられることは理事者
が強い責任感を惹き起した
と云ふことであります、何
しろ二十二、三歳から三十
歳未満の若い者を採用して
お前達に之支の仕事を任す
からしつかりやつて呉れと
頼まれた次第でありますか
ら、若ければ燃へ上る血潮
を抑へることは出来なかつ
たようでありまして、之等
の青年理事者は期せずして
我れ職責に行かんと決心
を固め互に手を握つて此
の負託に應へんことを誓つ
た次第であります。『身を捨
て、組合員の心に生きん』
と絶叫した當時の若い理事
者の眞意氣は今私の耳朶を
突いて躍動を覺へしめるも
のがあります。

成長を目撃致しますとき
想ひを華北に於ける合作運
動の將來に馳せるものであ
ります。華北の合作運動は
今後三十年、十年否近き將
來に於て何を畫き何を生み
出さんとして居ることであ
りませう、私は皆さんが現
に胸中深く期して居られる
であらう希望の最高峯を想
ふものであります。

(二月二十一日記)

二十三頁より續く

秀れたものであるとの自信と
信念が必要であり、又その努
力と熱意が必要だと思ひま
す。

我々の活動は愈々是からで
す。我々の戦ひは愈々是から
です。而かも北支の合作社運
動は下より盛り上る力が必死
の勢となつて今や内外共にそ
の全面的な強力な體制を整へ
る必要に迫られてゐると云ふ
事は、日本や滿洲の行き方と
は余程相違があり、無言の裡
に各位の不斷の努力が北支の
合作社運動を抜くべからざる
大きな力に築きつゝあること
を衷心感謝し又敬意を表する

ものであります。

更に今後我々興農の同志は
北支に於ける合作社の運動が
決して合作社の獨善に陥つて
はならぬ事であると思ひま
す。殊に中央機關が出来一應
組織運営共に新民會工作と切
り離して活動すればする程此
の事は大切な事と思ひます。

勿論合作社は狹義の意味に考
へる新民會のものでない事は
今更云ふまでもありません。
然し事北支に關する限り民衆
相手の仕事は廣義の意味に解
釋して新民運動の一翼でなく
てはならぬ。即ちお互ひ日本
人は自分の擔當する仕事に熱
中するの余り自己の存在のみ
を知つて他を忘れ或は無視し
勝ちであります。合作社運動
を擔當する我々はその點よく
心して民心把握の上から獨善
にならぬ様更に飽迄も民衆
の合作社を確立して行く事を
念願して頭張らうではありま
せんか。

一言所感を述べてまして發刊
の辭とし、又遲延に對するお
詫びの言葉とします。

以上

揭示板

華北に於ける合作社運
動推進のためにする諸
グループのために特別欄を
設けてよい

最近類々として合作社
に關する研究會が持たれ
ることは愈々華北合作社
運動の胎動と見てよいで
あらうが、これら研究會
の模様、研究會の成果等
はたゞ單なる一グループ
のものとして廣く啓蒙し
又一方廣く批判を求める
事にしやうではないか。

華北合作何でも來いの
欄を設けて手ぐすね引い
て待つてゐるが何の音沙
汰も御座りませんで編輯
子「のれんに腕押し」
のやうでしよげること
が、小さなことのやう
だがこんなところが雜誌
の出來に影響するところ
は大きい。



戦闘的組織運動への方向轉換

再び華北合作社の問題に就て

寺 神 戸

「はしがき」

合作社の機構統一に關する問題が政治的に複雑な状態で論議されてゐる當時、或る席上で種種意見の交換が行はれた。

門外漢である私も其の席に列つて居て話に加はつたのであるが、その時、M氏（華北農村問題の權威者）から、合作運動に關する根本的問題を二・三提出された。

其の問題は傾聴に値し眞剣に考へねばならぬものであつて、粗雑な私見も披瀝したのであつたが、再度吟味し検討して、此の一文を草した次第である。

第一の問題は、合作運動

が共産主義運動に對して、果して對抗し得るや否や、と云ふ疑問の提起であつて、その内容を大要左の如く述べられた。

「過去に於ける、即ち事變前に於ける華北の合作社運動が、主として買辦資本或は土着資本の勢力を中心として展開された結果、金融事業が重點となり、組織を通じて高利貸の農村への進出と搾取が強行され、それが爲に、農村の經濟的向上のための安定的組織たり得なかつたのみならず、反つて農村を疲弊せしめ貧農階級への金融を梗塞し、更に農村の良き特質たる相互扶助的性格をすら破壊した。

今日に於ても合作社に於ける金融例へば春耕貸款の如きが、舊來の勢力關係を確保、維持しつゝある土豪劣紳等の手に吸收され、合作社の意圖する生産手段の向上とは凡そ正反對の方向に流れ去つてゐるのではないであらうか。

若し斯る方向に在るとすれば、合作社は、農民生活の安定を第一要件とし、生産力を擴充せんとしつゝ、實際に於ては土豪劣紳の高利貸的勢力を一層強力にし、彼等の搾取を恣意的に深める要因となるであらう。

得る組織力たり得る處か反つてその温床を作る危険性を有するものとなる。

即ち、中小農階級が搾取の對象となる運動は、最も良き共産主義の對象たり得るものである。

かうした合作社の變則的な方向と實際的な状態は、華北の農民を、新秩序建設の方向へ動員し得る體制であり、共産主義運動と闘争し得る組織たりと稱し得るかは重大なる疑問とする處である。」

ふ可きである。

協同組合の本質は、政治的イデオロギーの如何を問はず存在し得る、即ち農民の自主的意識に依つて形成される純粹の農業經濟的協同體として成立し得るものではあるが、然し、之は反面にその依據する時代或は國家の政治性の作用を強力に受け、それに規制さるゝ性質を併有してゐる。

協同組合運動が、いかなる國家、いかなる政治的イデオロギー、等の下に於ても展開され居る事と、且つ各國に於て各々その特異な性格を持つてゐるといふ事實は、明らかに此の二面性を實證してゐるものである。

華北に於ける過去の政治的イデオロギーが、いかなる理念と内容を持つてゐたかは研明すべき限りではないが、此の土地に於て發生し展開された合作社が、その政治的イデオロギーに決定的左右權を把握されて居つたことは、かゝる組織が自主的、協同的意志を以て構成されたにせよ、その本質性を形成する最大の要素である。

而して、かうした要因は、合作社組織の定款等に明確な形を以つて表現され、例へば、二十五畝以上の土地を所有しない者、耕作しない者は入社する資格を缺如するものとして除外されて居り、此の組織の性格は、中農階級以上の農業經濟の向上發展を目的とするものでしかない事の證左である。

之は即ち、此の合作社が金融事業を通じて、買辦資本或は土着資本が最も良き搾取の対象として選擇され、農村に對する支配權を確保せんとする意圖より、彼等の有する政治的イデオロギーを經濟組織の中に具體的に滲透せしめた事の證明である。

然し、今後に於ける華北合作社の性格と方向は、政治的イデオロギーの相違性より、正に之と正反對のものとなつて來る事は明白である。

一部の金融業者と政治家との結合に依つて性格づけられた過去の型態は、新中國建設のイデオロギーにより根本的に變革せしめられねばならぬ。

之なくしては建設的協同組合の成立と發展はあり得ない。

即ち、新たななる合作社の有すべき性質は、華北農村社會を構成する歴史的、社會的、生産的諸條件に基き、之に根本的基礎を置くものでなければならず、而して、之に對する強力なる政治的指導力を發動し得べきものでなければならぬ。

的條件とは、生産關係即ちアジア的停滯性に規定され來たつて發達した自治性による狭小なる郷土的偏愛性、特殊なる家庭制度等であり、生産的條件とは、零細農であり且つ常に水害旱魃等の自然力に支配され器械力なき原始的生産様式等を指摘し得るであらう。

是等の諸條件を科學的に把握し、この上に建設される可き協同組合の組織と實際的運營方法が具體的に樹立される事は緊要であるが、最近二・三の人々が眞摯なる態度を以て研究されつゝある様であるから待望に足るものである。

唯、既に決定的事實である事は、華北協同組合運動に對する政治力が何處に發見されるかと云ふ問題に對しては、今日に於ける華北の客觀的、主體的情勢より、之を「新民會」と規定することは最早や何等の疑義を挿み得ないと云ふ事である。

茲に、合作社運動の性格と指導性が明白になつて來ると共に、かゝる方向こそ從來の如き傾向を打破する唯一の道であり、この理念に基いてこそ新中國の農業經濟的協同體として新しき態體と運動が創造されて行くであらう。

既に、かうした眞實の意味に於ける正しい運動の萌芽が見出され來たつてゐる。

では、斯くの如き考へ方の中に、對共產黨との闘争を展開し得る要素を含み居るや否や？

(二)

合作社運動は、之れ自體の目的を持つて成立し得るとするも、之に對する政治的指導が、この協同的經濟團體を華北の最高目標に對應せしむ可きものであり、かゝる政治力が新民會に附與された役割とすれば、合作社の内包する一個の性格は、新民會の持つ性格とそとの當面の目標から制約を受ける事は必然的歸結である。

此の新民會の政治的性格と當面の目標は如何なる内容を持つて居るであらうか、これを簡単に表現すれば、新民會は、新中國の一環たる華北建設即ち王道顯現の爲めに新民精神を基調となす民衆の動員組織體としての政治性を有し、對中國共產黨との決定的鬭争を當面の目標と爲して居る。

勿論、現在の新民會が、かうした役割と目標を擔當し得る實體と力を有し居るや否やは別個の問題であるが、若し此の要請に對し得ないとしても、既に歴史的に與へられた要請である以上、凡ゆる方法と努力と總意を以て之れが逞ましき成長を圖る事こそ建設者の良心的任務と爲す可きであらう。

故に、新民會の性格から出發して合作社も亦、その政治的意圖を農村の經濟的建設の面に於て顯現する役割を分擔す可きは當然であつて、遊說的に云へば、かかる役割を意圖しない合作

社は華北建設の分野に存在し得るものではないと謂ふも過言ではないであらう。

唯、今日迄の合作社運動の理論と事實の過程は、一つの傾向的事實として其の純粹性の上に基調を指向したが故に、不識不知の中に平和なる客觀的事態を對象とする運動型態のみが主要な内容として考へられて來た。

だから「治安が悪い地域に、どうして合作社運動が展開し得るか」と云ふ懷疑的な考へ方が、第一線地帯に於ける指導者の一般の觀念であり、又、合作社組織が進展し居る地點に於ても接敵地區が殊更に除外され治安の良好なる面にのみ安易な努力を傾注するといふ事態が多く存在する。

之に對しての批判は、合作社運動は治安確保に就ては何等の役割も果し得ないといふ結論を生み、合作社に努力する者は治安第一主義に順應しないものであるが如き謬論すら爲された。

我々は、斯かる消極的な觀念を即時に拂拭しなければならぬ。

此の點に關しては「新民運動」一月號に、新たな方向を購る氣に示唆したものであるが、素朴な初歩的な協同組合的運動が、敵側との接觸地點の諸活動から農民の本能的意欲と結び付いて押し進られる事こそ、前面に立塞がる共產黨への戰闘的體型を結成し得る最大の要件であり、之は直ちに内部治安圈内の組織と運動を正常に發展せしめる壘壁となり推進力となるであらう。

茲に、華北合作社の當面の目標が置かれ、主力が注がれざる限り、華北に於ける協同組合としての意義は全然ないであらうし、新民會の政治的役割の遂行も全くその可能性を喪失して行くであらう。

然らば、斯くの如き運動組織は如何に戦ひ取られねばならぬか。正に此の組織こそ、敵對勢力との絶えざる政治的、經濟的、思想的

各種の創意的方法に於て捉へられ伸ばされねばならぬと確信する。

此の點に關し、一つの重要な問題として考察する可き事は敵側に於ける合作社の現況である。

かうした方向への轉換の萌芽を、新民運動一月號に於ける小論の「良民倉庫」としての經濟封鎖強化の工作の中に見出したのであるが、これは正しくは合作社運動の型態ではなく、其の組織への基本的動向として採り上げらる可きであることは指摘した通りである。

合作社はその本質より當然各種の制約を持ち經營的に成立しなければならぬのであるが、治安圈内に於ける純粹なる型態も、此の存在の周圍線は凡て接敵地區である事を考へる時、組織と經營の確保と發展のためには、圍繞ある状態の如何によつて決定される。

之等の詳細な點に關しては充分なる資料に基いて記述し得ないのであるが、中國共產黨の勢力圈内には到處合作社の組織が結成され、この上に邊區貿易局の如き機關が設置され、抗戦力培養、兵站基地の確保の爲め各種の農業政策を實施しつゝ、此の組織を通じて農産物の收買に努力しつゝ、ある事は明白な事實である。

即ち、此の貿易局を形成するものは土着の糧棧等の勢力であつて、これが中共或は八路軍の計畫的な方針に基いて抗戦力擴充と確保のために合作社組織内に活躍して居るのであつて、此の面に於て注目すべき現象は、合作社が單に合作社本

來の目的と性格のみに規制

來の目的と性格のみに規制

され居らず、強力なる政治力即ち中共の指導と統制下に置かれてゐる事と、武裝的背景（八路軍或は郷村自衛團）を有してゐるといふ二點の特徴である。

(三)

我々の側に於ける合作社運動が、新民會の強き指導力を必要と爲す所以は既述したが、では武裝的問題は如何にすべきであらうか。

戰鬪的組織への發展的轉換として特に接敵地區の合作運動を採り上げる場合、當然問題として提起さるゝ事は、敵側の武裝力による攻勢、擾亂を如何に防壁し更に積極的に撃滅するかと云ふ事である。

今日、華北の治安は、皇軍の絶大なる努力に依つて維持されてゐる事はも或や云ふ可き要はない。如何に誇示し號叫するとするも、敵側の組織的な戰術的な闘争力に對して敢然戦ひ得る組織は、皇軍を措いて他に無き事は明らかである。が、我々の任務と目的に

於て、かゝる多大なる負擔と犠牲と努力をすべて皇軍に依據して、安易と逃避を爲す可き事は許されない。

少なく共、敵側の擾亂的、潛行的ゲリラ戰術に對抗して充分之と戦はんが爲には、武力を絶対に必要とする。

それには、第一に考慮さるゝ事は、縣警備隊の質的充實と武裝自衛組織の問題である。

勿論、接敵地區に於て直ちに自衛團の武裝的組織を持つことは實情が許さないが、その背後地帯即ち行政力も滲透し合作社も組織され新民會工作の進展しつゝある地域に於ては、狀勢の許さるゝ範圍に於て自衛組織の武裝化が企圖され實行されねばならぬ。

これは、今日迄の華北農民が一個の本能的欲求として生命と財産と郷村の平和を維持し防衛するために持つた組織であつて、新たな組織ではない。農民は今尙武器を隠匿し生命の最後

的防禦に當つては敢然として起ち上るし、又、敵側の抗戦力の一半も此の點に存在してゐる。

唯問題は、此の組織は、飽く迄も我々が決定的指導力を持たねばならぬ事である。が、この成功的事例は、新民會工作の現地體験の中に次々と示されつつある。

縣警備隊の質的擴充とは新民運動を理解する者をして構成し即ち青訓出身者等を中核體とし、又武裝的にも充實することである。

此の組織が、積極的に治安工作の上に活動し得、又得るが如く指導する事が今後の重要な課題である。

更に、以上二つの問題と關聯し、新民會が全面的に武裝工作隊を編成し以て敵側の政治的、經濟的擾亂工作と對抗する事も問題として考慮される。

此等の問題に就ては、貴重な現地の體験を基礎として現在考究されてゐるが故に省略するが、この武裝化問題は慎重且つ適切に研究

さる可きである。

斯くして素朴なる合作社的組織は、あく迄も農民の本能的、現實的欲求、例へば敵側の農作物の收奪に對する農民の反感、憎惡の感情と必死の闘争の中より盛れ上つて來る様に、絶えず

困難を克服しての指導の展開に依つて組織されねばならぬ、而して、此の組織の背後からの武裝的力は、この組織の生長と發展を確保するのみならず更に前進して敵側への突入する原動力となるであらう。

かうした組織運動の方向に依つて、點より線へ、更に線より面への發展的工作が推進され得る。

合作社を單に農村の經濟的協同體としての意味ばかりでなくより高度の協同運動として理解する時、中國共産黨が老なる農民層を抗日民族戰線へ動員し馳り立てつゝ、ソヴェット地區建設を爲さんとしつゝある意圖と目標を、完全に破碎し得、之れが成功的に戦ひ

取られてこそ華北の明朗化が顯揚されるのである。

批判さる可きは、從來の合作社運動の指導と實際が、かゝる意義をそれ自體の中に發見し規定し得なかつたといふ點である。

固より、かうした運動が、單に合作社自體のみ運動として採り上げらる可きではなく、新民會工作の中に見出されねばならなかつたのであるが、「この方向への着意と努力が少かつた事は厳しく自己批判されねばならぬ。

然し、新民會が、昨年十二月の第一回全體聯合協議會に於て當面の目標を對中國共産黨との闘争の上に規定した事は、直ちに合作社運動の嚮ふ可き道を指向したと謂ふ可きである。

(四)

第二の問題は、華北合作社が、現在の農村の實情より共同的國防體制確立の要請を擔當し得るや否やと云ふ事である。

『華北合作社の最高の目

標として規定する事は、日本と中國との共同的連帯感に於ける國防體制確立の立場より、華北農産物の國防經濟への動員である、といふ點に置かれてゐるが、果して斯る負擔を果し得るかどうかは多分に検討する餘地がある。

例へば、石炭、鐵、棉花、羊毛、皮革、鹽、落花生油等々の主要産物を、貿易統計等より觀ても、今日國防經濟確立の面に對して負擔して居る部分は僅少である。最も必要と爲す棉花であつても、その總額は二五〇萬圓程度であつて總輸出額二億圓の八分の一に過ぎない状態である。

又、特殊資源たる棉、鹽、石炭等を除外すれば、華北の農産資源は零細なるもの集合即ち農家の副業的生産が多數を占めて居る。

一方、農家の經濟生活をその全收入の數字の上より分析して見るに全收入一〇〇%の中、五〇%が農業生産に依る收入であり、他の

五〇%は副業或は出稼労働等によるものであつて、華北農民の過少農經營の實相はこの點より明らかになり、又、斯くの如く過少な生産力しか持ち得ない點は正しく把握されねばならぬ。

更に、自然的諸條件の支配即ち旱魃、水害、匪災等に依り農業生産の著しく阻害され低下され居ることは謂ふ迄もない事である。

かゝる諸事實の觀點から農民の最も要求し切望することは生産力擴充の決定的要素たる民生の安定にある。

今日、華北農村が、アジア的生產様式たる停滞性を以て規定されつゝある所以のものは、農業生産面に於ける農民自體の經濟力が蓄積され再生産に振り向け得ない點にあるのであつて、かかる状態の爲め多額の資金を農村へ流入せしめたのであるが、それは前述した如く土豪劣紳の勢力を強化するか或は自給自足すら爲し

得ない農民の生活面に幾分役立つ程度のものであつて生産力の充實に資して居ることは實際上稀薄であると云ふ可きである。

こゝに合作社の持つ最大の要件は、民生の安定を圖るべき方向にあることが規定される。

即ち、農業生産力を農民自からの力に於て確保し發展せしめる事なくしては、生産力の向上は有り得ないのであつて、此の點、適切なる地方土産物の復興、指導、之への資金の融通等が考慮されねばならぬ……

斯かる意見の存在する事は、華北農村を現實的視野觀點から見る時妥當性を持つことは事實である。

我々は、今日の農村の經濟的狀況を正しく判斷して、理念的に要請する、國防經濟への負担を果して實際的に遂行し得るや否やに就ては一應の疑問を持ち得るものである。

併し、此の意見の論據として擧げられたるが如き數

字的な觀念からのみ、農村經濟の内容を批判をなすことは妥當かどうかは検討の餘地があらう。

日本の農村經濟を、その生産部面に於ける數字的統計に基いて觀察する場合、恐らく中農以下の農村である限り赤字であり到底經濟的に成り立たない結果を觀る。茲に、ある時代に於ては、農村經濟の缺狀價格差の進行より崩壊すると迄理論的に決定されたのであつたけれ共、併し、依然として農村生産が力強く各種の困難と障害をのり越えて續

困難と障害をのり越えて續けられてゐる事實は、單に統計的經濟のみによつては農村經濟を判定し得られない部面が存在する事の證左である。

勿論、數字的に成立し得ざるが如き農業經濟の存在といふ事は、農業本來の性質より許さる可きでなく、その是正が經濟機構及び政治力によつて改革される事が重要な問題であらう。

そして現實の問題は、か

かる農業經濟に一層の發展的基礎を與へる事に關する考慮であつて、華北農村に於ても共通の性格から云ひ得ることである。

又、農産物の出廻りが僅少な理由を單に統計上に表れた數字に依つて華北農村の役割を過少評價することは即斷であつて、眞を穿つてゐないと謂ふ可きである。

現在、農村の生産物が各種の事情より遞減しつつあることは明白であり、特に棉花に於ては著しき低下を示してゐるが、之等の生産物の市場への出廻りが少なき原因は、反つて買付、取引、或は價格等の不合理なる諸事情による生産減、及び敵對勢力（中共）の強力な影響に起因する。

今茲に、買付、取引等に關する不合理性或は價格の適正化等に關しては詳述し得ないのであるが此れ等の事情より生産物が他方面に流出し或は商品的農産物生産を迴避する等の現象が發

生し居る事は疑ふ可らざる
實情である、

問題は、寧ろ此の點に存
在する。

如何に經濟的に要請さる
る役割であらうとも、農民
の本質的欲求と懸隔甚しき
に於ては積極的に負担し得
ないことは當然といふべき
である。

況んや、國家觀念なく目
前の利益を必死となりつゝ
追求せねば生活を維持し得
ない華北農民に取つて、高
度なる政治的要求は凡そ縁
遠きものであつて、犠牲の
要請は農民の生産ポイコツ
トの無言の表示となつて現
はれるに過ぎない。

固より、かゝる要請のみ
強く表示され、現實的に要
求される民生の安定に對す
る具體的方策が殆んど考慮
されてゐない點は正當に批
判、検討されねばならぬ。
今日に於ける問題は、か
うした國家意識なく、文化
的水準は低く、社會的觀念
すら稀薄であつて、長い間、
他權力によつて收奪を強行

せられ歴史的停滞性の中に
彷徨し居りたる華北農民に
近代國家要請（中國と日
本の提携による）を如何に
納得、理解させるかであり、
以上の不合理な點の是正が
絶對的に必要である。

且つ、我々の目標とする
農民層が一方的な要請によ
つて領導されるのみなら
ず、相反する二つの強力な
組織と力による鬭争の過
程に左右さるゝ華北農民の
現實的立場に對しては、更
に一層の明察が爲されねば
ならぬ。即ち農民は、ある
一方的意志に基いて行動す
ることは、他の意志により
破壊と滅亡を絶對的に余儀
なくされてゐるのである。

華北農村の持つ特徴は
現段階に於て以上の如き様
相を持つてゐる。
故に、民生の安定に對す
る適切なる指導が強力に要
望され、それを通じて生産
力の擴充が期待され且つそ
の過程の各種不合理の適正
化が爲される事に依つて、
最高目標の要請に應へる可

能性が出來て來るであら
う。
中國共產黨は、明確な戰
時農業政策を持つて居り、
その對策の一部として擧げ
得るものは
(1)墾荒條例を發布して自
由開墾の許可、戰時中の地
租納入の撤廢、不勞地主の
發言不許可
(2)失業者、難民に土地を
與へる
(3)農具、種子を分け、前
線兵の家族は農家指導者の
代耕者によつて食つてゆけ
る
(4)小作料、金利を減して
融資を行ひ、小作料は二割
五分、利息は年利一分以下
とする。

華北農村の持つ特徴は
現段階に於て以上の如き様
相を持つてゐる。
故に、民生の安定に對す
る適切なる指導が強力に要
望され、それを通じて生産
力の擴充が期待され且つそ
の過程の各種不合理の適正
化が爲される事に依つて、
最高目標の要請に應へる可

業著しく發展し異常な現象
を示し居り、「今回の事變
は、支那の植民地的性格を
變革した」と誇示してゐる。
單に合作社運動のみなら
ず、現下の世界狀勢特に東
亞新秩序建設を圍繞する情
況は、華北建設の一切の運
動は困難であり且つ緊急を
要するものとしてゐる。

農村の社會的制約、生産
的手段等の改革は、合作社
運動が新民會運動と相關的
一體となつて推進せしめら
れざる限り不可能である。
我々は單に一方的、主觀
的判斷によつて農村建設の
方向を見誤つてはならぬ。

以上二つの問題は華北合
作運動進展の上に多大の示
唆を提示したものである。
今、かゝる性質を有する
問題がM氏より眞誠に採り
上げられた事は寧ろ當然で
あつて、合作運動に携ると
否とを問はず、華北の建設
的分野に於ける大きな問題
として検討すべきである。
謂ふ迄もなく華北建設

は、新秩序建設の礎石であ
つて且つそれは全人口の八
割を占むる農村の經濟的復
興と發達に依存すべきもの
である以上、農村を搾取或
は奴隸的對象とのみ見る植
民的考へ方は飽く迄も排除
さる可きであつて、民生の
安定は、農村の犠牲に於て
爲さるゝものに非ず、農民
の自主的協同意識の組織化
さる可き合作社と之に對す
る正しい適切な指導が絶對
的條件を爲すものである。
華北合作社運動は、現在、
轉換期に當面しつゝある。
待望されたる中央機關の
設置とその實質的活動も愈
愈近きにある由を聞いてゐ
るが、要は合作運動に對す
る強烈な「踐的熱意と正
しい指導理論を有する指導
者に依つて、農民の本質的
感情と考へ方に即した運動
と當面する客觀的情勢に對
應して具體的方法が執らる
る事である。

之等の諸條件と逆行し、
運動を官僚的に規制するが
如きは、恐らく建設の方向

業著しく發展し異常な現象
を示し居り、「今回の事變
は、支那の植民地的性格を
變革した」と誇示してゐる。
單に合作社運動のみなら
ず、現下の世界狀勢特に東
亞新秩序建設を圍繞する情
況は、華北建設の一切の運
動は困難であり且つ緊急を
要するものとしてゐる。

農村の社會的制約、生産
的手段等の改革は、合作社
運動が新民會運動と相關的
一體となつて推進せしめら
れざる限り不可能である。
我々は單に一方的、主觀
的判斷によつて農村建設の
方向を見誤つてはならぬ。

以上二つの問題は華北合
作運動進展の上に多大の示
唆を提示したものである。
今、かゝる性質を有する
問題がM氏より眞誠に採り
上げられた事は寧ろ當然で
あつて、合作運動に携ると
否とを問はず、華北の建設
的分野に於ける大きな問題
として検討すべきである。
謂ふ迄もなく華北建設

は、新秩序建設の礎石であ
つて且つそれは全人口の八
割を占むる農村の經濟的復
興と發達に依存すべきもの
である以上、農村を搾取或
は奴隸的對象とのみ見る植
民的考へ方は飽く迄も排除
さる可きであつて、民生の
安定は、農村の犠牲に於て
爲さるゝものに非ず、農民
の自主的協同意識の組織化
さる可き合作社と之に對す
る正しい適切な指導が絶對
的條件を爲すものである。
華北合作社運動は、現在、
轉換期に當面しつゝある。
待望されたる中央機關の
設置とその實質的活動も愈
愈近きにある由を聞いてゐ
るが、要は合作運動に對す
る強烈な「踐的熱意と正
しい指導理論を有する指導
者に依つて、農民の本質的
感情と考へ方に即した運動
と當面する客觀的情勢に對
應して具體的方法が執らる
る事である。

之等の諸條件と逆行し、
運動を官僚的に規制するが
如きは、恐らく建設の方向

を誤るであらう。

中國共産黨に對する新民會の新たな方針と任務は既に與へられて居り、従つて合作社運動は必然的に此の線に沿ふて展開されねばならない。

此の點、華北の合作社が日本或は朝鮮に於ける協同組合とは全然異なる特殊性を内包してゐるのであつて、これに對する明確な認識を缺いて考へる事は、運動を理解せざるものと謂ふも過言ではない。

近來、滿洲國に於ける協和會が運動方針の轉換をなし、その基準を縣に移行して運動を擴充、推進せしめる事になり、興農合作社との關聯性を最も緊急な形に於て規定し、「分會を合作社の中核體たらしむる」ことに決定されたことは、運動發展の方向として必然的であり寧ろ遲きを感じしめ

る。(滿日の記事による)が、斯る方針の提示は、新民會及び華北合作社運動の上に、多大の示唆と教訓

を與へるものである。

滿洲協和會の運動の缺陷は、合作社或は勞工協會の基礎の上に立ち、之を指導する點が明確ならざりし事であつて、この點は正しく批判されねばならぬのであるが、種々な困難性を豫想

されつゝも斯る方向へ一歩前進した事に對し、我々は萬腔の敬意を表すものである。

顧みて華北の状況は、既にかゝる方向に於て實踐され來たつてゐる事は全く幸とし、よろこびとする處であるが、滿洲の方向と逆行するが如き愚は斷じて冒す可きではない。

華北の情勢を明確に認識せず單なる經濟的イデオロギイ或は自己の地位に主觀を置いて論ずる者の間には、かうした逆行への傾向を正しいと主張する例が無いでもない。これは嚴密な批判を爲す可きである。

繰返す迄もなく、中國共産黨が一個の農民運動としての型態を戰術的に採用

し、一方には提携しつゝある重慶國民黨との階級戰を意圖しつゝ、一方には半封建的農村の解放とソヴェツト地區建設の革命的運動を進展せしめ、更に抗日への民族意識の昂揚による抗戰を続けつゝある、偉大なる政治的力を正當に評價すべきである。

我々の建設的役割は一層重大である。

今後華北合作社の向ふべき道は、戰國的組織運動への方向轉換を敢行する事であり、之なくしては農村の經濟的復興も民生の安定も民心の把握も、高度の使命への動員は有り得ない。

この爲めには、合作社運動内に於ける各種の矛盾、誤謬は一日も早く清算、揚棄され、要請する、方向と相反する傾向は、如何なる理由が存在するにせよ批判、検討され、正しい方向への伸展を圖らねばならぬ。

華北合作社運動の逞ましき成長を祈念すること切である。

(了)

合作社研究會生る

冀東、津海、渤海の各道の有志によつて合作社研究會が持たれ活躍な動きを見せてゐる。一月の研究會の研究事項は「合作社運動を如何にして農民の中に浸透せしむべきか」及び「新民會と合作社との關係」について熱心な研究討議がなされた。本研究會の規定並びに會員氏名次の如し一、本會は合作社研究會と稱し連絡事務所を暫定的に新民會津海道辦事處厚生科内に置く
二、本會は會員の合作社問題

- の研究と親睦を圖るを以て目的とす
 - 三、本會は合作社研究の有志者を以て組織す
 - 四、本會には責任者一名係員二名を置く
 - 五、本會への参加費は文書及口頭を以てなすものとす
 - 六、本會員は月額一圓の會費を納入するものとす
 - 但會費外の超過経費は會員の分割負擔とす
 - 七、本會は左記の事項を行ふものとす
1. 研究例會の開催
 2. 連絡誌の發行
 3. 「權威者に話を聴く會」の開催
 4. 資料の蒐集發行と交換
 5. 其他

所屬	姓名	摘要
津海道	志賀 英明	(責任者)
渤海道	濱田 善雄	
冀東道	加治 幸衛	
冀東道	小澤 利一	
冀東道	石原 誠	
渤海道	水原 友策	
渤海道	大森 限四	
渤海道	森村 敏夫	
中央總會	梶原 司行	特別會員

われ等の主張

われわれ華北に於ける合作社の遅ましい前進を策する上に於いてかくありたき、かくせねばならぬといふ要望や要求……

蘇北宿遷縣總會

- 1. 指導の一元化
新民會指導、政府側指導等の二元化の除去
- 2. 華北合作社法其他諸規定の制定

- 蘇北地區に於ては行政專員公署は蘇北地區合作社法其他諸規定を制定し根本的な指導方針を明示しあるも新民會は工作要領程度のものにして工作上幾多の弱體性を暴露す
- 3. 資金の融通
農村合作社は資金貧弱にして充分なる活動困難なり合作社中央會に於て資金融通を考慮され度し
- 4. 政府の合作社に對する確固たる助成を希望す
現在に於ては何等の助成策もなし
- 5. 華文簿記解説の發行

合作社の健全なる發展は經理の正確に俟つ處多し
「華文簿記解説」外「業務指針」等の發行を望む

河南武安縣

久保定

- 一、物資購入に對して一定の地區に限定された大販賣所の如きもの設立を要求す
- 一、現在の狀況にては高揚する市價に對抗するに餘りに購入價の高い事である規定せられた商人に依つて購入の出來る様になれば市價と對抗して民衆の福利が計れると思料するを以て右要求す
- 一、軍の買上價と合作社の買上價と相當の開きのあること之れが一元化を計られ度く思料するを以て右要求す
- 以上を當局に要求するものなり

- 本誌に對する要項事項
- 一、農事専門家の派遣指導等の便宜を與へられる事を要望す
- 一、物價並に多量に物資の有る地名の記載を要望す
- 一、物資の販路に付て何物資へ何方面と言つた記載を要望す

河北定縣

中會榮一

- 一、信用購買販賣利用事業の一環的系統組織整備
例へば簡單迅速而かも責任を以て縣聯合會の事業を推進するものにして一貫せる指導精神と運営の據點たる合理的な上級機關の急速なる設置
- 二、合作社運動一元的統制と農村經濟の合作社歸一
- 三、權力と經濟の明確なる分離
- 例官吏の商行爲取締等
- 四、重點事項の他機關との聯絡協調は上級機關に於て處理せられ度きこと
- 例各機關合作社の統合物資配給販賣規定の設定等
- 五、合作社貨物の運搬に特典

附與

- 一、自動車公路の運行許可
- 一、合作社貨物運搬料金の割引
- 六、建設的資金の長期年賦償還による借入可能の途を講せられ度し

冀南廣平縣總會

大久保慶福

- 1. 系統金融機關の確立
當地區は經濟的に見てもまた智的民度低く合作事業に於ても金融又困難にして舊紙幣の流通を禁止せりと雖も現在察するに中央銀行券四〇%中國銀行券二二%四%交通銀行券一六%山東民生銀行券一、六%以上計
- 2. 事業案内機關の確立
金融圓滑ならざる上に商賈に暗き者に對しては開屋式の中央機關ならずともせめて購買販賣案内位は取計つて頂いたなら合作工作進展上便利ならずや例へば來春より當地に生産さる可き果物の如きは信用確實なる商人ならざれば取引不可能なりと思料すればなり

「神聖な寓話を捨てる
敬虔らしい臆説を捨てる——
われらのために率直に
この呪はしい疑問を解くがいい
……
かくわれらは絶えず質ねる
ついに一握の砂をもつて
われらの口が塞がれるまで
——ハイネ——」

わが指導する合作社の現況

三十年度の躍進に備へての自己批判も

河北定縣 中會榮一

今回中央に於て華北合作社運動を指導すべく「華北合作」を創刊せらるるに當り本運動の華北農民の福利と治安工作に寄與する所大にして之が成否如何は事變處理、中國産業の興廢の鍵と謂ふも過言でない、而かも是が指向の道標たるべき「華北合作」の使命重且つ大なるを思ひ衷心より慶祝の意を表すると共に貴重な紙面を藉りて聊か定縣合作社運動の現狀を述べ同志諸賢の參考に供し批判鞭撻を受くるの機會を得たるは誠に欣快且つ光榮とする所である。

現在定縣合作社聯合會は別掲の如き組織と内容を以て進行しつゝあるも構成分子たる村單位合作社の機能未だ實質的活動を期待し得ざる現段階に於ては直接社員の福利に寄與するもの頗る薄く成果の未だ何物をも指摘し得ざる微々たる現在の内容と過去の業績を克明に検討批判し今後更に緊極一番眞に定縣農村經濟の

が如き信頼と責任が交流する所に合作社の發展が存する。是が爲には先づ以て指導者の人格と是を中心とする會務職員乃至は合作社役職員の鐵の如き結束と火の如き熱意が要求せらるべきであり、猶如何なる障害、困難、複雑をも適確明快に處理克服し、事務の整理に寸毫の隙を生ぜしめざるの技能が要請せられ始め機構と資金の運用に遺憾なからしむるものなりとの信念に基き農村人の宣傳指導に先立ち自己の人格練成に、内部の訓練育成を第一義とし日々、の行動公私生活、業務の執行は皆是れ民衆の模範たるべく、本運動の規格たるべく應接を宣傳の機會として惡弊に苦しみ、據るべき所を失ひたる一般民衆をして此の人こそ此の組織こそ吾等の信ずるに足る人であり吾等の經濟を守

るべき組織なりとの信念を生ぜしむるの心構へを堅持して進行しつゝあり。

次に華北農村疲弊の原因を探究し、其由て來る所以のものを克明に分析、之を政治的に經濟的に新民主主義指導精神を以て是正、農村生産力の増大と新らしき經濟組織體に依る團結を以て克服し、大東亞經濟圈確立に指向する根本方針のもとに現地的治安工作の線に沿ひ急激なる更改に依り民心の不安動搖を防ぎ、民性習慣を無視摩擦を起すが如きを避け、飽くまでも現地即應的に可能なる範圍に漸次基礎の確立を計り、基礎内容の充實に併行して事業の展開を期し、斷じて空手形を發行民衆に信を失ふが如きなからしむるを期し、經營の重點を販賣事業に指向之れが爲に必要なる信用購買利用生産指導の各

事業を適正に運用し、いやしくも販賣事業を基礎とせざる各事業の跛行的伸張を警戒事業經營の本質を誤まり農家經濟の福利、收支の均衡を失ふが如きなからしめ、生産指導を農場經營に組織指導を同志的結合に經營を農家經濟の保護と生産力増大、基礎の確立を根幹とし新政權下に於ける鞏固なる經濟組織體として東亞共榮圈のあらゆる部面に動員し得る態勢に展開誘導するを方針とす。

定縣合作社聯合會は如上の心構と方針に基き現在認定登記を完了せる單位合作社八十八社拂込資金七、二三四、〇〇、借入金六五、一〇一、〇〇貯金八、六二二、八八を以て運轉しつゝあるも、社員の全經濟より觀る時は未だ微々たるものにして少くも不可分のたらしむる爲には猶多額の

中樞として展開すべく準備中にして大體左の如き心構を指導の根幹とし方針を經營の基礎に置き實行を宣傳の手段として實施しつゝあり。

謂ふ迄もなく合作社運動は經濟的團結のみならず心的結合が要請せられ其の成果を期待し得るものにして役員、社員職員乃至機構は相互に相信じ相扶け宛ら一家庭に於ける

資金が必要とせられ政治的操
作が要せらるゝ次第にして、
變轉極りなき經濟界に處し運
營に臨機即應迅速事を成すは
資金運用の効果を最大限に發
揮するのみならず經營の安固
を期する所以、是が爲め上級
系統組織の整備を要望しつゝ
あり。

次に販賣購買事業に附帶せ
る倉庫は目下城内に四ヶ所別
表の在庫を有するも現段階に
ては單獨的農業倉庫として經
營は困難なる實狀に在り複雑
なる取扱を避け總て聯合會の
販賣購買物品保管集積場所と
しての役割を担はしめ居るも
將來は農業倉庫として本來の
性格に基き經營すべきものと
思料す總生産指導の對農民機
構として農場の經營は新民會
定縣總會監理指導のもとに本
聯合會の最も意を用ふるもの
にして農村農耕技術指導の人
的要素の育成、種苗の推廣試
驗研究を農村の實態線に沿ひ
完成するのみならず農民と合
作社運動の紐帶として生産指
導を通じ緊密なる連絡を保た
しめ生産指導と販賣事業の密
接不可分の關係を強調實踐す
るところに本聯合會の萬難を
排して農場經營に邁進する意

義を有するものにして本聯合
會の基礎内容より綜合的に判
斷せば負擔過大聯合社自體の
經營を困難ならしむる惧あり
と思考せらるるも前述せる如く
合作社運動に生産指導の必須
なる以上人的要素の育成と農
民と農場、合作社聯合會との
離れ難き血脈を通ぜしめ一貫
する有機體を形成し始めて目
的の達成を期待し得べしとの
確信を以て渺からざる資金の
犠牲を忍びて實施しつゝあり

次に本聯合會は縣内重要地
點にして軍駐屯地附近縣城に
遠く社員たる利益の享受薄き
偏僻村莊の爲に出張所を設け
物資の集積配給統制指導の均
等を期す。蓋し享利の不均衡
は不平無關心を惹起し結束に
龜裂を生ずるものなるを思ひ
現地軍隊との連絡指導のもと
に縣城近郊同様の利益を領つ
ことに注意しつゝあり。將來
一般の認識と氣運に従ひ漸次
單位模範合作社に移行せしむ
る方針なるも現在に於ては出
張所としての機能のもとに運
營しつゝあり。

定縣一般農村概況

委員會、華北棉產改進會等と
密接なる連絡協調のもとに運

大體以上が我が指導する合
作社の狀況なるも猶一般農村
の概況を記し諸賢の參考に資
することとする。定縣の歴史
は遠く顛覆の世に遡り得るも
中世一降漢晉にありては中山
國都となり、南北朝に在りて
は後燕の國都となり元魏にあ
りては行台を置かれ、北周に
は總管を、李唐には節度使
を、有宋には都部署州、金元
には府治を、明清には明治を
各々設置せられて今日に及
び、歷代河北の重鎮として重
要視され、古來地位地勢交通
上の諸點よりして兵家用武の
地として北城内戰の殃禍一と
して受けざるなり、民衆疲弊
して今日に及び、一般農村の
狀態は大體に於て縣の人口の
九割を占むる農民即ち三十六
萬人と推定せられ、農家戸數
中專業農家は全般の七割他の
三割は小賣行商人家庭工業煉
瓦製造其の他の工業及木工土
工又は苦力等を兼業せり。而
して農家一戸の耕作畝數は最
少十二畝最多三十七畝にして

委員會、華北棉產改進會等と
密接なる連絡協調のもとに運
營しつゝあり。

地價納租對照表(小作を含む)

租種等級	每畝所納租	現金と農產物による租	每畝地價	每畝地稅	地價と稅金百分比
上	棉花三十八斤餘	五、六	四、〇	六、〇	五、九%
中	粟六斗五升	三、〇	二、〇	三、〇	六、三%
下	棉花九斤	〇、七	一、〇	〇、七	五、二%
	高粱二斗	〇、七	一、〇	〇、七	五、二%
	高粱二斗	〇、七	一、〇	〇、七	五、二%
	小麥八升	〇、七	一、〇	〇、七	五、二%

農家の生活狀態は今明確な
數字なきも平均して一ヶ年
の生活費三百元強と見るが妥
當ならむも、定縣社會調查概
況により觀れば最少百七十元
高三百六十元平均二百六十元
にして其の内譯は食費百七十
元(70%)燃料十九元五角(8
%)住宅費雜費衣服費等五十
元(22%)なり。教化保健の

二百元最低十二元平均上地九
十五元中地五十五元下地十五
元程度にして地代の納入は年
二回に分つも大部分は秋之を
納付し殘額を以てするものと
金錢を以てするものあるも漸
次金錢を以てする傾向に在り
事變に依り地代の納受困難な
る諸條件は前陳の數字並に左
表に示せる地價と納租の對照
に多少の移動を來しつゝあ
り。

狀況は民國十二年より平民
教育促進會なるもの定縣を實
驗區となし愚窮弱私の四大病
弊を文藝、生計、衛生、公民、
各教育により救はんとして積極
的に政治經濟教育自衛衛生禮
俗等の建設に貢獻し文教大に
啓蒙せられし事蹟見るべきも
のあり就中生計教育に依る合
作社組織と運營には力を注ぎ

たるものゝ如し、
農作物の栽培状況は現在調査
に基き概数を示せば左表の如
査頗る困難にして正確なる数
し。

品名	作付畝数	收量	備考
粟	四〇萬畝	四十四萬八千石	
小麥	三九〇	三十一萬三千石	
豆類	二五〇	二十萬石	
高粱	一〇〇	十萬石	
棉	七〇〇	六千萬斤	
包米	五〇〇	五萬五千石	
落花生	一〇〇	三千一〇斤	
蕎麥	一八〇	九萬石	
大麥	三〇〇	四萬石	
一、合作社組織			
縣下鄉村數		四七二	
合作社數		八七	
組織内農家總戶數		九、九〇三	
合作社員數		四、六五七	
出資口數		四八三	
出資拂込額		七、二三四、〇〇	
未拂込額		二、四二六、〇〇	

二、貸付金 (十一月份)

區別	前月末現在本月貸付額	本月償還額	本月未現在返還期經過
春耕貸金	一、三三三、七六〇	一、三三三、七六〇	〇
小本貸金	六、二〇〇、〇〇〇	六、二〇〇、〇〇〇	〇
水災貸金	八〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	〇
短信貸金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	〇
米高復興	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	〇
棉花貸金	二、三〇〇、〇〇〇	二、三〇〇、〇〇〇	〇
計	二、三三三、七六〇	二、三三三、七六〇	〇

三、借入金 (十一月份)

用途	借入金先	本月未現在
春耕資金	新民會定縣總會	一四、三一一、三〇〇
復興資金	〃	一、一七〇、〇〇〇
春耕資金	定縣公署	四九、六二〇、〇〇〇

四、販賣事業 (十一月份)

種類	承流機關經由	數量	金額	其他	計
小麥		一、九七、〇六四斤	一、九七、〇六四		一、九七、〇六四
粟		一、二七、三三三斤	一、二七、三三三		一、二七、三三三
棉花		一、二七、三三三斤	一、二七、三三三		一、二七、三三三
計		三、五一、七三〇斤	三、五一、七三〇		三、五一、七三〇

右表販賣高表示

五、交易場 (十一月份)

種目	數量	價格	手数	最高標準價格	最低標準價格
棉衣	六百五十八包	每包一元五角	九百八十七元	每百斤老秤	每百斤老秤
籽棉	九萬三千一百七十八斤	每百斤五十一元	五百七十九元三角	每百斤市秤	每百斤市秤

六、購買品 (十一月份)

種目	前月末數量	本月買入數量	平均單價	格數	本月賣出數量	平均單價	格數	本月棚卸數量	本月末數量
煤油	二二桶	一〇桶	二,〇〇〇.〇〇	二桶	一〇桶	二,〇〇〇.〇〇	二桶	三三桶	三三桶
火柴	三箱	一〇箱	三,三三〇.〇〇	五包	二九包	二,〇〇〇.〇〇	三箱	三三箱	三三箱
洋燭	三箱	一〇箱	三,三三〇.〇〇	一五、九五斤	二九包	二,〇〇〇.〇〇	三箱	三三箱	三三箱
煤炭	三、七五斤	三、七五斤	三、七五	三、七五	三、七五	三、七五	三、七五	三、七五	三、七五
小米	三六九、二五斗	三六九、二五斗	三六九、二五	六斗	五〇〇	三六九、二五	六斗	三六九、二五	三六九、二五
食鹽	六袋	六袋	三、〇〇〇.〇〇	二袋	三、〇〇〇.〇〇	三、〇〇〇.〇〇	二袋	六袋	六袋
煙草	六匣	六匣	一〇、〇〇〇.〇〇	二匣	三、〇〇〇.〇〇	三、〇〇〇.〇〇	二匣	六匣	六匣
膠皮鞋	五双	五双	三、〇〇〇.〇〇	五双	三、〇〇〇.〇〇	三、〇〇〇.〇〇	五双	五双	五双
黑綠豆	三三石	三三石	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
碱面	三袋	三袋	三、〇〇〇.〇〇	三袋	三、〇〇〇.〇〇	三、〇〇〇.〇〇	三袋	三袋	三袋
汽油	三〇桶	三〇桶	三、〇〇〇.〇〇	三〇桶	三、〇〇〇.〇〇	三、〇〇〇.〇〇	三〇桶	三〇桶	三〇桶
麵粉	二、六五袋	二、六五袋	二、六五	八九袋	二、六五	二、六五	八九袋	二、六五	二、六五
白糖	一、二五斤	一、二五斤	一、二五	八斤	〇	一、二五	八斤	一、二五	一、二五
文具類	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五
合計	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五	三、三六五

八、農業倉庫 (十一月份)

種目	前月末數量	本月入庫數量	本月出庫數量	本月末數量
小麥	五九、四六一斤	一九〇、〇七八斤	一九七、〇六四斤	五二、四七五斤
粟	五二八、〇二二斤	一四五、三六二斤	三八二、六五〇斤	一、一七五斤
棉花	一、一七五斤	一、一七五斤	一、一七五斤	一、一七五斤

本年度を如何に闘ひ取るか

三十年度の定縣合作社運動は單位合作社の有機的活動を促進する爲め事務擔當者並に役員の心的結束と指導に重點

を指向し聯合會と單位合作社の緊密なる連絡結合の強固なる紐帶を形成、事業を通じて賑々たる新らしき血液を循環せしめ疲弊せる農村民に活力を與へんとし左の實行目標を樹立之が達成に邁進せんとす

基礎工作期を了へ

軌道を募進せんとする

徐水縣合作社聯合會

本年度に於ける合作社運動方針
 一、單位合作社役員及事務擔當者の保護と實務指導
 一、現在の單位合作社の役員は敵匪の執拗なる壓迫に堪へず積極的な活動をなし得ざる實狀に在り是が生命財産の或る程度保障を與へざる限り献身的なる協同と努力を期待すること困難なり故に
 一、政治的保護
 一、事業を通じて接觸の機會を増す
 一、軍並に縣公署等に對する地位の附與
 一、鄉村内に於ける共同連帶責任保護
 一、必須購買物資の配給を聯合會獨占により各村莊の連絡不可缺ならしめること例へば情報の蒐集と實務の指導等
 一、事業運営に伴ふ實務取扱の指導及講習會開催、刊行物の配布
 一、農耕指導と合作社指導の併進の爲め出張指導に必要なる自衛警備力の保持
 大體以上の如くなるも治安狀況並に會工作事業運営を考慮し臨機應變特に敵匪に利用せられ或は逆効果を生ずる如きなからしむることを注意絶えず現地駐屯部隊、縣公署の指導協力を求め治安工作線上に運営の基礎を置き別項希望事項の達成に努力せんとす

精神の表現にして新民主主義的鄉村社會の建設より一家一個の完成へ向つて進むと同時に、上は系統合作社との組織を通じ國家機構と結んで國力の培養に資すると言ふのが前程として述ぶる

合作社本來の使命である。而して縣合作社聯合會は合作社運動の發火起點として設立せられたるものにして縣聯自體の自己完成を爲すと同時に上下組織の骨格を整へ更に肉と血管を附結して民衆の動化を目指して機動作用を起さねばならぬ任務を持つ。

從て本縣聯合會は過去一年の自己完成と基礎工作期を茲に過し愈々民國卅年度より第二段階たる鄉村合作社の自主化と上下系統合作社への連結機動作用の斷行を決行すべき時期を迎へた。

上級合作の組織は上層指導機關人士の手腕を待つ事とし目前に差迫る自己の任務課題として鄉村社會の自主活動を如何に誘發すべきやと言ふ事が共產主義思想潛在の現段階に於て最も痛念として考へられものなるも之は左記要領と新民會教化工作實行計劃に依る妙法とに依つて工夫實行し行く

但し此の場合糧稜の生業を脅かす事は無理困難を伴ふを以て共同販賣より寧ろ共同保管場としての物利に供する程度とし逐次倉庫本來の目的に進む。

其他製粉製棉等の利用施設を必要とせられるを以て聯合會營として縣内の需要に應へ得る程度を見越し之が施設を本年中に爲すものとす。

尙ほ聯合會の經濟的部面の一として此他に信用部を強化して縣内の浮遊資金を吸收し社員の慾求に應じ耕作資金を放貸して生産力の擴充増加を圖るものとす。

以上を經濟的部面の方針とするも尙ほ合作社本來の使命達成には農民の消費的部面を指導すると同時に生産方面の指導を併せて掌握し事業益金の公共的資金への還元妙用作用を以て生産の擴充獎勵を爲すと共に技術的指導に依り對民衆への接觸面を求め民心の把握を爲すものとす。

特に本年度は合作社運動の根本に立ち棉花改進會との統合を爲し内部的組織を強化すると同時に對民衆及討共的經濟工作の果敢なる行動を爲すものとす。

要領

一、本聯合會は道義經濟の實踐體たる本旨に基き其の組織の強化と各種事業の整備を爲し之が經營の合理化に努め常に農民の福利増進と國家の利益の増大に努む。

ロ、合作員の自主的組織體たるの意識鞏化と合作社組織の精神基盤たる要件とは村落組織に其の基本を求むべきものなるを以て聯合會の事業は地域的に事業、重點主義を以て進み實質的活力を具備する鄉村合作社の育出を圖るものとす。

ハ、合作社は道義經濟の實踐體にして且つ新民精神の具現團體なるを認識せしめると共に之が指導者

たる役職員をして常に之が奉公の誠の實踐者たらしむべく精神的、事務的、技術的訓育に不斷の努力を爲す。

ニ、政治思想經濟の建設は緊密不離の關聯を有するを以て各機關との有機的聯繫を持つて合作社は建設の先端を滑走する如く指導運行するものとす。

實施要領

本年度事業の重點は組織細胞たる鄉村合作社の組織完備と之が自主培養を専ら主眼とし之が育出の手段として事業を按配するものとす。

即ち生産力の増進配給部門の合理的經營并に農業金融の圓滑なる疎通に置くと共に之が實施に當りては各村落の特性を考慮し民衆と實情に應じ事業經營を按配し鄉村の自主化を圖りつゝ聯合會自體の健全なる發達を企圖するものとす。

組織工作 華北に於ける

郷村社會建設の上に治安と思想と言ふ大障害の横へる事は繰返し述ぶる所にして郷村をして自主性を附與する導火線としては先づ茲に自衛運動を以て集團部落の團となし協同防衛の義狭の

接なる關係を有するものなれば本年度に於ける配給部門の整備充實を以て合理的經營の成果を擧ぐる爲現行農産物交易事業の併置運用を爲し縣内物資確保の萬全を期す

利用事業 利用事業は農民の協同心の涵養の上に最も必要にして本縣の特産たる小麦、棉花の加工又有望なるを以て製棉製粉の利用施設を爲し社員の利用に供せしめるものとす

圓滑なる運用を爲し健全なる事業の進展を圖る 下級合作社の育成 保甲自衛及分會組織と共に兩立的に合作社の組織を進め特種地區にして自主可能なる村を指定して村行政及分會

と共に合作社を開辦せしめ指導員を派して特別指導を爲全般の推進として育成するものとす 編者註 詳細なる計畫書全貌は別の機會に譲つた

陰に村民か自覺の力を寄せるか如き形に導き其處に軟弱なる精神と經濟力に迫力を加へる氣持に於て合作社を組織利用せしめるを妙法と思はれるを以て保甲自衛との關係を保持組織せしむ

信用事業 農産物の増産と郷村の自主化を圖るには耕種資金は元より經濟資金の放貸を必要とせられるを以て縣内浮遊資金の獲得に努めると共に事業益金との按配に依り低利なる貸付を爲し農家私經濟の立直しに努めるとす

尙ほ物資輸送の圓滑を圖るため貨物自働車の利用を爲さしめるものとす 經費 聯合會運用經費は節減を旨とし而も最少經費を以て最大能率を擧げ農民負擔の輕減を圖るものとす

役員員の訓練 聯合會役員員は其の量を求むるより質的改善向上を圖るが急務なるを以て其の人格の向上と合作社精神を涵養するため事務並に技術等の講習會を開催し其れが精神及技能の徹底を圖ると共に人的要素を整備充實し以て合作社制度の發達に資す

準備成る!! たゞ敢闘あるのみ 河南武安縣 吾が武安縣に於ける昨年度の合作社運動はその準備だ。彼等が安心して吾々に寄りつき、出資し、利用するやうにしなければならぬ。民衆に自發的に合作社を設立するかに辛勞した。今迄永い年月の間、下積の生活をして來た彼等は既に今日物資の缺乏になやみながら未だ吾々の指示する合作社について來ない。「無知な奴等だ」と思つたことも二度三度ではなかつた。だが、一面彼等の立場にな

生産事業 聯合會に勸農部を設けし棉花小麦其他一般作物の増産、品質の改善に重點を置き生産力を擴充すると共に他面に於ては副業品生産の増進等に必要なる事業を積極的に實施す

購買事業 購買事業は販賣事業の補助工作とし生産面と消費面との間の餘剰を信用部門の調節に任せて利用し私經濟を向上させるか如き事とし殊に匪區地帯に面する物資の供給は稍もすれば敵側への流出を來し却て敵側經濟力の助長を來すに付購買事業は治案工作の協助に對する代償として供給するが如き方法を以て之か運用を爲す

事業の運営 事業の運営に就ては模範地區指導委員會及縣新民會等の指導を挨つと同時に聯合會役員會の

準備成る!! たゞ敢闘あるのみ 河南武安縣 吾が武安縣に於ける昨年度の合作社運動はその準備だ。彼等が安心して吾々に寄りつき、出資し、利用するやうにしなければならぬ。民衆に自發的に合作社を設立するかに辛勞した。今迄永い年月の間、下積の生活をして來た彼等は既に今日物資の缺乏になやみながら未だ吾々の指示する合作社について來ない。「無知な奴等だ」と思つたことも二度三度ではなかつた。だが、一面彼等の立場にな

社について來ない。「無知な奴等だ」と思つたことも二度三度ではなかつた。だが、一面彼等の立場にな

販賣事業 販賣事業は農民私經濟の向上發達は元より敵側經濟力の破壊等に密

か運用を爲す

に就ては模範地區指導委員會及縣新民會等の指導を挨つと同時に聯合會役員會の

だが、一面彼等の立場にな

社が設立を見るべく努力し

たのである。私は機會ある毎に説いてゐる。吾々に協力するのではない、民衆諸君のための合作社である、吾々はそのために援助するのだ……と。

皇軍警備隊長は吾々の意圖をよく理解し陽に陰の援助は吾々の志向に拍車をかけ、こゝにやうやく合作社設立の氣運は動きつゝあり、三十年度を期してわが武安縣にも合作社の誕生の喜びを持つことを約束し、中央其他先輩合作社の強力な御援助をお願いして一先づ二十九年度の初期工作を終つたのである。

從つて二十九年度は未だ組織工作に着手するに至らず計數其他報告事項は無い。

如何に闘ふか

前述の如くにして二十九年度は準備期で終つたために民衆に何等の福音を齎らすに至らなかつた。この三十年代こそは民衆が吾々に信頼をおいてこの年の合作社運動を期待してゐる年である。誠意を以て理想的な合作社を建設しなければならぬ。

合作社建設計畫は別の機會に發表し研討を願ふつもりであるが、差當りの資金計畫は第一次加入出資金五萬圓第二次五萬圓、第三次十萬圓計二十萬圓を目標に合作社の計畫を樹てこれを基本資金として物資の安價購入、生産物資の販路開拓、販賣斡旋等と共に農事改良に對しては専門家の意見及び要すれば講習會等を開いて合作社の最大の目的に向つて邁進する考へである。

物資購入に關しては上級機關を利用出来る最大限を利用する方針である。販路に對しても同じく上級機關を通じ販路の斡旋を受くる合作社運動の正道を行きたい方針を堅持する。併しながら當地區は山間の縣で平坦地に乏しく少量の藥材と

クルミ位のもので先づいつて今後の農事改良によつて適地適作その生産力の増大

各種事業の

積極的活動を期す

河北省廣平縣

年始早々設立せる當縣合作社は現在縣城を中心に十八ヶ所設立され、出資口數一、二〇〇、出資金二、二四〇元で現在續々と設立中であるが事業としては目下のところ單に石炭配給のみで販賣事業其他を開始する暇なく本年度中に實現せしめたく計畫は進めてゐる。かく當縣合作社運動は早々のため甚だ幼稚なれども、こゝに發足せる合作社を如何に育成するか本年度の運動の重點であるからその目標を述べれば

1. 組織の確立 設立間もなき當縣合作社は其の組織充實せず、只股金を集めたるのみにて役員の活動すら之が指導、教育或は改選により合作社本來の活動に即應する如く縦横の連絡を充分にし有機的組織たらしめんとす。當縣は民度甚だ低く經濟的には勿論智的に於ても或村の如きは識字者一名も無しと云ふ状態にして、是等は隣村と統合せしめその活動に支障なからしめんとす。尙共產黨思想に對しては教化工作の進展、保甲制の確立に併行し比較的良好的第一區及之に隣接する第四區の一部を合して五十ヶ村を以て聯合せしめんとす。

2. 生産物商品價値の向上 (販賣、生産指導) 當縣の販賣可能なる生産物は小麦を筆頭に梨、桃等の果物、蔬菜等にして現在水畑甚だ少く従つて生産量少く品質亦區々なるを以つて井戸畑の獎勵は相當効果あるものと思料される。尙梨、蔬菜の品種改良も實施、販賣事業に於ける商人に鬻弄されつゝあるを是正せんとす

3. 生活費の低減計畫 (購買事業) 現在は石炭のみ配給中なるも石油、鹽等の生活必需品及び生産資材、農藥等の購買事業の擴充を圖らんとす。

靜かに昨年度を自己批判

本年度の活動に備へて

蘇北宿遷縣の合作社

吾が宿遷縣は大運河と徐淮路の便により物産の販出、消費物資の搬入は容易にして交

通に恵まれたる縣なり されど民衆はその恵まれたる交通を利用する者少く一部

大商人に委ねある現状にして 農民は搾取に甘じありたる現状なり治安の回復に伴ひ民衆

華北合作グラフ

← 石太線娘子關附近の山の耕地
(石太線娘子關附近之山麓耕地)



寧河縣合作社聯合會交易場



同交交易場米取引
に於ける計量
(該交易場米糧)
交交易之過秤狀況



運水運つよに運ばるる
の交易場を於て荷揚
(水路運來之貨物於交易場)
上場之行情



袋口縫
(縫袋)



↑ 袋結
(袋装)



渤海道滄縣合作社聯合會交易場屋外取引(雜穀)
渤海道滄縣合作社聯合會交易場之露天交易(雜糧)





民農北華の々營々牧——る歸てみ踏を影月てで出に晨(上)
 (民農北華之日終勞動——息而入日作而出日)

影撮念記式會閉會習講作合期五第縣水徐(中)

よ右二第) 影撮念記式了修生學留會合聯合組融金鮮朝(下)
 邵・注清郭・人樹李・遠賜金・洲一奚・周景趙——り
 及長部・長々會合聯該は他——元志劉・琦佩牛・河立
 (位各師講)





(右)房山縣太行山系麓部村地區の接敵地區に於いて敵の糧道を積極的に破碎する新民交易場
 (一月新設)
 (爲積極的截斷敵方之糧道而於臨敵地區房山縣太行山麓部村新設之新民交易場)

新民會合作經理講習會終了式攝影式 261229
 眞定道管下



(左)眞定道管下合作社經理講習會終了式

津海道靜海縣合作社聯會成立大會





新民號優良農機具

製作指導——中華民國新民會勸農科
 製作工場——北京・王府農機工廠
 製作技術——日本技師設計及び監督
 機械設備——日本製優製作機設置

日本優良農機の長を採り華北農業の實
 狀及び特殊農産物を考慮し、製作に改善
 を加へたる純然たる現地製品にして絶對
 他の模倣追隨を許さざる優秀機

(上)唐

箕(風車)

五大特長



(下)包米剝粒器

三大特長

- 一、鋼鐵製拳型構造簡單永久使用に耐ゆ
 - 二、使用簡便容易にして粒子の表皮を擦傷せず
能率絶大にして形體に留意しあるため長時
間使用に疲勞を感ぜず
 - 三、廣く一般に普及の爲、價格の低廉は本器の
最も特長とする處なり
- 價格 一個に付 一圓五〇錢



- 一、最小型にて最大の能率
 - 二、選穀絶對正確
 - 三、獨特考案の圓滑なる齒車裝置
 - 四、體裁構造共に優秀にして堅牢無比
 - 五、材質精選吟味製作にて破損と危險の心配なし
- 價格 一號型 一台 北京渡し 六十五圓
- (中)製繩機
- 華北の硬質藥を最も良く良繩し得る特殊構造を有し輕快にして
 操作簡便婦女子にても容易に使用し得、一個の口金にて細、太繩自
 由に製繩し得、價格低廉にして機構堅牢故障絶無の優秀機なり
- 新民號型 一台 北京渡し 九十圓

經濟組織の必要に迫られ合作社組織を計畫したるも事變前の合作社は一部有力者の蹂躪する處となり勿論事業成績等は知る由もなき有様なれば之が實現には容易ならざるものありたり、漸く昨夏六月合作社設立籌備會の成立を見るに至り其の後之が組織擴充に努めたり。

七月縣城内に於て社員三五〇名、股金總額一萬一千餘圓を以て新民合作社の誕生を見八月一日より販賣購買事業を開始せり。

最初は民衆依然吾を信せず從來の合作社の如く同眼視し警戒心多く本來の趣旨を理解せず困難重疊たるものありたり。

吾は之が宣傳に全力を集中し城内民衆の啓蒙を計ると共に合作社自體も消費物資配給には眞に社員福利主義を以て進み逐次その存在利用價值を認めらるゝに至れり。

八月縣下全區の復活を期に區長會議に於て鄉鎮合作社設立を提案し之が審議に入るや先づ完全治安地區を縣の模範地區として指定し二十單位合作社設立の決議を見縣政府側との協力により合作社運動を

進める事となしたり。

會は模範鄉鎮の農村分會組織に並行して合作社組織工作を展開せり。

第一合作社要員の訓練に着眼し九月二十五日より十月一日まで一週間合宿訓練を實施し新民主義並に合作社の趣旨の徹底と業務及簿記の概論を訓練せり(訓練概況別紙の通り)。

訓練終了後合作社要員鄉鎮長の合同懇談會を催し組織具體案に付協議し股金一、股二圓、股金集金方法は現金を以ては募集困難なる地に於ては穀類、棉花、鷄卵、を以てなす事とし爾來工作に拍車をかけた。

組織中ばにして聯票、舊法票交換問題あり經濟統制問題あり幾多の迂餘曲折ありその間諒を重ねる事數回ならず巡回宣傳、實地指導等々之が遂行に努め漸く十二月別表の如く組織を見るに至れり、

一方縣城内既設の合作社は蘇北行政專員公署より一萬一千圓の借款をなし單位合作社にはあれども工作上聯合社と銘打つて聯合社としての活動を開始し實際事業を以て合作社の本質を宣傳せり。

當時縣外搬出物資の過多と交通車の不圓滑により貨物運賃暴騰し貨物自動車が必要に迫られ九月末貨物自動車を購入し十月一日より利用事業を開始したれば一般運賃の引下に成功し社員は合作社の趣旨理解に多大の効果を收め得たり。

次に縣棉花栽培供出委員會の設立を見るや吾は之が事業責任を負担し組織中の鄉鎮合作社股金は棉花を以て納入せしむる外棉花の集荷は總て合作社の力を以て實現せり。

又匪區經濟封鎖實施されるや合作社は之が目的達成に貢獻する處少しとせずかくして成立五ヶ月の縣城内新民合作社は第一回決算期を向ふ。

その間業務簿記の指導並に監査を實施し健全なる發展に努めたりその成績別表の如し以上二十九年度の吾が合作社運動は僅か五ヶ月にして合作社運動の萌芽に過ぎざるも民心の把握に匪區民衆に與へたる影響少なしとせず

編者註：尙本縣合作社別業務成績並に縣聯合合作社二十九年成績を掲ぐれば次の如くである。

合作社別業務成績表 (民國二十九年年度末現在)

社別	社員數	出口數	資一口數	一人最	總	事業種類	損	益	備考
縣社	六	一〇〇	三〇〇	五〇	三〇〇〇	販賣購買	金	額	
宿遷	六二	六三三	二	五	三六六	販賣購買	益	六〇〇	
古城	四七	五〇	二	五	一〇六	販賣購買			
釜山	二四	四九	二	五	八八	販賣購買			
中渡	二二	六〇	二	五	二〇〇	販賣購買			
項里	三〇	五八	二	五	一〇六	販賣購買			
白堡	三三	三三	二	五	六六	販賣購買			
耿車	四〇	六四	二	五	二六	販賣購買			
鎮河	四六	八三	二	五	一四	販賣購買			
文昌	三二	六六	二	五	一七	販賣購買			
進化	四六	八二	二	五	一六	販賣購買			
忠恕	三三	五〇	二	五	一〇〇	販賣購買			
惠政	四二	六〇	二	五	一八	販賣購買			
黃運	三六	六八	二	五	三三	販賣購買			
洋河	三二	三四	二	五	六八	販賣購買			
埠子						販賣購買			
樹人	四〇	五八	二	五	二六	販賣購買			
碭溝	三〇	三七	二	五	三六	販賣購買			
皂河	六	一〇〇	二	五	五〇〇	販賣購買			
總計	六七九	一〇〇	三三	五	二〇〇〇				

本年度の春耕資金

六百萬圓に決定

貸付要綱も決る

(一) 華北全農民待望の中に民國三十年度春耕貸款は來る三月より愈々貸付を開始することに決定された。

春耕資金貸付要綱

一、方針

去る十二月北京に於て開催された、新民會全體聯合協議會に提出されに議案の中にも「農村貸款ニ關スル件」として農村分會の強力なる支援の下に、華北農村の熱烈なる要求として現はれてゐる。かゝる農民達の切實なる要請に應へて關係當局は「全力を盡して要望に協力する」旨の回答がなれてゐたが關係各機關協力の下に萬端の準備が整ひ愈々今年度春耕資金として六百萬圓を貸出すこととなつたことは華北一億農民と共に

によるこぶものである。まづ今年度の春耕資金付要綱を揚げやう。

横範地區に於ける窮乏せる農民に對し本春既墾地耕作に必要な種子、肥料、農具、勞力、牲畜等の諸經費に充當する資金を貸付け農民の合作社的組織への結合を促進すると共に棉花、小麥、雜穀其他農産物の生産を確保す。

二、要領

(一) 貸付を取扱ふ地域は模範地區及治安良好なる縣とす

(二) 貸付は昨年度貸付の返還又は他の目的に充當するを許さす

(三) 貸付金總額は差當り六百萬圓とす

(四) 貸付資金は政府補償とし聯銀より各省公署に對し融資し未償還のものありときは期限後六個月後(民國三十一年八月末日)に於て華北政務委員會之を肩替りす

(五) 省公署は縣、市公署を通過し其の監督のもとに縣合作社聯合會、各合作社又は合作社的組織に對し(六)の方法に依り融資す但し聯合會なき場合は新民會棉產改進會の斡旋に依り融資す

(六) 省公署は(四)に依り聯銀より借入れたる資金を河北省に就ては河北省銀行又は冀東銀行、山東省

に就ては魯興銀行又は大早銀行河南省に就ては河南實業銀行、其他の省に就ては魯興分行に預入し銀各行をして代理貸付を行はしむ

(七) 貸付取扱の期間は本年三月末日迄とす

(八) 聯銀の省公署に對する融資條件は左の通りとす

1. 利率は年六分とす
2. 元利償還期限は中華民國三十一年二月末日とす

(九) 前記(六)の銀行の代理貸付の條件は左の通りとす

1. 利率は年七分とす
2. 元利償還期限は中華民國三十一年一月末日とす

(十) 縣合作社聯合會の所屬合作社又は所屬合作社的組織に對する貸付の條件は左の通りとす

1. 利率は年八分とす
2. 元利償還期限は中華民國三十一年一月十五日とす

(一一) 合作社又は合作社的組織の所屬農家に對する貸付條件は左の通りとす

1. 貸付金は本年耕作豫定地たる既墾土地一畝に付參圓以内とし一戸當り六十圓を以て限度とす
2. 利率は年九分とる
3. 元利償還期限は中華民國三十一年十二月末日とす

(一二) 政府は省、縣、市公署に對し本貸付に關し其の主旨を徹底やしめ且貸付の嚴正及回收の確實を期する爲適當なる措置を爲すものとす以上に關聯する細目手續に付てには別途之を定む

民國三十年度春耕貸款 割當に關する件

本年度春耕貸款は左記の如く各省に割當て縣宛の分配に關しては省公署に一任する事に決定せられたるに付各省總會に於ては所屬縣總會よりの申出を取纏め省公署、省特務機關と接渉相成度

係上不可能なる場合は縣聯合會に鄉村合作社毎に希望者全員を集合せしめ事業實施の機會を利用して合作社員の再教育を行ふと共に貸付金額の決定を實施する

貸付金額の決定は先に借款人の申込額鄉村合作社の査定及縣聯合會の査定を基礎とし縣聯合會職員と鄉村合作社役員と借款申込人の三者協議の上査定額に不合理なきや否や詳細に必要事項を調査したる後査定額及申込額を參酌し完決する

(四) 貸付に關する注意事項

- (1) 借款上合作社員の信用條件は一家和合し耕作に従事し隣人に對して誠實であり健康であることである故貸付開始前社員素行特に毒者、怠惰なるものに付いて充分役員より秘密に聴取調査を行ふこと
- (2) 役員側の査定が過小なる場合及其他に不審なききは理由を秘密裡に事情聴取を行ふこと
- (3) 貸付は合作社員に限り社員一件限りとし同性者に

は充分なる注意をする

(4) 役員親戚、朋友並に勢力者の査定が他の社員の場合と同様に必ず公平であること

(5) 萬一貸付中に於て不審事項又は役員親戚の囑報を發見したる場合は決然たる態度にて貸付中止を申渡し或は充分なる訓戒をなしたる上溫和なる態度にて處置すること

(6) 貸付額に對する不補の證明ありたる時は必ず充分なる理由を説明し處置すること

(7) 純地主には貸付を絕對せず但し役員たる場合は二十圓以下にて考慮すること

(8) 合作社員家族中に阿片中毒者の有無を必ず調査し其の事情により査定額の日工及年工の場合五〇%、經營農の場合七〇%以下を以て決定すること

(9) 農業經營者以外は絕對に貸付せず

(10) 査定は經營面積によるもの、囑報をなせるもの等は充分教育の上減額

貸付を行ふこと
但し減額は二〇%を越ゆることを得ず

(12) 代理人は認めず但し本人の不可抗力による場合は役員責任に於て貸付すること

(13) 借款申込なきものは貸付せず
但し役員親戚の故意による場合を除くこの場合役員に對しては充分なる教育を爲し場合によりては改任を實行す

(14) 阿片中毒者なるとき代理を出頭せしむるものあり注意すること

(五) 放款取扱事務に關する注意

(1) 社員信用調査表(社員概況調査表)、規約、信用借據の三種書類は必ず相符合すべし

1. 遺漏の場合は訂正すべし必ず三種書類を訂正すること

2. 印鑑と借款人名は一致せねばならぬ

3. 書數記入の文字は必ず楷書で書くこと略字は許さず

4. 保證人は三名。阿片中毒者、怠惰なるもの、

不正者は認めず

5. 印鑑なきものは男子左母指、女子右母指印とす

(2) 信用借據書には左記事項注意すべし

1. 貸付金額を明瞭に記入すること

2. 償還日、貸付金用途、貸付月日等を必ず記入すること

3. 實行合作社理事長及信用係並に放款責任者印を捺印すること

(3) 貸付中の注意

1. 阿片中毒者に注意すること

2. 貸付金用途を充分聴取すること

3. 代理人に注意すること

4. 現場にて不正行爲のありたるものは即時除名されるも可

入のこと

3. 放款日誌に左記事項を記入のこと

(イ) 放款の一般事情

(ロ) 役員の良否

(ハ) 實行合作社員の一般的空氣

(ニ) 其他事項

(ホ) 放款種類、放款金額、放案件數

(六) 關係機關との協力

本貸款の實施に當りては關係機關特に愛護村、棉産改進會等同一性質の農村工作を實施しつつある機關に對して之と協調出來得れば各縣合作社を通じて實施せしめる様工作するものとす

(七) 放款終了後の處置

(1) 貸款用途に關する調査

(2) 返還方法の指導

(3) 貸款用途上の相談

(4) 各縣總會より道辦事處への報告

ウナテン

カホクガツサクヲヨシニシテイルカ、イチニシイツサツシユギダゾ」はてな? 一人一殺主義てなんだらう? わからにや六十二頁を御覽

このことは非常に明確であらねばならぬ事であるが、實踐の過程に於てはやゝもすれば忘れ勝ちにされる場合がある。

で、そうあらしめない爲にはわれ／＼は常に何が故に自分は支那民衆の指導者として武装し起上つたのであるかと其の自己反省を忘れてはならぬわが合作社工作に於ても直接の目標は華北農村の民衆に置かれてゐるが、しかし、われわれの闘争相手は飽くまでも舊國民黨、共產黨であらねばならぬ。

従つて、彼等がわれわれの工作に如何なる支障を設け、抵抗を試みつつあるかについて充分なる研究を惜まず、認識を深めることが必要である。

特に此華北に在つては、抗戦の主體が共產黨である關係上、共產黨及其の軍の出方については充分なる注意を拂はなければならぬ。

一、彼等が如何なる手口

を以て民衆心理を把握しあるか。

一、わが占據地域に對する彼等の侵入を如何なる手段に因つて驅逐するか。

結局支那の民衆を中心にして共產黨との闘争であるから、民衆がわが方になびき、彼等を寄せつけなければそれで宜しいのではあるが、彼等の抗

四、實踐者の自己反省について

現地の實踐が自分だけの思ふ通りの道を勝手に歩いて行つたならば、その結果は一體何うなる事であらうか、道跡だけは残つたとしても、その道が本道からづつとかけ離れた遠くの道筋に踏込んでゐたら、もうその時になつて氣附いても始らぬ。遅いには決つてゐる。斯のやうな事を深く考へ及んで見ると、現地の實踐者を探つて、何よりも先づ第一に必要な事は自己反省である。

自己反省とは決して自己の訂正や、後退を餘儀

戦力そのものを弱めるためには、何うしても彼等の本據を突かなければ駄目である。

それがためには、彼等の唯一據城たる共產主義思想を如何に爆砕し、新しき方向に轉せしむるかその手段の研究も實際的に大いに爲されなければならぬ問題である。

なくされた場合に起り來る精神作用のことを云つてゐるのではない。

伸びんとする自己を深く内省することである。實踐の過程を正しく認めることである。「經驗の自覺」とも云ふか、そんなものを邪念なく大膽に擱むことである。

一、何がための華北に於ける合作社運動か。

一、何が故に自分はその運動に身を置くやうになつたのであるか。

一、自分の實踐的手段が最初期待した通り遂行され、亦その成果を擧

げることか出來たが。一、今日以後改められばならぬ工作上のことはそして又自分自身としては、

自己反省を爲すため、それを呼び起す問題は、われ／＼が實踐に忠であ

五、實踐者の理論闘争について

實踐者の理論闘争は、外部から運動に加へられる支障を排除する場合、實踐者相互の發展のために認識を深むる場合、この二つの行方があるやうに思ふ。

前記の場合の行方にはわれ／＼は飽くまでも勇敢に闘争の矛をくり擴げて、われ／＼の運動を擁護しなければならぬ。しかし、そのための理論闘争と雖も、決して相手方をやつ／＼反撃し、相手方を當方の所論に屈服せしむることのみが能であつてはならぬ。

飽くまでも當方の所論を相手方に理解させ、相手の誤つた觀念を是正せしむる、といふこんな行方であつて欲しい。

ればある程、又自分を識ることに努むれば努むる程、次々に提起されて來る筈だ。偽りなく、ごま化しなく、われ／＼はその問題の一つ一つを解決してし行くことが大切である。

實踐者相互の理論闘争は相互の發展が主意となされなければならぬ。

従つて相互の經驗と實殘を持寄つて、飽くまでも寛容な寮圍氣の中に、それを批判し合ひ、検討しあつて、各自の不足を補ふといふ行方であつて欲しい。

特に東洋的理論闘争の特徴は、歐米人が飽くまでも自己を主張して、他を受容れずには感情的爆發の中に袂別するといふあのあさましさといつて、人間的和合をより一歩近づけるためのものであつたといふことを、われ／＼は認めて、それからの理論闘争であらねばならぬ。

(昭和一六・一七)

朝鮮留學歸來所感

— 合作社に關する研究及報告 —

劉 志 元

はしがき

本文は私が朝鮮から歸つて來てから合作社の問題に付ての雜感であつて論文でもなければ批評でもなく、唯自分の感じついた所を、率直に忌憚なく、そして大膽に書いただけである時間及頁數の關係で、理論に付ては詳細に涉らぬ所がないとも限らないが大體に於て先づこの感想が発生した動機と、今回朝鮮に赴いた意義と、朝鮮に於ける經過報告それに朝鮮の合作社（金融組合）發展の特異性を紹介し、私箇人の感想及愚見を少し加へて見たいと思ふ。唯經驗の貧弱と、研究の不足により或は朝鮮の組

合を論ずるのに歪んだ所があるかも知れないが、讀者は筆者が朝鮮の組合と中國の合作社が發展するのを望む熱誠から書いたものだ、と諒解して欲しいのである。些少なりとも合作社の問題に付て關心を持つ諸君の參考に成る所があつたならば幸甚と思ふ。

今回の朝鮮留學の意義

我等の中華民國新民會は、新中國建設の母體であつて、政治經濟文化上に於ける唯一の民衆實踐の組織體であるのに對し、中國の合作社運動は中國の半植民地的半封建的な社會の現状を打破し新民主主義社會を建

設する使命を持つてゐる民衆運動であるから、中國の合作社運動は、必ず新民會の指導下に於て發展すべく、新民會も亦合作社を指導する當然の義務を有する。この度新民會は合作社に對する有機的な指導を強化する意圖の下に特に會務職員八名を選出し、朝鮮に派遣して合作社の理論及事務的専門教育を受けしめたのである。筆者も其の中の一人と成り得た事は、非常な光榮と感ずると同時に、また將來中國の合作社運動に我等は重大な使命を負つてゐる事を深く自覺してゐるのである。

留學の經過概況

極短期間の留學は左程大した經驗と學問も得ず、讀者に報告してもあまり參考になるまいと思ふが然し讀者にこの一篇の感想を發表する筆者の動機を明瞭ならしめる爲に簡単に今度の留學の概況を報告しよう。

今回の我等の留學は、新民會中央總會の命令に由るものであつた、一行八名で、二十九年八月月中旬新民會中央訓練處に入り、十餘日間の豫備訓練を受けて、八月末日北京より出發し、朝鮮の京城に赴いて、朝鮮金融組合聯合會附屬組合寮に入つた、そして九月の初めに授業を開始し、十二月の下旬に終了して歸國したのである。

合計して四ヶ月未滿の期間であつたが、受けた課程は、組合理論に關するものは、金融組合概論、金融組合經營論、金融組合令、金融組合登記及び、殖産契令等があり、事務に關するものは、貸付事務、貯金事務、倉庫、購買、販賣事務、爲替事務、簿記、珠算等があり、組合と關係を有するものには、民法、商法、經濟、農業、講話及其他があつた、この外講習期間内に於ては京城市内の組合を見學し、九月中に開催した全朝鮮金融組合理事協議會に出席傍聽した、尙十一月中に朝鮮忠清南道各方面の組合を一週間程見學し、十二月歸國途中に於ては、平壤の金融組合及滿洲國奉天瀋陽縣興農合作社、錦縣興農合作社等を見學した。

今度の我等の留學は、普通の學校に入つたのでもなければ、合作社教育の専門學校でもないのである、以上述べた所でも明る通り、それは朝鮮金融組合聯合會が實際に於て朝鮮金融組合の職員を養成並に訓練する所であつて我等と起居と共にし、一堂に集つて講習を受けたものは、大學或は専門學校の新卒業の金融組合

の理事候補者も居れば、長期間に亘つて金融組合に服務してゐるものも居る、従つて凡ての課程は皆金融組合聯合會の職員教育方針に依つて定められたものであつて、實際上當然我が中國合作社の要求するところとは合致しないのである。然るに朝鮮金融組合聯合會長の厚意と講師各位の熱心に依り、我等八名の留學生に對しては、所定課程の外に特別の教導を施して呉れた、この四ヶ月未満の最短期間内に於て我等は合作社の事に付ては程度は不充分なりとはいへ、少くともある程度迄を明瞭ならしめて呉れたことに付ては我等は朝鮮金融組合聯合會の先生各位に對し深く感謝する所である。

留學期間中の概況は上述の如くで、以下は私個人の合作社理論を研究する感想を述べて見たいと思ふのである。

合作社理論 研究の私見

中國の合作社に關しては、ある人は「言ふ、——「今のところ指導を擔當するのは皆日本人であるから、中國人は合作社の理論に付てはあまり研究する必要はない、唯事務をしてるればよい、日本人の云ふた通りにやれば良いから」と——、かう言つた人が如何に現在の新情勢を理解せず、その考へ方に於いて誤つてゐることは、辯駁する迄もなからうが、今度朝鮮留學の際、半島人にも、斯様な論を爲すものがある。勿論全部そうではないが、私の接觸したものの中には、少なくとも可成多數のものが居たことは實際私に重大な刺激を與へて呉れた。民族協和の理念に付ては最早幾多の先覺者より唱導せられた所であり、而も我々は現實にこの理念の實現の爲に奮闘してゐるにも

拘らず、結果としてこれを理解しないものが斯様に多い事は、實に遺憾とする所である。尙これに付ては何れ機會がある場合にまた書くことにするが、今は一應我等が皆同志の立場に在るものと見て、然らば我等は合作社の理論を研究するに當り、如何なる態度を取るべきかに付て以下に個人の感想を述べて見たいと思ふ。

世界史的一大轉換期の現在に當り、我等は第一に現在の新情勢を把握し、我が中國社會の特殊性を充分に認識して、そして過去に於ける諸合作社運動を研究し検討をしなければならぬ。と同時に我々は如何にして新民主主義的合作社を創造すべきかに付ても、其の本質を正確に把握して徒らに舊習に固執し、或は他人に盲従してはならないのである。

目下華北合作社指導の立場に在る各位は、華北合作社の本質を正確に把握し、而も抽象的な觀念を持つ理論家にも止らずして、身を以つて實踐する人が非常に多く觀られる事は我々の深く信頼する所である。然し合作社運動が一種の民衆運動であるとすれば、一部分的な上層指導者のみが、正確な理念を把握して、其の他のものは其れに盲従すればいゝやうなことはないのである。のみならず我國の合作社運動は他の外國と異つて、一の特殊性を持つてゐるので、我等現地に於て指導に従事するもの、殊に中國人自身が、この合作社理論に付て、眞摯な把握と徹底的な研究があつてこそ、始めて指導を爲す資格があるのである。

經驗貧弱と研究不足なる筆者は、敢て大膽に合作社理論を空論せず、現地に於ける工作に付ては、終始「我が實踐は即ち我が理論である」態度を持つて工作に従事してゐるのではあるが、新民主主義の下にある合作社運動は確かに中國農村を復興せしめる一民衆自救運動であることを信ずる。而も自分も指導者——斯界の公僕——の立場に在り、合作社理論に付て實際的研究をなすことなく、徹底した把握を有してゐなければ、決して「自からの渾沌たるを以て人を明白ならしむ」る態度で無闇に指導を談ずることが出來得ないのである。而も深く目下我々の周圍の情勢に鑑み我々の理論上の鬭争が失敗したならば、其他一切も失敗に歸するのである。

我々が合作社理論を研究する態度としては能知不能の空虚なる理論を追求することなく、而も「知難行易」なる盲従主義を主張することなしに、我々は明確な理論を把握して、そして徹底的に實行しなければならぬ。さればこそ我が新民主主義「知行合一」なる精神に符合するからである。

合作社の本質及其の性能に付て

誰でも知つてゐる通り、合作社は資本主義經濟の產物であり、中小産階級が互助互助の精神を以て團結した資本の侵略を防衛し或は資本に對抗する一種の組織である、然し過去に於ける諸合作社運動の活動範圍は、唯經濟的流通部門にのみ限られたのである合作社自體は一種の特別な社會組織ではなく、如何なる政治主義の國家に於ても其の存在の可能性があるのである。英、米、獨、意、蘇聯、日本、印度、中國のやうな政治主義の異なる國家に於ても、また植民地と半植民地に於ても、總て合作社が存在してゐる、然し政治主義の異なるに伴つて、合作社の發生及び其の性能も亦夫々異つて來るのは當然なことである。

我が中國の社會は、其他

の外國に比較すれば、獨り特殊性を有して居り、而も新民主主義を政治理念とした國家としては世界中の比類のないものである、従つて中國に於ける合作社も亦獨創的な合作社でなければならぬのである。然らば我が新民主主義合作社の本質と、結局其れがどんな性能を持つてゐるかに付ては速かに我等の研究並に創造を待つ所である。然し我等は新民主主義的合作社を創造する前に、新民主主義に對して徹底的な把握を有し、其他の諸合作社の本質と性能に對して明白な認識を持つた後でなければ、創造云々が言へない筈である。そうであるならば共産主義或は帝國主義に利用され乍らも、又新民主主義的合作社を創造してゐる所だと思ふのであらうから、それこそとんだ間違ひである。茲で筆者は從來の諸合作社運動の本質と、合作社の性能に付て、讀者と共同して研究検討して見たいと思ふ。

合作社の本質と其性能に對する一般學者の論説は各異する所があるが、最近日本の菊澤謙三氏の協同組合經營論の中に掲げられた數點は、比較的適切であるやうに思はれる。彼は以下のやうに合作社の本質と目的を四種類に分けてゐる

- 一、合作社は共存共榮の精神に基いて、商業利潤を節制し、或は全面的に利潤を排除するを企圖し、以て資本主義の缺陷を修正し、或は資本主義を牽制するを目的とする經濟團體である。
 - 二、合作社は共存同榮相互扶助、自主自營の精神に基礎を置いて、資本主義の重壓下より、中小産者及其他の被壓迫階級を解放し、積極的に自由と協同の社會を建設する人格的結合體である。言ひ換へれば、産業民主主義社會を建設するを企圖する人的結合團體である
 - 三、合作社は共産主義或は社會主義經濟組織を樹立し、若くは維持する相互扶助なる協同經濟團體である。
 - 四、合作社は中小産者の相互扶助なる經濟生活助成團體であるのみならず、更に進んで統制經濟下に於ける國家の統制機關と成るのである。
- 以上掲げた幾種の合作社本質觀の中、第一及第四は、現在の資本主義を肯定するを前提とするもので、合作社は單に資本主義の缺陷を補整し、或は資本主義を牽制する意義しかないのに反して、第二及第三は、其の根本指導原理に付て、相容れない所があると雖も、これは程度方法の相違に過ぎず、合作社の目的はどこまでも資本主義を改造し若くは革新する所になるのである。
- 合作社は以上の目的があるけれども、しかし植民地及半植民地にある合作社の性能と目的は大いに歪曲させられ制限され、反資本主義の支配下に隸屬し、資本主義に利用されて民衆を搾取するのである。
- 然し搾取し過ぎて、民衆が悉く破産し、購買力及労働力を失つたならば、自然に階級の闘争を起し、資本家に不利を招來するのである。そうなると資本家は慈善の假面を裝ひ、搾取したもののから一部分を取出し、合作社を利用して階級闘争を緩和せしめ、民衆が労働力及購買力を失はざるやうにと民衆を救済する。然しかう言つた合作社は始終資本主義を修正し或は改造する力を持たないのである。
- 我が中國の合作社は今後如何なる道を探つて發展すべきかは我等の研究と創造を要する所であるが、然し事變前に於ける我國の合作

社は植民地的合作社の形態を脱した事なく、現在に在りては我々の周圍に於て共產黨が積極的に共產主義の合作社を創造して居る。故に我々が合作社を指導する時に當り、これを慎重に研究検討し、共產主義或は帝國主義が中國を弱亡せしめる道具としての合作社を作らないやうにするが最も緊要なのである。

然らば我が新民主主義の合作社は、畢竟如何なる本質と性能を持つてゐるかに付て、その結論を先づ擧げるとすれば、即ち「中國民衆が新民主主義の下に於て、自働的に團結し、合作社精神を以て半植民と半封建的現狀を打破し、而して新民主主義社會を積極的に建設する經濟團體」である。而もこの合作社は新民會と不可分な關係を持つてゐる。

朝鮮の合作社と中國の合作社

私が朝鮮留學中に於て、朝鮮合作社(金融組合)の指導者各位がかう言つたことがある。「今の中國の現狀は全く今から三十五年前に於ける朝鮮の現狀と同様であつて現在中國の合作社も朝鮮と同様の指導方法を取るべきである」と然し筆者は其れに對して些か異議を持つてゐる。以下に朝鮮の合作社を紹介し、序に筆者個人の感想を多少發表したいと思ふ。

上述の如く、合作社は如何なる政治主義の國家になつても存在する可能性があるが、通常は皆一種の民衆運動となつて居る。即ち一國家或は一民族の中より、先覺者が一人出來て、その先覺者の思想が民衆の熱誠な擁護を得て、そしてその先覺者の理想を以て指導原理として發展した極めて自主及自發性を持つ民衆運動である然しこの點に於て朝鮮の合作社運動は趣を殊にし朝鮮には數多の合作社が

あるが、其の中最も勢力がある朝鮮の合作社を代表し得る而も我々の研究と批評に資し得るものは現在の朝鮮金融組合である。この朝鮮金融組合は今の滿洲國興農合作社と同様に、その發生は民衆の中より起つた一種の運動でなくて、幾種の上層勢力が頭から合作社を造つたのである。

この種官製合作社は、全然良くないとは言ひ得ないがしかし最も大きな弊害は民衆の自動的運動でないが爲に、民衆の理解と積極的な協力を望む難く、而も合作社の經營は官廳化されて合作社自體が、自主性を失ひ、本當の民意が反映し難いのである。斯様に朝鮮の合作社は、全く政府の手に依つて創設され、そして政府が直接にこれを指導監督することは、顯然として以上のやうな弊害があるのである。滿洲國の興農合作社も今の所斯様な傾向があり、興農合作社

と協和會が有機的な關係を有せず、合作社を指導する者は民衆團體でないが爲に、合作社の經營も顯然として官廳化されて居るのである。我等が朝鮮から歸國の途中、瀋陽縣及錦縣興農合作社を訪した時に於ても、彼等理事長の感想は、「協和會との間に有機的な關係を持たない故に、合作社趣旨の普及に幾多の困難を招來してゐる。尙警察官吏に訓練がないのも合作社發展上に於ける一大障礙であつて合作社が徒らに焦燥してゐる丈である。理事長が争つても經費が取得せられない場合は、合作社は何もやつて行けないのである」と。

以上から我々は中國の合作社を、朝鮮と滿洲の様に指導して行くことは絶対に不可能であつて、中國の合作社は必ず民主的合作社であり、その指導をなすものは中國唯一の民衆團體たる新民會でなければならぬことと分る。

筆者は茲に於て朝鮮の合作社金融組合の特殊性を指摘して、讀者と共に研究批判して見たいと思ふ。

朝鮮金融組合の發生とその初期

朝鮮の金融組合は現在より三十四年前(明治四十年)に於て、當時の韓國政府の日系財政顧問目賀田種太郎氏に依つて創設せられたものであり、目的は朝鮮農村の窮困なるを救済し、朝鮮農村を開發して、以て財源を確保する手段であつた。日韓合併後、金融組合の指導及監督は、一切直接朝鮮總督府に歸し設立當時は政府により東洋協會専門學校卒業生三十名を採用し、理事として任命した、そして全鮮を三十箇の大區域の組合に區劃して、理事一人當り資金一萬圓を附與したのである。尙當時の政府が各理事に要求したのは、「忠誠に國家の爲に活動すべく、

この一萬圓を以て組合を創設し得なかつたならば、また一萬圓を補足する」とであつたそうである。この點から我々は朝鮮金融組合設立當時の状況を測り知り得るのである。

設立當初、この組合の特徴は第一は、政府の計畫であつて、政府の方針に基いて創設され、目的は農村を開発して、以て財政を確立する爲の手段とした。第二は設立當初は社員の權利義務を規定したことなく、出資金もなかつたが、大正三年に至つて始めて社員の權利義務を規定した。第三は、當時組合の經費は全部政府の下附金に依るのであつた（現在もまた政府の下附金は莫大なものである）第四は、組合の理事は全部朝鮮總督がこれを任免した、（現在もまた朝鮮總督の任免に依るのである）。第五は、組合の指導監督は總て朝鮮總督に依るのであつた。第六は、組合の業務に

付ては總て官の法令に依つて規定した。第七は、組合は單なる一箇所に限り發生し、或は數ヶ所に設けられ漸次に擴大したのではなく、設立當時に於て既に全鮮を一括して區域とした。

以上の數點より、我々は、朝鮮の金融組合は民衆の自動的組織ではなく、全く、官設の行政機構である理事は民衆が選出した指導者ではなく、政府が任命した官吏である。従つて當時は唯經濟上の作用があるのみで、所謂精神的結合も、組合の自主性もなかつた事が分るのである。

朝鮮金融組合 發展の特異性

外國の合作社は皆先づ合作社運動の發生或は創立があつて、其れが數年を経過したる後、必要に迫られて、始めて法律の制定を見るのであるが、朝鮮の金融組合はそれに反して金融組合令に基いて誕生したのである。この點は滿洲國興農

合作社と全く一致してゐる。朝鮮の金融組合は政府の命令を根據として創設した官立組合である爲に、その生長及發展は總て法律及命令の嚴重なる監督及指導の下に在り、對外關係は勿論の事、合作社内部の一切に付ても、悉く官の法律或は命令に従はねばならず、合作社の組織及業務も亦政府の命令に依つてこれを改革するのである。然し政府の法律或は命令は必ずしも組合自體の要求に即應して制定したものではないのである。

朝鮮金融組合令は其の後數回の改正を経て、大正三年に漸く社員の權利及義務を規定し社員に對して政府の施政に積極的なる協力を要求した。大正七年都市金融組合を設置して、門戸開放主義を實行し、従前の社員が農民にのみ限つたが、それより商工業者の加入を許可したのである、同年更に各道金融組合聯合會を設

置した、昭和八年には各道の聯合會を合併し、全鮮的金融組合聯合會を設立した。現在は全鮮に七百二十三箇の單位金融組合があり、社員數は百九十餘萬に達してゐる。斯くの如きは朝鮮の組合組織の飛躍進展と云ふべく、又側面的に朝鮮統制機構の確立だとも言へるのである。

朝鮮の金融組合は専ら政府の手に依つて創設され、政府の父權的管理の下に現在まで發展して來たが、然し我々は單にこの點を以てその長短を批評し得ず、我々は朝鮮金融組合の實際を明瞭にする爲に、更にその指導理念とその活動状態を研究検討する要があるのである。

朝鮮金融組合 の指導理念

朝鮮の金融組合は彼等指導者が唱導した所の指導原理から謂へば「ロッヂデー」式的協同理念を採つてゐるやうであるが、然し側

面的に觀た場合のその發展形態は、所謂「ファッショ」式の合作社に極めて似かよつてゐるのである。所が所謂合作社の理論は非常に巧妙で容易に人の聽聞を動かして得るものであるが、實際としては中々理想のやうにうまく行かないのである。従つて我々は合作社を研究しやうとすれば、合作社理想の實現方法に最も留意しなればならないのである。

朝鮮組合運動の指導者山根氏（現在の朝鮮金融組合聯合會教育部長）著の金融組合概論に、金融組合指導原理に關する幾個所があり我々は先づそれを引用して研究してみたいと思ふ。

山根氏が合作社の定義に對して、彼は「合作社は直接に資本主義の影響を受ける利害關係者が相互扶助をなす經濟組織である。故に合作社は資本主義が民衆に對する經濟壓迫を防衛する一方、共產主義の人類の所有慾を無視するのに對して

る、合作社は階級の中立を高唱し、門戸開放主義に即應して居るけれども、扱て門戸の開放は開放したが資本家は全然合作社の門中に入歩を進めず、無産階級が入らうとしても又中々の困難があるのである。今後に於ける朝鮮金融組合のこの民衆の各階級を包容する主義と、そのやり方に付ては深く我々の注目すべき所ではあるが、然し現在の社員は未だ皆中小産階級のみである。

「第四に金融組合は個人經濟の改善と生活の安定を企圖するを目標とし、金融組合の活動を以て、貧富の著しき隔りに依り生ずる社會的缺陷を排除し、これは事實上よりこれを證明すべく、金融組合は已に社會政策の領域に迄踏んで來たのである。」

資本主義經濟を肯定するを前提とし、合作社は共存共榮と相互扶助の精神に基き、社員經濟生活の改善向上を企圖し、以て資本主義社會の缺陷を補ふ組織であることが明瞭になるのである。斯様な指導原理が、最妥當最完全なる合作社指導原理であるや否やに付ては我々は先づこれを論じないが、然し朝鮮の組合の發生と發表は前述した特殊性があるとすれば、指導の實際

上から見て、組合は第一義として政府の國策遂行機關であり、經營の方針と業務は、悉く政府の命令に依つて決定し、組合指導者の理論が如何に超越しても、結果としては矢張り國策遂行上の第一義となるのである。社員は國策の限定した範圍内に於て經濟上の利益を享けねばならない、勿論現在實行して居る所謂全體主義から謂へば、公益は優先すべく、而も政府の政策は公益を根據にして定めた

もので、社員は國策の許す範圍内に於て利益を享けるのは當然ではあらうが、然し事實として、政府は民衆の積極協力を求め得ないが爲に、民意が上達し能はず、政府も現地の事情を熟知することが出来なくなつて、従つて社員は國策の恩恵を受け得ないばかりか、反つて國策の爲に犠牲となる場合がないでもないのである。斯様な關係で、合作社の自主性に付てはこれを強化する必要がある、故に統制經濟下にある朝鮮金融組合の發展形態は、片方は政府の國策遂行機關であり、片方は民意の代表機關であらねばならない。言換れば政府の經濟統制政策は、大概皆金融組合に頼つてこれを實行し、金融組合も亦統制政策遂行の實情に對して、可否或は如何に修正すべきかに付て、民衆を代表して政府に陳述する必要がある、この點に付て山根氏近著「金融組合發達の

特殊性と新體制」の中にも以下の話がある、「金融組合運動の中、組合員（即ち社員）の意思は、概して總會或は總會より選任した組合長、評議員、總代がこれを表示する。組合員の希望は官選理事を通じて、そして官の方針に依りこれを綜合統一される、下意と上意は皆金融組合機構制度の中に於て一箇に融合するのである。恰も新體制下の大政翼賛會と類似して居り、上意下達下意上達の機關と同様の作用を持つのである」と、然しこれは氏としての理想と希望であつて、事實上我々は、上意下達は達したが、下意上達は困難な點があるやうに見うけられる、これに付ては後から實例を擧げて證明するが、若し以上述べた様になし得るとすれば、金融組合は朝鮮の翼賛會となり、中國に於ても合作社さへあれば新民衆が要らなくなるのであらう。

朝鮮金融組合の活動狀況

朝鮮金融組合が設立されたから、已に三十餘年の歴史を有して居り、全鮮を總てその組織網の下に包容し、京城には全鮮的金融組合聯合會があり、現在の所單位組合は已に七百二十三を有し、組合員は二百餘萬に達して居る。朝鮮に於ける最も有力なる合作社であることは前述した通りで、その主要活動部門は概ね下記の幾種に分けられる。

生産増殖と金融組合の貸付

目下朝鮮金融組合の貸付は大概特別貸付と普通貸付の二種類である、特別貸付は政府の増産計畫或は農村救済計畫に依る、貸付であつて資金は政府が供給する低利資金と聯合會の資金を仰ぐのである。普通貸付には大概長期貸付、短期貸付、有擔保貸付と無擔保貸

付等がある。然し斯る貸付の最高額は悉く金融組合令を以て制限されて居る、無擔保貸付は、都市組合が社員に貸與する最高額は千圓であり、村落組合は二百圓である、有擔保は都市に在りては三千圓であり、村落は千圓である。尙最近貸付の總額は約三億七千萬圓であり、全鮮各機關の貸付總額の一七%を占めて居るものである。現在の貸付のうち、夫々都市と村落に貸與した額と、各種資金別等に付ては確實な参考資料がないので明らかなるが、然し最近ある時の調査に依れば、對物貸付(即ち有擔保)は曾て貸付總額の六九%を占めたことがあり、對人貸付(即ち無擔保)は三一%を占めて居る。件数を以て言へば、對人貸出は七三%で對物貸出は二七%である、用途別で言へば、生産資金は六〇、九%、舊借償還及其の他の資金は三九、一%を占めて居る、資金別で言へば

特別貸付一八、二%農業資金五一、八%商工業資金一七、一%、水産業資金一、二%其の他一一、七%である。期間別なら、短期は五九%、長期は四一%である。併し村落金融組合組合員の職業分布状態は、農業は九二%、其の他は八%である。この分類から我々は組合員には農民が多く、無擔保借用は多いが貸付額の比率が低いのは、窮困な農民が借用した額が少なるを證明するのであつて、資別は生産資金が最も多い、これは農民が借りて來た最少額の金を全部生産上に用ひたことを證明するのである。短期の貸付が多いのは、農民が使用する資金は皆長期であり、商工業者は皆短期であり、商工業者の使用する資金は皆短期であるからである。

以上から金融組合の貸付は、中産以上及商工業者に貸與したのが多く、窮困な農民に貸與したのが少いことが分る。而も農民の借金は全部生産上に用ひたのであるが、其の他の貸付は必ずしも生産上(専ら農業生産を謂ふ)に用ひたのではないのである、地方金融が都市に流込んで農村を貧乏にするやうなことがないやうにとは言ふが、然し金融組合のこの種の金融還元作用はどうしても際限のあるものである。そして信用程度に依つて貸付をなすとは言ふが事實上窮困な農民であればある程、その信用程度が小となり、従つて借用する金額も少いのである。金融組合が謂ふ所の生産増殖も生産とは直接な關係を生じないし、所謂金融組合の指導金融も間接にこれを指導監督し、農民の借金を有効に生産上に使用せしめるのである。然し最近生産統制の強化に依り、金融組合は直接に生産を指導機關の指導し得なくなり、全く生産指導機關の指導を俟たねばならないやうになつた。それに村落組合の生産指導力も些か減退したし、都市組合の經營も我々の見た所では少しく銀行化したやうである。

民間購買力の抑制

と金融組合の貯金

通貨の膨脹を防止する爲に、合作社の組織を利用し、民間の資金を吸収し、以てその購買力を抑制することは最も有効な方法の一つであることは誰も知得る所である。然しこの資金は遊資であり、購買力は生活必需品以上の購買力でなければならぬ。この遊資と生活必需品以上の購買力は言ふまでもなく都市と富者の中に多いのであつて、而もこれらの貯金は夫々多額を占めてゐるに相違ないのである。話に據れば朝鮮金融組合最近の貯金總額は三億三千萬圓に達し、全鮮貯蓄機關總数の一三%を占めて居る、この數字の中に何種貯金の額は幾何であるかに付ては確實な参考資料がない爲に測り知れないが、然しこれらは皆農民の零細貯金であることは想像に難くないのである、目下朝鮮金融組合は天引貯金と「節米貯金等」註天引貯金は強ひて頭から引く貯金であつて、假に社員が米一斗を賣つて一圓を得るとすれば、合作社はこれに對して九十錢を支給し、他の十錢を貯金せしめる。ことである筆者が朝鮮に居つた時に會て某金融組合の理事に「この天引貯金は一般の組合員に皆な理解され得るかどうか」と訊いたに對し彼の返事は「これは國策であるから、今のところ理解しなくても貯金させねばならぬ、そして段々理解して來るだらう」と云ふことであつた。

この話に據つて我々は朝鮮金融組合の國策遂行状況を想像し得るのである、更に我々が忘れてはならぬことは、朝鮮の銀行勢力であつて、朝鮮金融組合令の規定した所では、一組合員に

對する貸付は、法定最高額を超過した時は、金融組合はこれを貸すことを得ず、但し銀行に紹介するを妨げないとのことであるから、金融組合の多額貸付は、皆銀行に頼らねばならないのである、貯金に付ても之と同様であつて、法令上こそは貯金の最高額を制限してゐないが、然し實際として銀行の貯金利息は概して金融組合のそれより高いので多額の貯金は自然銀行の方に流込み、而も民衆はこの「天引貯金」を餘り理解してゐないのである。昭和十年全鮮金融組合理事會議で、政府に對して金融組合と競争性のある法人團體を設立しないこと、貸付最高額の擴充を要求したが、昭和十五年の理事會議の時に至つても未だ完全に政府の許可を得なかつたのである。

以上述べた所で我々は、朝鮮金融組合の國策遂行と上意下達上達の状態を臆測することが出来るであらう。

物資集貨配給の合理化と金融組合の購販事業

朝鮮金融組合は單營主義を採つてゐる爲に、購販及販賣事業に付ては組合が直接これをなすのではなく、所屬下の殖産契（中國の實行合作社と同様）の購販販賣事業に對して斡旋をなすのである。聞くところによれば最近一箇年間斡旋の總額は、共同購入二千二百萬圓、共同販賣三千百萬圓であるが、これは全鮮に悉く金融組合の殖産契があり、實際上朝鮮の購販販賣事業に付て、金融組合がこれを操縦する力があるからである。然し朝鮮には産業組合及農會のやうな農村産業團體があつて、業務上では往往金融組合と摩擦を生ずるさうであつて、農村指導上に幾多の支障を來たしてゐるのである。元來統制經濟下に於ける物資集貨の配給は、非營利團體に頼るのは最も合理的ではあるが、然

し朝鮮金融組合はそれを整備した機構を有してゐるにも拘らず、購販販賣事業に付て全面的な圓滑を期し得ず、而も各種機關に割據されて抗争する力がないのは、政治力のない合作社の弱點である、目下新體制の樹立に伴つて、農村三團體（金融組合、産業組合、農會）の機構調整問題が生じ、將來その成行に付て深く我々の注目する所である。

合作社精神の普及と金融組合の教育事業

如何なる合作社に於ても、職員と社員との教育は絶対に必要である、職員は絶對に必要である、職員の教育は合作社指導者の人格及技術を養成するものであつて、社員に對する教育は、社員に合作社の趣旨を徹底せしめ、積極的且自動的に協力せしめるものである、朝鮮金融組合は組合員の教育に對し、目下は非常に熱心な努力を拂つて居り、朝鮮に於ける精神運動即ち所謂國民精神總動員と國民總力聯盟等に付ても、金融組合の教育が非常に有力である、組合精神の普及方面に對しては例ひ優良組合及優良組合員の表彰、或は聯合會内に普及科を設けて、宣傳講演の施行、映畫の上映、パンフレットの配布等は完備を極めてゐる。尙部落懇談會、殖産契主事講習會、婦女講習會等の開催の如き諸般の普及事業は、共に我々の感心する所である、残念なことには筆者は暇がなかつたので鄉村組合員に對する宣傳教育の實際狀況を參觀しなかつたし、朝鮮語が分らない爲に老農達と直接話することが出来なかつたことは實に遺憾と感ずる所である。

概ね新採用者の教育と在勤者の教育に分けられる。新採用者の教育は大學、專門學校或は中等學校の新卒業生に短期教育を施して、そして理事若くは職員に任命するのである。在勤者の教育は在勤中の職員に再教育を施すのである。この教育事業は全く朝鮮金融組合聯合會の教育部がこれを擔當するのである。毎年約二千名内外の者が教育を受け、目下金融組合の八千餘名の職員の中は、大部分が皆この教育を受けたさうである。筆者は今回の留學で親しくこの教育を受けた一員であり、その講師に人を得たのと、教育内容の充實或は教育設備の完全等は實に我々の想像以上で感心に堪へないのである。然し些か不足と感ずるのは、教育期間がわりに短いのと、而も稍技術教育に偏する傾向とである。精神教育は少し徹底してゐないやうであり、教授の方式も亦先生が

教へれば生徒が聞くやうな生徒の自動的な研究を積極的に要求しないものである。この點に付ては我が新民會の中央訓練所と恰も同様な缺點をもつてゐる、然しこれに關する感想は後程また發表することにす。先づ朝鮮金融組合職員

の精神を考察して見たいと思ふ。

朝鮮金融組合の職員は待遇の問題で退職した者が頗る多く、京畿道の中、昭和十四年度の退職者は已に全道職員總數の三〇%を占め、而も退職者の中に銀行及會社に轉入したものは四七%、其他生活困難により他の途に付くものは二五%を占めてゐるそうである、待遇不良で退職することは、全くその罪を精神教育の不徹底に歸することは出来な

いが、然し全體の職員が若し全部合作社運動に熱誠と信念を抱く同志の結合であつたならば、命を犠牲にしても惜しくはないのに、果

して待遇不良の爲に他所へ轉出することが出来るであらうか。結局我々は金融組合の職員達が奮闘の精神に缺けてゐると言はねばならないのである。

茲に於て我々が反省すべきことは、即ち我が新民會の職員の中にも全然かう言つたやうな状態がないとも限らないことである、これに對して或る人が溜息を吐き乍ら「新民會の待遇が低過ぎて人材を留めることが出来ないから人材が悉く新民會から出て行つた」と言つた。

結 論

然し新民會は新中國を再建する同志の結合體であつて新民會の職員は皆同一思想と堅實信念を抱く同志であらねばならない、而も今後新民會の前途に付ては、我々は必ず多事多難であると思ふ、我が新民會の大理想を達成する爲には、我々同志等の最高度の奮闘と犠牲を要求する、言換へれば、我々は新中國再建の爲なら、粉骨碎身死して後已むのでなければならぬのである。斯る享樂的人生觀の退歩思想を抱く人材、或は功利主義の官僚式の人材は我が新民會の中より追出さねばならない、彼等を養つて何の用があらう、同志達よ努力奮闘しやう。現在新民會が如何に我々を待遇して呉れるかの問題ではなく、我々は如何にして新民會を創造して行くかの問題である。

綜括して言へば、朝鮮金融組合は設立と發展の特殊状態に依り、一種の官設合作社運動と謂はねばならぬ。この種合作社の特殊は、政府の國策遂行機關と成つて、官の計劃及方針が共に容易に遂行されることである。短所は、合作社運動の自發性と民主性が大いに喪失されることである。社員は合作社精神を理解し難く而も職員は容易に官僚化される、勿論目下は統制經濟ではあるが、然し政府は統制政策を圓滑に推行せんとすれば、どうしても民衆の徹底的理解と積極且自動的な協力を求めねばならぬ、言換へれば、即ち合作社職員は皆自發的に生産報國或は公益優先の理想を實踐すべく、政府もまた民衆經濟の實情を明瞭にして民衆の福利を謀らねばならぬのである。故に統制經濟下に於ける合作社は、政府の國策遂行に寄與すると同時に、政府の諸機關及民意の代表機關たるの役割を負荷せられるのである。従つて斯る合作社運動は絶対的な自主性が國家目的に據つて制約され、それ自體内部の自主性は之等の任務遂行のため益々強化されねばならないのである。朝鮮金融組合は發生の性質が特殊であり而も直接政府の強力な監督を受けることに依り、國家機關たる性質が非常に強く、民衆運動たる性質が極めて弱いのであつて、即ち、官の法律及命令が合作社を創設し、官たる父權管理の下に於て、合作社を成長せしめたのである。合作社は被動と依頼のみがあつて、現在では政府の父權が些か合作社の自主自動の障礙物に成つて來たやうである。斯様に於て現在朝鮮金融組合の指導者が依然として政治の中立を唱へるの

は、人に益々朝鮮の金融組合は始終被動と他主の段階に止められ、自動自主の民衆運動たるを許されないことを覚えさせるのである。斯様な従はしむべくも、知らしむべからずと言つたやうなやり方では官僚の獨裁化と、職員の官僚化を醸すのみで、民衆指導者の氣分と熱誠がないのは當然であらう。

然し朝鮮金融組合が朝鮮民衆經濟改善に對する功績は筆者がこれ稱讚する迄もなく、已に一般に認められてゐるであらう。資本主義

の最も盛んな時代から朝鮮の民衆を保護して、破産しないばかりか返つて顯著な向上を示してゐる、朝鮮農村の振興と民衆の向上に對しても金融組合は莫大な功績があるのである。昭和十四年に於ける朝鮮の大旱害は、六十幾年前の大旱害よりも更にひどいが、然し前の旱害で餓死者は三萬餘人あつたが、今回の旱害では一人も餓死したものがなかつたのである、従つて我々は朝鮮民衆向上の程度が想像されるのである。

朝鮮金融組合は名を金融組合と稱してゐるが、その活動部門は單に金融にのみ限られてゐないのである。然し政治性と進取性に缺けてゐるので、現在も尙生産及び購販等事業に付て金融組合の力でそれを合理的に迄なし得ず、金融部門も矢張り弱者の地位を脱してゐないことは遺憾とするところである。

朝鮮金融組合は目下新體

制の下に驅り立てられ、過去の諸般に嚴重な検討を加へ、新指導理念下に再出發する必要があるにも拘らず、強ひて現在の總てが皆新體制に合致してゐる云々は、實におぼつかない語である。率直的に言へば、新體制は未だ世界の中で何處にもないにも拘らず、強ひて朝鮮金融組合の現在に即ち新體制である云々は、新體制そのものがこれを聞くに泣き出すであらう。所謂本當の新體制は、今後我等同志達の偉大な奮鬥と創造を経て始めて出現するものである。故に朝鮮金融組合の指導者各位は過去の歴史に拘泥することなく、努力して創造されんことを望むのである。

三〇、一二三那台に於て

一人一殺!?

一人一殺なんてぶつさうなもんでない。華北合作一人一冊主義のこゝとむよ。

日文欄編輯後の記

□印刷所との連絡不圓滑、編輯陣容に於ける手不足等々の原因によつて創刊早一月號はおくれ、今又二、三月を合併にするの止むを得なかつた。

□それよりも決定的な惱みは現地諸君の投稿、報告などの至つて少いことだ。前號でも云つた通り華北合作はみんなのものであつて決して中央の一方的な官報的存在ではない。みんなの「盛り立てる氣持」がなかつたらむしろ骨を折つて苦しむより止めたがよい。

□苦言さておきもつと／＼原稿なり、報告などガンバツて送つて貰ひたい。とこん／＼とおたのみする。

□本號いさゝか調子抜けの感で編輯子一番好まぬ體裁になつて終つたが、外部の方々の原稿が四篇もいたゞけたことは異彩だ。

□ともあれ華北合作社運動に於ける系統

機構の整備確立は何といつても急を要する事項だ。本號はそれへの準備とされた。その大綱の未だ發表されないのがいささか残念だが。

□本年度の春耕資金は昨年より百萬圓を増額六百萬圓を放出された。過去幾多批判非難されたことを又繰返されざるやう。

□敵性に對して物資が盛んに流出してゐるやうな噂を聞くが、單なる噂であつて欲しい。若し萬一合作社物資が數字上昇のための風賣から、たとひ無意識にしろ敵側に流出してゐるとすれば嚴重に警戒すべきである。

□緻密な配給計畫は絶対條件だ。

□敵性諸組織の動靜に關する報告は細大洩さず編輯室へ!!

□毎號課題呈出を約束した華北合作募集原稿は都合により本號一回だけ休むことにした。

華北合作

華文欄

卷頭語

合作戰線的參謀本部之合作社中央機關、獻身於全華北合作社系統組織之整頓、而目下已踏入建設其一切準備之階段、這是我們立於合作戰線上的戰士們、深可引為慶幸的一件事。

然而我們却不能以為全國的系統組織有了整頓、以至於設立中央機關之後、華北合作運動便能無條件的全面進展、質言之、即是無論其外形如何整備、而實際毫無靈魂的合作社、已經不是華北一億農民所企望的合作社、至於其僅限於數字的形態、而毫不重視其組織之農民團體的合作社、即是隨指導者之所欲、而成爲指導者個人的形式的合作社等、更是不值我們一顧的。

是以整頓華北合作社之系統機構、與設立強有力之中央機關、以及獲得或養成優秀之指導者等事、自爲當前之要務、然而如果僅務其一端、置其靈魂與本質之進展等於不顧之非常辦法、是事實所不許的。

華北的合作社自是華北一億農民的合作社、是以謀農民經濟生活與社會生活之向上爲宗旨的、所以無論如何完備之系統機關、如果漠視上述各點、當然要發生「顧此失彼、不中其肯」之流弊的、同時合作社更需要善於指導民衆之經濟生活與訓練之優良指導者。

當華北合作運動向着一條新的途境進展之際、正是合作指導者應該精誠誓志、奮勇向前的絕好時期。

華文版

目次

- 趨於戰團組織運動的方向轉
換……………寺神戶茂
- 合作運動與其他社會運動間
的差異……………屈 靈
- 合作精神實踐的重點……………
- ……………奚一洲
- 留學朝鮮歸來所感……………
- ……………劉志元
- 養雞淺說……………劉俊明
- 譚馬……………焦定遠

趨於戰團組織運動的方向轉換

——再談華北合作問題——

寺神戶 茂

「前言」

在某一個會議席上關於合作社的機構統一的問題在一種政治的複雜狀態下所議論時、曾經交換過種種的意見。

一個門外漢的我也列席交談、當時由M氏（華北農村問題界的權威者）提出二三箇關於合作運動的根本問題。

那幾個問題是值得傾聽而且需要深思的、雖然筆者當時曾經發表過粗雜的己見、但是草作這一篇文章聊述一再的玩味和探討的經過。

(一)

第一箇問題是提起、究竟合作運動、能否抵抗共產主義運動？的一個疑問、他的內容約略如下。

「在過去、即是事變前的華北合作社運動、因以買辦資本或當地資本的勢力爲中心而發展的結果、以致金融事業成爲他的重點、經過組織的高利貸更向農村強行進出榨

取、所以不僅未能成爲一個農村經濟向上的安定組織、反而使農村疲弊、阻止向貧農階級裡去的金融、更破壞了農村具有優良特性的互相扶助性格。

不但如此、而現在合作社的金融、如春耕貸款等、仍然被保持着舊有的勢力關係的土豪劣紳所吸收、而流於與合作社所企圖着的生產手段向上正相反的途境上。

假如已經走向那種途境上時、合作社當然要成爲一個、以農民生活的安定爲第一要件、而擴充其生產力、爲實際上則使土豪劣紳的高利貸勢力更行強化、令其更行恣意榨取的一個重要原因了。

這種合作社的意義、當然要招來別種的形相和結果、非但毫無抵抗共產主義運動的組織力、反而具有給他作溫床的危險性。

即是使中小農階級成爲榨取對象的運動、恰好成爲共產主義的對

象。

這種合作社變態的方向和實際的狀態、能否造成使華北農民向新秩序建設的途境上活動的體勢、和能否成爲所謂與共產主義運動相抗衡的組織、是抱着重大疑問的。

這正是啓示着決定華北合作社運動本質的一個根本問題、也可以說這種問題的着想、將以往的曖昧不明之點加以一個明確的探討。

合作社的本質、無論政治的觀念如何、都有他存在的可能、即是純粹根據農民自主的意思、所造成的農業經濟的聯合組織的存在、但是同時又含有一種根據時代及國家的政治性作用所受的強力支配、而爲之所限制的性質。

合作社運動無論在任何政治觀念等情形之下、都有發展的可能、同時在各國都具有各種不同的性格、此種事實是可以由上面所述兩種性質來證實。

在華北以往的政治觀念、具有何種觀念與內容、雖然不可探討其究竟、而然在華北發生及發展的合作社、爲其政治觀念所支配和把握的事實、確爲造成其本質的一個最大要素、無論其組織是否爲一個自主聯合的意思所構成、也都是如此的。

並且這種重要原因、在合作社組織章程等上、亦有明確的記載、如無二十五畝以上之土地所有者、及非耕種者均認爲無入社資格、這種組織的性格、顯然是以中農階級以上的農業經濟向上發展爲目的。

即是合作社在金融事業中、以買辦資本或當地資本爲最好的榨取對象、爲保持農村的支配權起見、將他們的政治觀念實際的滲入經濟組織之中的一個證明。

尤其是合作社以及其他以經濟行爲爲目的所組織的團體等、不能較其他社會團體所受當時政治觀念的

反映更深、同時更不能爲這種政治的勢力所浸潤。

「經濟決定政治」也就是生產關係造成社會的機構而引導政治之方向的觀念、爲近代之所謂「政治支配經濟」的新經濟觀所改革、而此種傾向如以一個更爲明確的形像加以活動時、當然合作社的性格也要以政治性爲轉移了。

由此觀之、華北合作社的性格、當然也是根據政治觀念、而施行政治勢力的指導的。

然而今後華北合作社的性格與方向、因爲政治觀念的相差、無疑的要成爲一種和他正相反的東西。由於局部的金融家與政治家之結合、所造成的性格的以往形態、更應以新中國建設的理念來澈底改革。

否則、是難期新興合作社的成立與發展的。

質言之就是、新興合作社所應有的性質、應該是以構成華北農村社會的歷史、社會及生產等諸條件爲根本基礎、而且對於他更要能引起強力的政治指導力來的。

歷史的條件、即是、將華北農村加以時間的限制的一種並無統一中而發展的非國家、非民族的傳統

之謂。社會的條件、就是由於受亞細亞的停滯性之限制、所發展之自治性而生的小範圍之對於鄉土的偏愛性、以及特殊之家庭制度等。生產的條件是指零碎農常受水旱災等自然力之支配、呈一種無機械力的原始生產形式等而言。

如果將以上各條件加以科學的眼光來觀察、當然設立合作社之組織、以及具體的樹立實際之經營方針等爲當前之急務、然而目下似已有二三人以摯誠的態度在研究着、這是堪可滿足我們的期待的。

然而、對於華北合作運動的政治力、應從何處着手發見的問題、由現下華北的客觀、或主觀的情勢觀之、只有仰仗着「新民會」的一途、而且他已經成爲久已不可否認的事實。

於是我們不僅能明瞭合作社之性格與指導性、並認爲此種方法才是打破從前的傾向之唯一工具、而且根據這種理念、在新中國的農業經濟之聯合組織上、始能創出一種新的型勢與運動來。

如此我們已經發現了真實與正確的運動的端倪。然而在上述的理想之中、究竟有無能與共產黨相抗衡的要素存在、是需待加以探討的。

(二)

合作運動、固然是以其自身之目的而成立、然而政治之指導、能使這種合作的經濟團體向華北之最高目標進展、而此種政治力假設應由新民會來負擔時、合作社的內在性格、當然要受新民會具有之性格、及其當面之目標所限制是無疑的了。

而新民會之政治的性格及其當面之目標、其內容如何、略言之、即是、新民會爲中國之一隅的華北建設即表現王道、而具有根據新民精神之民衆全體組織團體的政治性、而以與中國共產黨絕對爭衡爲當面之目標。

新民會現在有無擔當此種使命與目標之實體及實力、姑當別論、對於既經附與的重大要求、勿論能否處理、均應以竭誠態度、用所有的方法、努力和總意來謀其猛進、而期完成建設者的良心責任。

是以根據新民會之性格、合作社當然亦應將其政治理念表現於農村經濟建設上之使命、分擔處理、反之、對於不企圖這種使命的合作社、當然可以說在華北建設的部分上是不能存在的。而歷來合作社運動的理論與實踐

之過程、是置之於一種事實傾向所指示之純正論調上、認爲以平和客觀的情勢爲對象之運動形態、漸爲其主要內容了。

所以前緣地帶一般指導者的觀念、是一種「在治安不良的區域內、合作運動焉能發展？」的懷疑思想、而合作社組織較爲發展的地區、更有將臨敵地帶除外、祇就治安良好各地加以簡易的努力之傾向。

於是對於他的批評、獲得一個「合作運動對於確立治安上是毫無效果的」的結論、而努力合作工作者之中更有作不以治安爲第一條件之背謬思想的。

此種消極觀念我們應該即刻打消。

在「新民運動」一月號中、關於此點曾經有過新方向的暗示、初步朴素的合作運動、能與由於和離方接觸地點之各種活動情形而生之農民本能的欲望相結合並進、則可結成一個能與梗塞於前的共產黨相鬭爭之形勢、更可進而成爲使內部治安之組織與運動正當發展的壁壘和推進力。

然而華北合作社雖有如此的目標、如不傾注其全力則仍然毫無華

北合作社的意義存在、同時新民會之政治的使命進展可能性也要喪失殆盡的。

關於這種組織運動究竟應該如何去獲得、是有研究的必要的。然而這種組織、必須由與敵方勢力不斷爭鬥中之政治、經濟、思想及武力的諸種勢力中獲得、是以欲使其完成是頗感困難的、不過如果能獲得勝利、當然可以逞霸於華北無疑了。

這種方向轉換之端倪、是由新民運動一月號之小論文「良民倉庫」之強化經濟封鎖工作中所發現的、然而並非真正的合作運動形態、而且對其所應舉之趨於組織的基本動向、已經指摘過了。

合作社按其本質、固應以各種制約經營成立、然而雖在治安圈內具有純粹之形態、如其周圍均為臨敵地區時、當然其組織及經營之確保與發展、是要以圍繞於其四周之情勢如何來決定。

由是我們可以確信、臨敵地區的合作運動之發端、應按各地之情勢而以各種不同的創造方法、去獲得與進展的。

這一點、關於在敵方之合作社現況、也是需要考慮的考一個重要問

題。

因為缺乏充分的材料之故、所以不能對於此點加以詳細的記述、然而中國共產黨勢力範圍內各處均設有合作社之組織、更有邊區貿易局等機關、為確保抗戰之培養及兵站基地起見、實行各種農業政策、利用此種組織、努力收買農產物等事實、已經是人所共知了。

即由當地糧棧等之勢力設立此種貿易局、根據中共或八路軍之計畫方針、在合作社中活躍、以擴充及確保其抗戰力、關於這一點、有兩個頗堪注目的特徵、其一即是合作社並不僅限於受合作社本來目的與性格之限制、而是置之於強力的政治力、即是中共之指導與統制之下的、其二即是具有武裝的背景。(即八路军及鄉村自衛團)

(三)

對於我們身旁的合作運動、需要新民會強力指導之原因、已如前述、致於武裝問題又應如何處理、也是需要加以檢討的。

趨於戰鬥組織的發展方向之轉換、而對於臨敵地區之合作運動成爲必然之問題的即是、如何防止壓制敵方之武力攻勢與攪亂、更如何加以積極的掃蕩。

目下華北已由日軍絕大之努力、維持其治安、無論何人如何誇耀與吶喊、而實際對於敵方之有組織有戰術的戰鬥力、除却日軍以外並無敢於應戰的組織、這是不可否認的事實。

然而我們的任務與目的上、對於這種重大的負擔、犧牲及努力等完全有賴於日軍、所以是不容苟安與逃避的。

如欲抵抗敵方之攪亂及潛行的遊擊戰術、而與之充分作戰當然絕對需要武力。

而首先需要考慮的即是、縣警備隊之整頓及武裝自衛組織的問題。固然於臨敵地區內有自衛團之武裝組織、爲事實所不許然而在其後方地帶、即是已經滲入政治力、而有合作社組織與新民會工作之進展的地區、於可能範圍內必須計畫實行自衛組織的武裝化。

這是從來華北農民、爲維持防衛生命、財產與鄉村的和平起見、所組織之本能的欲望的表現、並非一種新的組織、是以農民至今仍然隱匿着武器、敢然用於生命的最後防衛、而敵方抗戰力之半數亦是有賴於此的。

對於這種組織、我們須要堅持着

絕對的指導力的、然而在新民會現地工作之經驗中、也常有着成功的實例。

縣警備隊之整頓、即是以理解新民運動之青訓出身者爲中心所構成、更加以武裝整頓的。

此種組織能積極完成治安工作的確立、然其指導方法如何爲今後的要課。

再有與以上二問題於關聯、新民會應編成武裝工作隊與從事抵抗敵方政治經濟的攪亂工作、爲當今的要務。

關於此種問題、應以考究現地的實際體驗爲基礎、於此得難評述、然對此尚有充分考究的必要。

如此現今合作社的組織、究應對於農民的渴望、如因敵方的收奪農產物而引起憎惡的情感、與死鬥的鬥爭等農民的反感、與以指導使農民們渡過難關爲必要、再關於組織武力工作隊、不僅確保本身組織及發展、更應進一步組織強力武裝、突確破敵方組織的原動力。

如此逐漸、由點而線、由線而面、然行發展、以收獲莫大的效果。

再合作社的目標僅在組織而已、理解合作社的真使命時、更應粉碎

現今共產黨利用農民，煽以抗日思想，更計畫建設蘇俄地區的工作等爲重要課題，而使華北明朗化人民得以安居樂業。

然而令人引爲遺憾的即是，歷來合作運動的指導與實際，未能根據上述各點，由其自身中發現和決定。

固然此種運動非僅由合作社自身即可完成其使命，進而由新民會工作方面，亦應對此種重要性有正確的理解，然而歷來對於這方面進展的理想，努力，是素付缺爲而不能不引咎自責的。

然客歲新民會在十二月一次全體聯合協議會上，將此種工作定爲與中國共產黨相抗衡的對策，這可以說是給與合作社運動上一進行的方向。

(四)

第二箇問題就是華北合作社，目下華北農村的實際情形，看來能否滿足，確立共同國防體勢的要求。

「華北合作社目標就是本着日華唇齒關係，共同國防體勢的鞏固，而動員國民經濟的農產部門爲原則，究竟能否成功還有檢討的餘地。」

更按貿易統計數觀察，煤、鐵、

棉花、羊毛、皮革、鹽、落花生、油

等主要产品所占的數量，由擔當確立國防經濟的觀點上看來，實與所期相去太遠，單就棉花一項言之，

共貿易總額僅達二五二〇萬元左右，不過占輸出總額二億元八分之一而已，而除却棉花、鹽、煤等特殊資源之外，在華北農產資源中，零碎之農戶副業生產物之集合多數。

再將農家經濟生活的總收入以數字來解剖時，百分之五〇是仰給農產物的收入，所餘百分之五〇有賴於副業，及給人傭工的攻入的。由此看來不難窺見華北農業生產力貧弱的一般。對這種現象確有把握之必要。有時更因非人力所能抵抗的條件的不良爲水旱之災，及匪患等，也是足使農產物時時銳減的一種要因，綜合上述數點看來，振興華北農村與安定民生，設法謀農產物的增加，實爲當前的要務。

華北農村久未脫離原始狀態，距世界水準遠不相若的就是，因爲農村經濟的疲弊，雖曾有資金的流通，農村，資以救濟，終因資金條件之不足，土豪劣紳的作祟，實未收有補救於萬一的效果，所以農村仍然疲弊如故。然而合作社唯一的使命，是在挽救農村的疲弊，恢復農村的

繁榮，與安定農民的生活的。

欲謀農業生產力之提高，固應由農民自身之力以維持其發展，然而考慮各地的生產物，加以助長改良的方法，及農村資金合理的融通等，亦可收事半功倍的效果。上述的意見是根據華北農村的現況而略有切實性的。

我們正確的判斷農村經濟狀況，究屬能否向理想要求之國防經濟使命去實地進展，而且能否根據此種數字，來武斷農村經濟的內容，尙有檢討的餘地。

就日本農村經濟來說，以其生產方面統計數字的表面上看來，恐在中等階級以下的農家均將入不付出，呈經濟破產的現象。今就牠的農村經濟歷史性來考察像這樣農村經濟的入不付出的過程，理應破產，不續維持，然仍能排除各種難關，能繼續生產的，不是說僅由農村經濟統計而不能判定農村真象的一個左證麼？

當然不合乎統計數字的農村經濟也是不可或免的矛盾現象，總應藉政治經濟的運用來彌補調節，恢復更生是必要的。且今急待解決的問題就是，應充分發揮這種政治經濟運用的本能，

促進華北農村的發展，是爲對於現今華北農村的一個共通性的方案。

再對於華北農村農產物登市量的過少，理由，也恐怕是因爲統計上的遺誤，而認爲生產物的過少，不能把握農村的真象。

再現在農村生產物按各種情形說來，日呈遞減的傾向，尤其是棉花更呈銳減，然而詳加考察，棉花生產物登市量之銳減，主要因爲收買、貿易，或價格等的不當及敵對勢（中、共）等的跳樑等，以致影響棉花之生產。

在此不便詳述收買手續的不當，及價格的不合理等，然而主要的問題恐是於生理物的地方流出，或避免耕種商品的農產物的不容或疑的事實上。

所以對於農民雖然要求其獻身國防經濟，然而如距經濟水準相差太遠時也是難於苛要求的。

況且素無國家觀念奮力掙扎蠅頭小利嗷嗷待哺的生活中，對於政治經濟上之犧牲要求，幾乎成爲一種敢怒而不敢言的心境。

如果僅對農民苛求其貢獻國防確立的要求，而不考慮對農民生產的方策，是難收圓滿的效果的。

今日的問題就國家不加反省文化

低陋，且久受榨取階級所剝奪的華北農民，對於近代新國家之要求（中日提携）如何使他們了解國家的經濟政策，是當前的必要方案。

且爲我們對的農民層非僅應當要求他們對於國防經濟的貢獻，此外更應對他們貧困農民狀況助長堅固的組織的必要，這樣特殊性宜加以確的考察，就是爲過於苛求農民充分對國家經濟的貢獻，而他面不免農民自身有崩潰的危機。

華北農村的特色目下有如上述幾點。

所以渴望對於農村民生之安定、劃切指導以期農產物的增加，同時並應對於已往的不合理各點徹底加以矯正，方可期待農民們來擔負確立國防經濟的重責。

今更將中國共產黨戰時狀態的農業政策約舉如下：

- (1) 公布懸荒許可自由開墾，戰時中地租的撤廢，不許可不勞地主的發言權。
- (2) 對失業者及難民與以土地。
- (3) 分配農具、種子、前線兵士的家族由農家指導的代耕人代爲供養。
- (4) 減少商品農產物、獎勵食用農產物、

(5) 增加合種設施。

以上各條爲農耕本治則。

然因海岸線封鎖，及重要都市的占領，在中共地區內商品的融通倍受限制，而家內手工業異常發展，此次事變很快復回來成爲他國殖民地的弱點這是深可誇示的。

非僅合作社運動，按現今的世界情勢，尤其是本着建設東亞新秩序等看來，華北建設甚爲困難且亦甚爲重要。

農村社會組織及生產手段的改革等是捨合作社運動與新民會戮力同心勇往邁進則難收其全功的。

我們如果僅拘泥於一方面的主觀來評判，而決定建設農村的方向時，恐怕難免有誤謬之處的。

(五)

對於以上二種問題如能解決，則對於華北合作社運動不難進行。具有以上特質的問題，經M氏的澈底推敲，不能否認其真理，非僅關於合作運動，就由建設華北的一部分說亦得認爲是必要的課題。

人所周知的華北農村的建設，是建設新秩序的基石，且仰賴占全人口之八成的農村經濟的復興，僅將農民當作被榨取階級奴隸等植民地的觀點，是應該排除的。

民生的安定，並非在於農村的犧牲，而從心所欲協力組織合理的合作現是必要的。

華北合作社運動正值現轉換期間，於最短期內，聞有久爲渴望的中央機關的成立，機能將有日益活躍的消息。總而言之需要對合作社運動有真意熱誠的指導者，採應態合農民真意加以利導，講以適當的方針，庶可收效。否則僅以官僚的舊習慣來敷衍從事，恐難發現合作社的上述使命，而合作社運動方針，亦恐悖道而馳。

新民會對於共產黨的方針，與任務亦很重大。所以合作社運動亦應與此相輔而行，是不容疑義的。

華北的合作社與日本、朝鮮其特殊性是迥然不同，對此一點缺乏認識，則於合作運動不能說是了解他的真象。

近來滿洲國將其運動方針轉換，基準移於縣方，而從事活躍運動。更規定與農合作社之關聯益形使其緊密。且以決定「分會爲合作社的中樞團體」，爲運動發展的目標的，更認爲是必然的趨勢。雖然如此，尙覺有着手較晚的遺憾。（根據日滿記事）

此種方針的前車，實與新民會及華北合作社運動的中間與以莫大的

示。

滿洲協和會運動的鐵陷，就是將其基礎置於合作社或勞工協會上，關於指導方面，不免有欠澈底的弊端。殊有可以指摘的地方，然因種種困難所使，此次已進一步達成圓滿的階段，這是令人贊美不置的。

回憶華北的情勢，尙未踏覆此轍，是不能不引爲欣幸的，不能調察華北的現在實際情勢，單以經濟觀念或主觀立場來批評一切的人等，將有背道而馳的傾向，對於這一點尙有加以正當檢討的必要。

中國共產黨採用農民運動的戰術，是一方面與重慶政權國民黨展開階級戰爭，一方面以解放半封建制度農村，建設蘇維埃區域、展開運動，更進一步煽揚民氣從事抗日是不能不認爲偉大的政治的。

所以我們的建設使命日趨嚴重，今後華北合作社所宜採取的步驟應轉換方針，組織強有力的戰爭組織運動，爲當前急務，否者民心是難以安定農村經濟難以恢復的。

所以今後的使命宜以如何改革向來合作社運動的矛盾與誤謬，並與以徹底的認識，且確立政策從事革新方法爲得當。

於此不禁對於華北合作社之運動及發展上，有所期待。

合作運動與其他社會運動間的差異

屈 螻

合作是資本主義經濟制度下的產物，我們要考察合作與其他社會運動間的差異，我們得先確定一下合作的生產與資本主義的生產間之異點如何成立。

合作的生產與資本主義的生產，其間主要的不同即前者廢除了營利，而後者是少數人由多數人之損失而致富。

合作社不絕對地排斥競爭。它只廢除了其有害的部分，而同時還保存着其在工業與商業上一切科學技術上的成功。合作不把工廠變為不合於技術的組織，反之，它仍舊採用資本主義所採用過的種種有用的方法。

競爭是必要的。因為若沒有競爭心，不會有很大的進步。合作必須順隨其發達的程序，合作主義者常說的：「我們的發展全靠着他人的教訓。我們的完成全靠與私人營業的競爭。由對資本主義營業競爭的結果，我們可以利用資本主義的

經營方法。我們還沒有管理全部生產事業的充分準備。請假我們以相當時日你可以看見我們將奪回資本主義的事業之大部分。但應當有做這種工作的相當時間，合作用暴力去殲滅資本主義將沒有什麼好處；並且這樣的革命將沉淪於一種停滯的狀態中；其不幸的結果不致使合作的技術方面陷於不利，同時影響於個人道德。很明顯的，合作可以給資本主義的事業入許多美德與利益，使其自己努力去滅除資本主義的營利與不正當的企業心。

現在我們應當說明合作與工團主義中間的異點。

工團是階級性的組織，在工團中不能有屬於某一階級，某一職業以外的人加入的。至於合作除了生產合作以外是聯合所有的平民階級的。其與工團主義之不同的又一點，即工團是用罷工的方法與資本家階級鬭爭的。至於合作則不做這樣的鬭爭，這不是他的機能。

有些合作主義者以為罷工差不多是像日本人之割腹自殺一樣的事。另一部分人以爲罷工的結果，使消費者比罷工者感受更大的苦痛。這是當一個罷工爆發時常有的事，例如在一個格闘中，兩對方並不互相攻擊，却加技擊於證人身上，消費者當罷工或開除工人時正處於證人的地位。

現在我們再來說明一下合作與社會主義以及無政府主義之間的異點。

爲解答這個問題，我們應當先敏速地考察一下合作之起源。我們來考察一下合作運動是產生於某一個黨派的宣傳與活動，或產生於完全相反的個人之社會思想與政治意見的影響之下。現在我們再簡略地講一下合作的起源之歷史。

魯巴特歐文會以爲由共產主義的立場建設農業殖民地是最好的方法，因爲他以此可以解決社會問題。但他的殖民地的計劃毫無成功。其後另一個改革主義者金特別

努力指導其運動於障礙較少的一面，而開始創辦消費合作社。那有錢的保守黨文西特奈爾與自由主義者浩利約克，兩人雖意見紛歧，但在工作上常是協力的，由他們的努力使消費合作社在英國很成功。

至於講到合作之另一形式，特別如鄉村信用合作社，此種合作社之祖國是德國。

關於信用合作社，瑞費生是理論與實際的創成者。他沒有加入過任何政黨，他確是會對政治嚴守中立的態度。他會是一個宗教信徒，他信奉生動的基督教主義，他會終其身貢獻於援助他的隣人，因此他對人即對新教徒都有同情，雖他自己是新教徒。他的活動並不是像一個死的文字，也不是空洞的議論，乃是把基督教的教義移用於實際生活上。他會確信合作是服務於民衆的最有效的方法。信用合作社的起源，大部分實托庇於瑞費生。

至借貸貯蓄合作社與民衆銀行及消費合作社產生於蕭爾茲代利采希的努力。他在政治的觀念，是一位自由主義者。他曾參與政治活動，爲德國的國會議員，但以後他完全献身於合作運動。

消費合作社與建築合作社之發達，由於屬於保守黨的柏林大學教

授于貝爾氏。

現在考察一下在其他國家中的合作運動之起原。

法國的信用合作社產生於瑞費生與蕭爾茲代利采希的影響之下。不過在法國還有其特別的建設者，即無政府主義者普魯東曾嘗試在巴黎創設無利借貸的民衆銀行，但當時民衆的程度還沒有成熟。普魯東的民衆銀行沒有成功，只存在於很短的時間。還有一部分關於消費合作社與農業合作社的理論，是由資產階級社會主義者與馬克斯主義者所稱爲烏托邦社會主義者福利葉的理論中脫化出來的。但他所以被稱爲烏托邦主義者，只是因爲他太走在他的時代的前面了。現在的經濟科學已復回歸於福利葉與其一部分的理論。並且歐文的理論也已經部分由合作運動承認與實現。

在意大利的合作運動中，我們可以看到見屬於各黨各派的人。其先進者之中有社會主義者，有保守黨，有自由主義者，有農民，有工人。如呂在蒂與渥林堡是屬於自由黨的，渥林堡雖是一個猶太人，但他會把熱心的基督教徒瑞費生的原則輸入於意大利的鄉間。

在俄羅斯也有過同樣的現象。其

最初的合作社組織者有福利葉的信徒柴尼謝夫斯基，有無黨派的巴林，還有兩個自由主義者勞紀寧教授，華西齊考夫公爵。

合作運動之先進者與建設者，有屬全相反對的傾向即政治的傾向與精神的傾向兩方面的人物。

現在我們可以來看合作之原則與社會主義及無政府主義之原則的異點。

在講社會主義時，我們應當先注意一下由各派給此社會主義的概念所下的解釋。社會主義中有很多的派別。其佔優勢的一派即所謂科學的社會主義，或馬克斯主義。另一派是所謂空想派社會主義，此派比較尙大衆化。在法國還有聖西門派與福利葉派的黨徒。

與在許多國家中，都市社會主義在都市工業的區域中很盛行。有些社會主義者主張土地國有。但他們中間的一大部分以亨利喬治爲領袖，他們自己否認是社會主義者。還有所謂國家社會主義者，他們一方面糾合了多數所謂科學的社會主義之代表者，另一方面糾合了資產階級的經濟科學的代表者。前者之領袖亞爾多夫瓦格納會用所有的方法攻擊德國社會民主黨。

在法國，意大利，德國的大部分社會主義者，事實上是國家社會主義者。他們中間有些就這様自稱，如馬克斯主義者，立憲主義者，改良主義者，他們都是國家社會主義者。由前次歐洲大戰更明顯地證明了。因爲在對社會主義者的同樣的壓迫之下，在某些性質的事業上他們已與國家合作了。

他們是各種國家化與社會化的事業，即國家的社會主義之主要的實現者。實在現在佔優勢的一派社會主義者，以爲除了資產階級的國家，或至少社會主義的國家民衆之保護者。我們在此不講俄國的無產階級獨裁政治。在此政治中由人民舉出的代表包攬政權，極力自上而下地實行其改革。總之不問由選舉之平和的勝利與暴力的革命。在馬克斯主義以爲國家無論何時是對社會改革的最好的機關。

反乎馬克斯主義的這種信念，合作主義者不承認國家是社會改造的機關。在合作運動中，社會之改革與其再建是有賴乎社會進步中的權要分子之個人的努力。

合作之概念是說：社會秩序全靠社會之各個人出品質。進步很少是

由政府來的，只是由於有組織，有教育的民衆運動。合作是有組織的個人之創造的工作。國家不應當用任何方式來干涉合作的發展之自由。並且反乎國家社會主義者，合作主義者自下而上地實行其社會改造。他們把社會改造之中心移於個人。另外一個同樣的概念，即合作並不以建設政府爲其最重要的計劃，或依靠立法與命令。合作的觀念是更民主的。

合作運動或合作主義注重人格，至馬克斯主義則蔑視人格。馬克斯派社會主義者，以爲一切都是環境與經濟條件之反映，個人只是第二者，只是歷史的命運之玩物。

合作主義則基礎於全相反的信念上。即他們相信在歷史中個人之意志的創造力。他們相信歷史上之英雄的努力。個人之努力，在社會形式之組織的改造上是非常重要的。

合作之對於個人有相當的希望，乃極自然的事。因爲合作對個人有很多的要求。很多的要求由曾經有過很多的貢獻者提出。因此合作對個人要求種種義務，由此形成了道德的性質。在許多合作的著作中，特別在孟定 Munding 的題爲「合作社職員之權利與其義務」一書中，陳

述合作主義者之重要條件，在其道德與宗教的要求。宗教的意義，在他用的是很廣義的，他曾這樣特別注解着。

如是，合作主義與馬克斯社會主義，中間有着很大的異點。

在合作社中個人應當遵守其道德與和平的原則，那顯明的是因為合作主義者不認爭鬥是進步的原動力。但合作制度也是一種爲支持生活的爭鬥。合作運動也要求一種宣傳與行動上的爭鬥，但並不是如馬克斯主義者所說的至上原理的階級爭鬥。

反之，在合作社中，勞働者，農人，資產階級同樣可以參加。無論何人只要他願意便可以加入消費與信用合作社。前述的在別種組織裏邊的階級爭鬥不存在於合作社中。反之，可以說在合作運動中有勞働者，農人與資本階級中間的一種有利的協力。這些階級在另一種生活中從事其爭鬥，但敵對的觀念在合作社中幾乎完全沒有。屬於資產階級的人們是超越其階級的利己觀念而來參與於合作社的。由此種方法，在合作運動中行着一種具有強大的生活創造力之分子的淘汰作用，我們可以看農民與工人互相接

近，智識與產業互相運用。另一方面在一個農民的消費合作社裏，工人與資產階級也由其消費者的同一利害關係而聯合起來。

以上我們只是講合作主義與社會主義的異點。但兩者間也有共同的地方。

合作主義與社會主義，無政府主義及其他社會與宗教的流派一致的地方，就是他們一樣地希望再造一個更合理的社會。合作主義者不同意無政府主義之實際運動，以爲社會不會有一種突然的變化，就像在地震之後再造一個城市一樣。合作主義者不相信，人類會有急劇的變化，因此他們主張實行平民的教育與組織，同時積極地改革經濟制度。合作主義者只滿足於社會之漸次的改造。合作不是一種外部的形式。他不是一件衣服，可以更換，可以脫棄。只是對社會制度與習慣的一種急進的改良，同時即是經濟構造的變化。

現在我們來考察一下合作與社會主義的關係。德國社會民主黨黨員的大多數認合作爲一種絕對獨立的運動，並加入合作社而不侵犯其政治的中立。這些社會主義者不以他們的政治主張輸入於合作運動中。

在有些國家裏的社會主義者則反之，他們特別視合作爲階級爭鬥與政治爭鬥的機關，而否認其自治的性質。這種情形發現在比利時，在比利時他們把合作的方法適用於政治爭鬥。因此在比利時引起了合作運動的分裂。

有些法國的社會主義者把合作同化於社會主義中。並且阿貝爾陶麻會斷言：「社會主義的合作」已經失其意義，只可以說是「社會主義的社會主義」或「合作主義的合作」。他很正確地說「合作」這名詞已經很好了，再加上「社會主義的」那形容詞，只是畫蛇添足，只能使想加入合作的人因爲畏懼而不前。這是很對的，據阿貝爾陶麻的意見不過仍是說合作與社會主義是一致的。此種解釋法，沒有被以紀德爲領袖的法國社會主義者所贊和。他們以爲合作是一種完全獨立的社會制度。

現在陳述一下合作與無政府主義之差異及其近似之點。無政府主義與大多數社會主義者都對合作表示同情。他們中間有很多人曾建設過合作的農業殖民地。他們確信「互助是進化之要素」的原則之發明者克魯泡特金的話，

無政府主義者承認合作之莫大的重要。克魯泡特金曾在著作中說明合作之理想，主張進化之主要元素是互助而不是競爭。並且無政府主義者否認國家是社會改良的機關。他們否認政府與其存在之理由。合作主義者不如無政府主義者這樣徹底。他們會承認國家在某一部還是有用的。合作主義接近無政府主義的是：在全世界各處組織分散的社團，然後把他們聯合起來。無政府主義的理想，是一個沒有政府而形成於自由國的社會。因此克魯泡特金與法國無政府主義者普魯東與邵可侶，都對合作表示同情。克魯泡特金的一部分思想很傳播於英國合作主義者中間。

現在考察一下合作與國家中心與市區公設事業間的關係。這裏應當注意的是：合作主義者對其他社會改造的系統並不仇視。例如在克萊孟納的國際合作社會議，一個代表對一位問他屬於那一黨的人回答說：「不屬於任何一黨，我們是一切人們的朋友，沒有一個敵人。」要做一切人們的朋友是一件很難的事。但是合作的種種傾向已經做到了其最好的程度。合作與國家中心主義中間沒有什麼衝突，雖然其

走的方向不同。合作的本身是社會化的，但沒有暴力，也不顧什麼代價。還應當知道公立的與政府的事業很是浪費，並且很容易官僚化。合作是很容易與公立事業競爭。只是有些方面的事業不許合作來做。例如鐵路。雖然在意大利有一個合作社會修築了魯治救至西雅納的鐵路，並行使其管理。

在俄羅斯，由社會生活之特殊條件的影響，合作社有時亦將公共教育包括於其活動內，雖然有時這些公共教育事業也屬於政府或市區的管轄的。

至於農業合作社則關連於土地的國家化。這裏應當陳述一下德國馬克期主義之正宗派的代表高茲基的意見。

依他的意見，鄉村與都市的小工業必然要受大工業的淘汰，據共產黨宣言大工業漸次吞併小工業，一直至資本家之數減少至其易於支配的程度，同時使無產階級可以實現其社會主義制度的程度為止。她結論說，鄉村的小規模的產業不能由其本身滿足。所以在考茲基的意見合作沒有什麼重要意義。

美國人亨利喬治的「土地國有」的理論，曾由他的著作「偶像主義之

進步」中提出。但此種理論，並未得德國馬克斯主義之歡迎，雖然在德國亦有亨利喬治派的土地改良的宣傳團體。此團體之領袖為經濟主義者達馬希凱，他自己不承認是社會主義者。社會民主黨對此派持着懷疑的態度，高茲基關於俄國土地分配問題的小冊子也是一樣的態度。高茲基以為土地國有只是把鄉村資產家的財產奪出來歸於都市資本家，產業家，商人之手。特別商人可以因之發財。把財產從一個人手裏奪出來送給另一個人，本來是一件不公平不合理的事。沒收都市的大產業與鄉村的大地主的土地同樣是很必要的事。

現在考察一回農業方面的合作運動之大要。我們先來考察馬克斯主義之正宗派的代表高茲基不承認合作之重要。而同派的白因斯坦與維德則承認其相當的重要之理論上的異同。達維德曾在他的著作「土地問題」中用兩章的篇幅來寫農業合作社。同派之另一個代表者海爾茲亦賦與農業合作社以一個很重要的職能。但其理論亦不過是說大的財產可以吞食小的財產，他與考茲基的辯論中會證明此前者沒有活力，而後者可以在合作運動中發生

出活力。

至於意大利社會改良派的意見，如格蒂教授，在他的著作「社會主義與農業」中，亦承認合作之非常重要，雖然不能減殺鄉村的大財產，但有時可以為農業經營之模範。

社會主義者孔貝爾瑞拉，是法國的一個農業合作的提倡者。

合作主義者應當同情地贊成耕地之擴大。如在英國的現象：很多大產業與采地常常被放置著不耕種，或用為牲畜的牧場。合作主義者除了耕種的條件以外不能同情於農民之租地之擴大。農民對於財產的情緒是很強的。所以「國有」在農民常常不能理解，或置之不過問。至於土耳其，雖然其宗教的教義不許把土地認為私有財產，只由政府把耕地永久借與農民，但在農民已視同其私有財產，在新西蘭我們可以發見一種土地國有與私有財產的調劑方法：田地由政府借與農民，其期限為九百九十九年，幾乎可以說是絕對的私有財產。即使到絕對的一千年時候，政府也不會從農民的子孫收回其土地。

(未完)

華北合作 小篇論壇

合作精神 實踐的重點

奚一洲

我們能以合作精神來發展一切經濟問題，才能創造新的理想的社會呢！在經濟問題的關係上，可以由一家的經濟推到了一社會的經濟；由多數社會的經濟，構成了一國的經濟；這樣說起來：一國的經濟問題，就是多數家庭的經濟問題，所以合作問題要從個人作起，漸漸地擴充，以合作精神來解決一切經濟問題，現在世界一般社會已經把合作事業當作解決經濟問題唯一的新經濟政策了！因此我們知道，要想人類的幸福增加，經濟充裕，必須實行合作主義，提倡合作精神！那嗎這種合作精神是如何進行呢？不是空談理論的，必須要腳踏實地的去幹才能夠表現出來！最主要的就是要一心一德，共同努力！要想這樣去作最好的方法，莫若組織各種合作社而推進合作運動，由近及遠，慢慢的將合作事業普及到民間

國民的生活問題自然會漸漸的解決了！

人類之生存於社會，最主要問題就是生活，不但要維持個人的私生活，更當注意到大多數人的共同生活，合作事業便是設法謀大多數人的幸福，使大多數人的生活彼此互助，這是很要緊的重點。

合作的原理，不僅應用在人類社會上，就是在生物界裡的自然現象已都能應用的。僅就動物界而言，如蜜蜂和螞蟻，雖然是微小的動物也都能群力合作，共同生活，何況萬物之靈的人類呢？豈不是更應當彼此互助了嗎？吾們相信在自然界中凡能合作的，都能生活，不能合作的都必日逐沒落，自取滅亡，所以合作精神已經成了萬物生存必具的一種本能了。

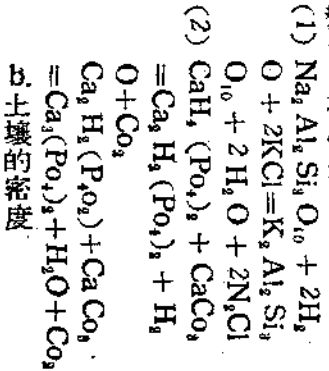
如此說來，合作精神的根本法則，究竟又是如何呢？簡單的說，就是「人人為我，我為人人」一句大實話，如此通力合作，共同向上，以求達到人類共享幸福的境地！敝人學識淺陋文筆不通，現在簡單就我個人一時對於合作事業的觀念向大家獻醜！

土壤的性質

a 土壤的吸收力

土壤有牽引溶液中各種成分，使無流失之性，這種性質，叫作土壤的吸收力，土壤因為有這種性質，所以在雨水過多的時候，養分也不致於為雨水所溶解而流失，這種性質，對於農事，頗為有益，其吸收力的大小，因為土壤和養分的不同，也就有了分別，大概富於腐植質，火山灰的土壤，及粘土的吸收力，常大些，富於砂的土壤，牠的吸收力，常常小些，養分裡，像磷酸和加里，比較容易吸收，可是鹽素則比較難。

土壤的吸收力，約起於兩種現象，一種是由於已溶解於水中的養分，又與土壤成分化合，成了一種難溶解的物質，一種是由於物理學的牽引力，現在把土中泡沸石，與加里相化合，及碳酸石灰與磷酸相化合的化學變化，示之於下：



土壤的密度，就是土壤間隙的大小，大概土壤細微的，牠的間隙常小，其密度必大，土壤巨大的，牠的間隙常大，其密度必小，勤耕的土壤，密度較小，雨後的地，密度較大，密度大的，像填土黏土，牠的土壤和空氣水分等相接觸的面積必大，風化作用也必勝，可給養分也必多，不過太大的時候，則水分難以宣洩，空氣也不宜流通，也頗有害於作物，所以農家必須使土壤的密度大小適宜，方能得到良好的收穫呢？

c. 土壤的凝集力和黏着力

土壤互相牽引的力量，叫作凝集力，土壤和農具黏着的力量，叫做黏着力，土壤凝集力大的耕鋤較難，黏土的凝集力常大，砂土和腐植質土的凝集力常小，含水多的時候，凝集力常大，含水少的時候，凝集力常小，凝集力大的時候，黏着力也大，耕鋤也難，黏着力的大小，因農具的種類而不同，大概鐵器較小，木器較大。

d. 土壤與水的關係

水是構成植物身體成分，及輸送養料所不可缺的東西，所以土中必須有適量的水分，才能使作物繁茂，土中的水分增減原因，可以由下述諸事項斷定之，就是保水力，毛細管吸引

力，水蒸氣凝縮力大的，則土的水量常多，透水性和蒸發性大的，土中的水量常小，腐植質土及黏土的保水力，和毛細管吸引力，全都很大，砂及石灰土等，就非常的小了，砂土地地容易旱，就是這種原因，水蒸氣凝縮力亦以腐植質土為最大，保水力和毛細管的吸引力大的，透水性及蒸發性則較小。

e. 土壤和空氣的關係

土中必須有適當的養氣，植物才能繁茂，養氣存在空氣裡，所以農家最要的事項，就是使土中空氣流通，土中如果缺乏養氣，那麼風化作用和硝化作用，全都停止了，植物必須的養分，因而缺乏，甚至於因為還原作用，而生有害物質，以妨害作物的發育，惟土中含氣量的大小，實因土壤的多少，土壤的性質，及含水量的多少而不同，大致土粒大，質少粘含水少的，含氣的量常大，反之，則小。

f. 土壤和溫度的關係

溫度是植物生長時的要素，所以土溫越高，植物越茂盛，並且肥料的分解，土壤的風化，也全因溫度的高低為轉移，而土溫的由來，大半由於太陽熱而得，土中有機物分解時，也可生溫熱，農家對於增加土溫的事，也應當注意的。

留學朝鮮歸來所感

——關於合作社的研究報告——

劉志元

前言

這一篇的小稿，是筆者朝鮮歸來後對於合作社問題的一些雜感，算不得甚麼言論，也算不得甚麼批評，只不過就箇人所感到者，率直的，毫無忌憚的，大膽的寫出來了。因為時間和篇幅的限制，對於理論難免有不詳盡的地方，大意是先將發生這些思想的動機，並這次往朝鮮去的意義，和在朝鮮的經過報告，然後將朝鮮的合作社（金融組合）發展的特異性加以介紹，稍加有筆者箇人的感想和愚見，因為經驗貧弱，和研究不足的關係，或者把朝鮮的合作社論歪了的地方也不一定，但是希望讀者要付度筆者的心是出於願望朝鮮合作社和中國合作社發展的熱誠，而才來獻藹的，倘萬一有能供關心合作社問題諸君做參考的地方，則幸甚了。

這次留學朝鮮的意義

我們的中華民國新民會，是建設新中國的母體，是在政治，經濟，文化上唯一民衆實踐組織體，中國的合作運動，是負有打破半殖民地半封建的中國社會現狀，建設新民主主義社會之使命的民衆運動，所以中國的合作運動，必須在新民會的指導下來發展，而新民會亦惟有指導合作社的當然義務，這是勿庸贅言的。這次新民會爲強化對合作社有機的指導起見，特選派會務職員八名，到朝鮮去受合作社理論及常務的專門教育，筆者得爲其中的一箇，感覺到非常榮幸，同時又深自覺到在將來中國的合作運動上，我們所負的使命重大。

留學的經過概況

極短期間的留學，沒得甚麼多大

的經驗和學問，報告給讀者也不足以供參考，但是爲的欲使讀者明瞭筆者發表這一篇思想的動機，簡單的將這次留學的概況報告一下。

我們這次的留學，係由新民會中央總會的命令，一行共是八名，於二十九年八月中旬入新民會中央訓練處，受十餘日準備訓練，八月末日從北京出發，赴朝鮮京城，入於朝鮮金融組合聯合會附屬組合寮，九月初開始受課，十二月下旬受課終了返國，共計不足四箇月的期間，所受的課程，大概關於合作社理論的，爲金融組合概論，金融組合經營論，金融組合令，金融組合登記，殖產契令等，關於事務的，爲貸款事務，貯金事務，倉庫購買販賣事務，匯兌事務，簿記，珠算等，與合作社有關係之科目，爲民法，商法，經濟，農業，講話，其他等，此外在講習期間內，曾見學京城市

內之合作社，並於九月間所開之全朝鮮金融組合理事協議會，曾出席傍聽，十一月間赴朝鮮忠清南道各方面合作社見學一週間，十二月歸國途中經過平壤的金融組合，並滿洲國奉天遼陽縣農會合作社，及錦縣農會合作社等處見學。

我們這次的留學，既非入普通的學校，又非合作社教育的專門學校，乃是朝鮮金融組合聯合會實際上養成及訓練朝鮮金融組合職員的地方，已由上述可以表明，和我們在一處起居一堂受課的，有的是由大學或專門學校新卒業的金融組合理事候補者，也有在金融組合長期服務過的職員，所以凡有的課程，都是照金融組合聯合會的職員教育方針而定的，實際上當然，有不合乎我們中國合作社所要求的地方，但是由於朝鮮金融組合聯合會長的厚意，和諸位教師的熱心，在所定課程以

外，對於我們這八名留學生，特別施以教導，使我們在這不足四箇月的最短期間內，對於合作社雖然沒有甚麼深造，但是已經可算得入其門了，我們對朝鮮金融組合聯合會的各位先生是銘感之極了。

留學期間的概況既如上述，現在將筆者個人關於研究合作社理論的感想略為陳述如下。

我對於研究合作社

理論的感想

關於中國的合作社，有人說，現在擔當指導的都是日本人，中國人對於合作社的理論，不必去大研究，只辦事務，——日本人告訴怎麼辦就怎麼辦就行了，這樣人如何不理解現在的新情勢，思想的錯誤本來不值得我們駁辯的，但是這次到朝鮮去留學，看見半島人也有做這樣論調的，這雖然不是全部如此，但是這次筆者所接觸的，有很多是這樣的，這實在是給與我一箇重大的刺激，不過關於民族協和的理念，早經多少的先覺者高呼出來了，並且我們現在正在爲這種理念的實現而奮鬥呢，結果不能理解的人還這樣多，實在令人撓頭，關於這件事的感想且待有機會的時候再來發

表，現在權當我們都站在同志的立場，那麼對於合作社理論的研究我們更應該取甚麼的態度？箇人的感想寫在下面。

當着世界史的一箇大轉換期的現在，我們第一是須要把握着現在的新情勢，認識清了我們中國社會的特殊性，然後再將過去的諸合作運動，加以研究和檢討，對於我們應當怎樣創造新民主主義的合作社，——對於新民主主義合作社的本質應當正確的把握，絕不可食古不化，或盲從他人的。

現在立在指導華北合作地位的諸公，對於華北合作的本質把握得正確的人可算不少，並且都不僅止於抽象觀念的理論家，能以身實踐的很多，這是深可以使我们信賴的，但是所謂合作運動既然是一種民衆運動，就不應該僅是一部分的上層指導者，把握得正確的理念，其餘的人都盲從就行的，況且我國的合作運動，是具有特殊性，和其他外國不同的，因此我們在現地從事指導的人，——尤其中國人自己，對於這合作社理論有真摯的把握和澈底的研究，方才可以來說指導呢。

工作，始終是抱着「我的實踐就是我的理論」的態度來從事工作的，但是確信新民主主義下的合作運動，是復興中國農村的一種民衆自救運動，而自己又站在指導者——斯界之公僕的立場，若是對於合作理論不去實際的研究，沒有澈底的把握，就決不能拿着「以其昏昏使人昭昭」的態度去妄談指導，並且深鑑到現在我們周圍的情勢，我們理論上的鬥爭，若是失敗，其他的一切也都要失敗的。

我們對於合作理論研究的態度，不是追求能知不能行的空虛理論，更不主張「知難行易」的盲從主義，我們要把握明確的理論，同時澈底去實行，這才符合我們新民主主義「知行合一」的精神呢。

合作社的本質和他的性能的研究

合作社是資本主義經濟的產物，是中、小產階級以自助互助的精神團結起來，防衛資本的侵略，或和資本來對抗的一種組織，這是誰都知道的，但是過去的諸合作運動，他的活動範圍只限於經濟的流通部門，合作社自體並不是一種特別社會組織，無論在何種政治主義的國家，都有他存在的可能的，例如像在英、美、德、意、蘇聯、日本、印度、中國這些政治主義不同的國家，殖民地半殖民地，都有合作社的存在，但是隨着政治主義的不同，合作社的發生，和他的性能亦各異的。

我們中國的社會，比較其他外國是獨具有特殊性的，以新民主主義爲政治理念的國家，又是在世界上沒有比類的，那麼在中國的合作社，當然也要是獨創的合作社了，那末究竟我們新民主主義合作社的本質，和他要具有甚麼性能，這是急待我們來研究和創造的，不過在我們創造新民主主義合作社之前，須要對新民主主義有澈底的把握，對其他諸合作社的本質和性能，都有清楚的認識，然後才可以談創造，不然做了共產主義或帝國主義的走狗，還自以爲是在創造新民主主義的合作社呢，那麼可就大錯了，現在筆者願意在這裏將從來諸合作運動的本質，和合作社的性能，與讀者來共同的究研，檢討一下。

合作社的本質和他的性能，一般學者的論說各有不同，現在依據日本菊澤謙三氏近著的協同組合經營

論所舉的幾種，似乎比較適切一點，他將合作社的本質和目的分爲四種，就是：

一、合作社是本着共存共榮的精神，企圖節制商業利潤，或全面排除利潤，以修正資本主義的缺陷，或牽制資本主義爲目的的經濟團體。

二、合作社是本着共存同榮，相互扶助，自主自營的精神，從資本主義的重壓下，解放中小產者及其他被壓迫階級，而積極建設，自由與協同之社會的人格結合體，換言之，就是企圖建設產業民主主義社會的人的結合團體。

三、合作社爲樹立或維持共產主義，或社會主義經濟的相互扶助的協同經濟團體。

四、合作社不僅是中、小產者相互扶助的經濟生活助成團體，更進一步成爲統制經濟下國家的統制機關。

以上這幾種合作社本質觀之中，第一和第四，是以肯定現在的資本主義爲前題的，合作社單不過有補正資本主義的缺陷，或牽制資本主義的意義，反之，第二和第三兩者，其根本指導原理有不相容的地方，

但不過僅是程度或方法的相差，合作社的目的都是在乎改造或革新資本主義的。

合作社雖然有以上的目的，但是在殖民地或半殖民地的合作社，他的性能和目的都要大被歪曲及限制的，合作社反要隸屬在資本主義支配之下，替資本主義當走狗來榨取民衆的，但是因爲榨取過甚了，民衆都破了產，失掉了購買力及勞動力，就要引起階級鬥爭，與資本家招來不利，於是資本家就裝出慈善的假面具，拿着榨取來的一部分，利用合作社去救濟民衆，緩和階級鬥爭，使民衆不要失掉勞動力及購買力，但是這種合作社始終是沒有修正或改造資本主義的能力的。

我們中國的合作社，今後應當取那一條路去發展，這須待我們的研究和創造，但是事變前我們中國的合作社，沒有脫出殖民地合作社的形態，現在我們的周圍尚有共產黨在那邊積極創造共產主義的合作社，我們當着指導合作社的時候，須要慎重的研究檢討一下，別弄成共產主義或帝國主義弱亡中國之工具的合作社，是最要緊的。

那麼我們新民主主義的合作社畢竟是要具甚麼樣的性質和性能呢？先

把結論說出來就是，「中國民衆在新民主主義下自動的團結起來，拿着合作的精神打破半殖民地半封建的現狀而積極建設新民主主義社會的經濟團體。」這種合作社是與新民會有不可分的關係的。

朝鮮的合作社和

中國的合作社

筆者在朝鮮留學期間，朝鮮合作社（金融組合）的指導者諸公有言，現在中國的現狀，完全與距今三十五年前朝鮮的狀況相同，所以現在中國的合作社，也應當取和朝鮮同樣的方法來指導，筆者對於這一點竊抱有一些異議，現在且將朝鮮的合作社介紹一下，稍微附帶着發表一點筆者箇人的感想。

合作社是無論任何政治主義的國家，都有存在的可能，既如上述。但通常都是一種民衆運動，在某一個國家，或某一民族內，出來一箇先覺者的思想，得着民衆熱誠的擁護，以這箇先覺者的理想爲指導原理而發展，極有自主及自發性的民衆運動，但是這一點在朝鮮的合作運動並不是這樣的。

朝鮮雖然有很多的合作社，但是

其中最有力足以代表朝鮮的合作社，值得我們研究或批評的，就是現在的朝鮮金融組合，這箇朝鮮金融組合，和現在滿洲國的興農合作社差不多，他的發生，不是從民衆裡起來的一種運動，乃是幾種上層勢力從天上掉下來把合作社造成的。

這種官製的合作社，雖然不能說完全不好，但是最大的弊害就是不是民衆自動的運動，難望民衆的理解，和積極的協力，而且合作社的經營，變成官廳化，合作社自體沒有自主性，難以反映真正的民意。

我們看到像朝鮮那樣合作社，由政府一手創成，然後由政府直接去指導監督，顯然有以上那樣弊害的，滿洲國的興農合作社，現在也有那樣的傾向，興農合作社和協會沒有有機的關聯，指導合作社的不是民衆團體，所以合作社的經營也顯然的官廳化，當我們由朝鮮返國的途中，往訪瀋陽縣及錦縣興農合作社的時候，他們理事長的感想，都是因爲與協會沒有有機的關聯，所以合作社趣旨的普及上招來許多的困難，再有因爲警察官吏的沒有訓練，也是合作社發展上的一箇大障礙，合作社首沒有辦法理事長爭取不來預算的時候，合作社就

辦不了事，由此我們可以知道中國的合作社，照朝鮮和滿洲那樣去指導是絕對不行的，中國的合作社，一定是民主的合作社，他的指導是應該歸中國唯一的民衆團體新民會來指導的。

現在筆者願意在這裏將朝鮮的合作社——金融組合的特殊性，指摘出來，和讀者來共同的研究批判他一下。

朝鮮金融組合的發展和他的初期

朝鮮的金融組合，是距現在三十四年前，（明治四十年）當時韓國政府的日系人財政顧問，日賀田種太郎所創辦的，目的是在於救濟朝鮮農村的窮困，開發朝鮮的農村，做爲涵養財源之手段的，日韓合併後，

金融組合的指導和監督，完全直接歸朝鮮總督府，設立當時係由政府採用東洋協會專門學校的卒業生三十名，任命爲理事，將全朝鮮劃爲三十箇大區域的合作社，理事每一人附與一萬元資金，據說那時政府對各理事的要求，是要忠誠的爲國家來活動，如果拿着這萬元辦不成合作社，還可以再發給那一萬元，由此一點我們可以想知朝鮮金融組

合成立當時的狀況了。

成立初期這種合作社的特徵，就是第一是由於政府的計劃，依照政府的方針創辦的，目的是在於開發農村，做爲確立財政之手段。第二創辦當初並沒有規定社員的權利義務，也沒有出資金，直到大正三年才有社員權利義務的規定。第三合作社的經費，當時完全依賴政府的下附金，（直到現在政府的下附金都在巨額的）第四合作社的理事全由朝鮮總督任命。（現在也是歸朝鮮總督任命的）第五合作社的指導監督全歸朝鮮總督。第六合作社的業務完全有官的法令規定。第七合作社並非是由一處發生，或在數處設立漸漸的擴大，成立當時就包括全朝鮮爲區域的。

由於以上這幾項，我們可以想到朝鮮的金融組合，並不是民衆自動的組織，簡直是官設的行政機構，理事並不是民衆擁出來的指導者，乃是政府任命的官吏，所以當時只有經濟上的作用，無所謂精神的結合，也無所謂合作社的主性的。

朝鮮金融組合發展的特異性

在其他外國的合作都先有合作社

運動的發生或創立，經過幾年以後，迫於必要才有法律的制定，但是朝鮮的金融組合却是依照金融組合令而誕生的，這一點和滿洲國的興農合作社完全相同，朝鮮的金融組合既然是根據政府的命令而創辦的官立合作社，所以他的生長和發展，處處都在法律及命令的嚴重監督及指導之下，對外關係自不必說，就是關於合作社內部一切，都要遵從官的法律，或命令的，合作社的組織及業務都要服政府的命令去變革，但是政府的法律或命令不一定都是基於合作社自體的要求而制定的。

朝鮮金融組合以後又經過屢次的改正，大正三年才規定社員的權利和義務，要求社員對政府的施政積極的協力，大正七年設置都市金融組合，實行門戶開放主義，從前社員僅限於農民，自此準許商工者加入，同年又設置各道金融組合聯合會，昭和八年將各道的聯合會合併，設立全朝鮮的金融組合聯合會，現在全朝鮮已有七百二十三箇單位金融組合，社員有一百九十餘萬，這一方面可以說是朝鮮合作社組織的飛躍進展，另一方面也可以說是朝鮮統制機構的確立。

朝鮮的金融組合雖然是政府一手所造成的，由政府的父權的管理之下而發展到現在，但是我們不能單爲這箇，就批評他的長短，我們爲的要明瞭朝鮮金融組合的實際，更須將他的指導理念，和他的活動狀態，加以研究和檢討。

朝鮮金融組合的指導理念

朝鮮的金融組合，從他們指導者所倡導的指導原理上來說，似乎採取「羅登戴爾(Rochdale)式的協同理念，但是從側面上他的發展形態，却很近似現在所謂「法西(Faig)式」的合作社，但是所謂合作社的理論是非常巧妙容易動人聽聞的，其實在實際上難以照理想的那麼辦得到，所以我們要研究合作社，對於實現合作理想的方法最須注意的。

朝鮮合作社運動的指導者山根氏（現在朝鮮金融組合聯合會教育部長）所著的金融組合概論上，有關於金融組合指導原理的幾節，我們且引證出來研究他一下。

山根氏對於合作社的定義，他說「合作社是直接受資本主義影響的利害關係者，群起相互扶助的經濟

組織，所以合作社是一方面防衛資本主義對民衆的經濟壓迫，一方面對共產主義，無視人類的所有慾，則尊重人的自由，擁護其所有權。他又說「那資本主義是在利潤之前，忘掉一切去追求利潤，統制經濟主義，也是在社會利益之前，去猛進的，合作主義（協同主義）是尊重人的人格，強調人的相互性的。」

由此觀之，所謂合作主義的理論，無論任何人都沒有反對的餘地的，根據這簡理想若能做得到，那真可謂能把資本主義和共產主義都揚棄了，另創成一箇沒有榨取也沒有壓迫的一箇無苦無憂的自由社會了，但是理論須和實行相符合，手段是可以決定目的的，我再須將爲實現這理想，所採用的手段如何，加以考察。

朝鮮金融組合據山根氏說：「金融組合第一是不取和他人競爭和競爭的手段，在內部則主張相互扶助，以圖社員經濟的改善向上，對外部則施行合作主義的宣傳教育，排除競爭排他的抗爭態，意圖合作精神的普及，這就是所謂金融組合所取的，由箇人主義而進到連帶主義的主張和教育。」

對內部主張相互扶助，以企圖社

員經濟的改善向上，這一點我們是毫無異議的，合作社的指導者當然要拿這簡理論去指導，不過社員對於這簡理念是否能自覺，企圖經濟改善的方法和程度，這又是另一箇問題，我們尚須從另一方面去考察才行的，至於對外部不取抗爭或競爭的手段，拿着合作精神去教育，這簡理想也很高超，你不和他抗爭，他就不來壓迫你，你教育他，他就聽從，那麼天下問題可就好解決了，但是對於事實上我們不能沒有一點疑問。合作社不是民衆自發的運動，缺乏精神上的要素，合作社活動僅限於流通部門，而且資金僅少，缺乏經濟上的要素，死守政治宗教中立的原則，實際上缺乏政治的力量，這樣的合作社不取和外部競爭或抗爭的手段，固是當然的，因爲一競爭一定是失敗的。

「第二金融組合是取一人一票主義，決議權是平等的，使資本無以逞其霸權之餘地，這即是民主主義的表現。」

這裏的所謂民主主義，乃係指合作社內部關係而言的，朝鮮民度的水準，低得和中國差不多，合作社處處都要由官選的理事來按照法律和官的命令去經營，雖然附與社員

以發言權和決議權，但是發言和決議的範圍，是極被限制的，雖然說是民主主義，合作社有沒民主的要素，這是問題，既或合作社有民主的要素，政府不能聽從合作社的民主，這簡須要徵諸事實我們去考察他一下，至於說發言權和決議權平等不使資本在合作社內逞霸，這簡理論固然是對的，但是因爲資本不能在合作社內逞霸的關係，就沒有人向合作社裡投資，（本來合作社的出資金，他的性質就不是投資，是一種箇人的犧牲，）資本不能在合作社裡逞霸，在合作社外邊依然可以逞霸，合作社和資本終是免不掉對立的。

「第三金融組合不按照政黨或宗教的差別，意識的加以限制，希望參加這簡運動的，勿論何人在所歡迎，這是合作社是公開團體的表現。」

這就是所謂合作社的門戶開放，和政治宗教中立的原則，朝鮮施行的是總督政治，無所謂議會，也無所謂政黨，這是誰都知道的，這就無所謂政治的中立，並且也沒聽說在朝鮮有有勢力的宗教，宗教的中立更是無用的，但是最少在朝鮮階級是存在的，雖然合作社高唱階級

中立，標榜門戶開放主義，但是門戶開放，是開放了，資本家根本就不往合作社的門裏進，無產階級想往裡進，又有多少的障礙，今後朝鮮金融組合這箇包容民衆各階層的主義，和他的辦法，是深值得我們注目的，但是現在的社員，據說還是中、小產階級。

「第四金融組合以企圖個人經濟改善，與生活的安定爲目標，事實上將以金融組合之活動，排除因貧富懸隔而生的社會缺陷，這在事實上可以證明，金融組合已踏到社會政策之領域。」

由於以上這幾節說明，我們可以明瞭朝鮮金融組合的指導原理，是和前述合作社本質中的第一相符合始終以肯定資本主義經濟爲前提，合作社是本著共存共榮，相互扶助的精神，企圖社員經濟生活的改善向上，以補救資本主義社會的缺陷的組織了，像這樣的指導原理，不是最妥當最完全的合作社指導原理，我們姑且不論，朝鮮合作社的發生和發展，既有如前述的特殊性從指導的實際上來說，合作社在第一義上，是政府的國策遂行機關，經營的方針和業務，都要由政府命令決定的，勿論合作社指導者的

理論如何高超，結果還是國策的遂行第一義，合作社員是要在國策所限定的範圍內，享受經濟上利益的。雖然照現在流行的所謂全體主義來說，公益是應該優先的，而且政府的政策是根據公益而定的，合作社員是應該在國策的容許範圍內享受利益，但是在事實上，政府得不着民衆的積極協力，對於民意不能表達，政府不能按現地的情形，社員不但不能受着國策的恩惠，必要爲國策而犧牲的時候也不是沒有的，因爲這箇關係，合作社的自主性，是有強化的必要的，所以在統制經濟下的朝鮮金融組合的發展形態，一方面又是政府的國策遂行機關，另一方面又應是民意的代表機關，換一句話說就是政府的經濟統制政策，大半都要依賴金融組合去實行，而金融組合又應當對於統制政策遂行的實情，可否，應當怎樣的修正，都有代表民衆向政府申訴的必要，關於這一點，山根氏近著「金融組合發達的特殊性新體制」之中，也有這麼一段話，就是在「金融組合運動中，組合員（即社員）的意思，概由總會所選任之組合長、評議員、總代表表示的，組合員的希望，通過官選理事被官的方針來綜合統一，

下意和上意都在金融組合機構制度之中融和到一起的，這箇恰和新體制下的大政翼贊會相似，有和上意下達下意上達機關同樣的作用的。」但是，這是氏的理想和希望，事實上我們看好像上意下達是達了？下意上達有點困難似的，這箇且待以後邊舉出實例來證明，若果真能像所說的那麼得到，金融組合就成了朝鮮的翼贊會，中國也不用要新社會，只有合作社就成了。

朝鮮金融組合的活動狀態

活動狀態

朝鮮金融組合設立以來，已有三十餘年的歷史，將朝鮮全土都包含在他的組織網之下，在京城有全朝鮮的金融組合聯合會，現在單位組合已有七百二十三社，擁有組合員二百餘萬，是在朝鮮最有力的合作社，已如前述，他的主要活動部門大概可以分爲以下這幾種：

生產增殖和金融組合的

貸款

現在朝鮮金融組合的貸款，大概可分爲特別貸款，和普通貸款，兩種，特別貸款都是依照政府的增產

計劃，或農村救濟計劃的貸款，資金是仰給政府供給的低利資金，和聯合會的資金，普通貸款大概可分爲長期貸款，短期貸款，有擔保貸款，和無擔保貸款等，但這種貸款的最高額，在金融組合令上都加以限制的，無擔保貸款在都市金融組合貸與每社員的最高額，是千元，村落組合是二百元，有擔保在都市是三千元，村落是千元，據聞最近貸款的總額，約有三億七千萬元，占全朝鮮各機關貸款總額的一七％。現在的貸款之中，貸與都市或農村各多少，各種資金別等，因爲沒有確實的參考資料，不得而知，但據最近某一時的調查，對物貸款（即有擔保）會佔過貸款總額的六九％，對人貸款（無擔保）佔三三％，以件數言，則對人貸出七三％，對物貸出二七％，以用途別，則生產資金佔六〇・九％，舊債償還及其他資金佔三九・一％，以資金別，則特別貸款一八・二％，農業資金五一・八％，商工業資金一七・一％，水產業資金一・二％，其他一一・七％，期間別，則爲短期五九％，長期四一％，但是村落金融組合組合員職業的分布狀態，是農業者九二％，其他八％，由以上這箇分類，

我們可以看出組合員是農民多，無保借款的也多，而貸款額的比率低，這是證明窮困的農民借得的款額少，資金別是生產資金最多，這是證明農民將借來最少額的款都用在生產上的，短期的貸款多，這是因爲農民用的資金都是長期的，商工業用的資金都是短期的關係，由於以上我們可以知道，金融組合的貸款，還是貸與中產以上及商工業者的多，貸與窮困農民的少，農民的借款都是用在生產上，但是其他的貸款未必都是用在生產上，（專指農業生產）雖然說不使地方金融流入都市，使農村枯竭，但是金融組合的這種金融還元作用，終是有限，雖然說是按照信用程度貸款，在事實上越窮困的農民信用的程度越小，實際上借的款額也少，金融組合的所謂生產增殖並沒有和生產發生直接關係的，所謂金融組合的指導金融，是間接的監督指導，使農民把貸款有效的用在生產上的，但是最近因爲生產統制的強化，金融組合不能直接指導生產，完全須受生產指導機關去指導，村落組合的生產指導的力量也有些減退了，都市組合的經營，我們看都有一些銀行化了。

民間購買力的抑制，和 金融組合的儲金

爲防止通貨的膨漲，利用合作社的組織來吸收民間的資金，以抑制其購買力，這是一箇最有効的辦法，誰都知道的，但是這箇民間的資金，須要是浮剩的資金，購買力是須要在生活必需以上的購買力，這種浮剩資金，和生活必需以上的購力，不用說是在都市裏，和富者的多，而這些的儲金，又一定是大宗的，據聞朝鮮金融組合最近儲金的總額，已達三億三千萬元，佔全鮮儲蓄機關總數的一三%，這箇數字裡邊究竟甚麼樣的儲金多少，現在沒有確實的參考資料，不敢臆測，但是這都是農民的一些零碎儲金，我們是不難想像的，現在朝鮮金融組合正在勵行着「天引貯金」和「節米貯金」等（註：所謂天引貯金就是硬抽頭的儲金，比方社員賣一斗米，應得一元錢，合作社給他九角，那一角替他儲金。）筆者在朝鮮時，曾打聽過某處金融組合的理事，「這天引貯金，組合員都能理解嗎？」他說：「這是國策，雖然現在不理解，也得叫他們漸漸的就會理解了。」根據這話，我們可以想像到

朝鮮金融組合國策遂行的情形了，再有我們不可忘掉的，就是在朝鮮的銀行的勢力，在朝鮮金融組合的規定上，對一箇組合員的貸款，超過法定最高額的時候，金融組合自己不能借，但是可以向銀行裡去介紹的，因此金融組合的大宗貸款就都要歸銀行去辦了，但是儲金也是這樣的，雖然在法令上儲金最高額沒有限制，實際上銀行的儲金利息比金融組合差不多都是高的，因此大宗的儲金就都跑銀行裡去了，這「天引貯金」等民衆又不甚理解，在昭和十年全朝鮮金融組合理事會議決議，要求政府不要設立和金融組合有競爭性的法人團體，和擴充貸款的最高額，到昭和十五年理事會議的時候，還沒完全得政府的許可，由於以上這些，我們可以想像到朝鮮金融組合的國策遂行，和上意下達下意上達的情形了。

物資集貨配給的合理化 和金融組合的購販事業

朝鮮金融組合因爲取單營主義，所以對於購販和販賣事業不是由組合直接來辦，是對於所屬下的殖產契（等於中國的實行合作社）的購販販賣事業，是來幹旋的，據聞最近

一年間幹旋的總額，共同購入二千二百萬元，共同販賣三千一百萬元，這是因爲全朝鮮都有金融組合的殖產契，實際上朝鮮的購販販賣事業，金融組合是有力量可以操縱的，但是朝鮮因爲有殖產契和農會，都是農村的產業團體，在業務上，說和金融組合常常發生磨擦，因此對於農村指導上有了許多的障礙，本來在統制經濟下的物資集貨配給，歸非營利團體去辦，是最合理的，朝鮮金融組合，雖然有那樣整備的機構，而對於購販販賣事業，未能全面的辦得圓滑，被各種機關來割據，而無力去抗爭，這是沒有政治力的合作社的弱點，現在聽說隨着新體制的樹立，發生了農村三團體（金融組合，殖產契，農會）的機構調整問題，將來的成績如何，是值得我們注意的。

合作精神的普及，和 金融組合的教育事業

無論甚麼樣的合作社，對於職員和社員的教育，絕對是必要的，職員的教育，是養成合作社指導者的人格，和技術，對社員的教育，是使社員澈底合作的趣旨，積極的自動來協力的，朝鮮金融組合對於組

合員的教育，現在非常熱心努力，在朝鮮的精神運動，所謂國民精神總動員，和國民總力聯盟等，金融組合的教育也是非常有力的，對於組合精神的普及方面，例如表彰優良組合，及優良組合員，並在聯合會內設有普及科，施行宣傳講演，演電影，配布小冊子等，都可謂極其完備，再有像開部落懇談會，殖產契主事講習會，婦女講習會，諸般普及事業，都深使我們值得感佩的，筆者惜乎沒有得暇去參觀一下對鄉村組合員的宣傳教育實際情形，又因爲不明白朝鮮話，沒得和老農們直接的談一談話，現在還覺着遺憾呢。

朝鮮金融組合的教育事業，除了組合員的教育而外，職員的養成教育，也是非常發達的，現在簡單的向讀者來介紹一下。

金融組合的職員教育，大概可分爲新採用者教育，或在勤者的教育，新採用者教育是將大學專門學校或中學校的新卒業生，施以短期教育，然後任命爲理事或職員，在勤者教育是將在勤職員，施以再教育的，這箇教育事情，完全歸朝鮮金融組合聯合會的教育部來擔當的，據說每年約有二千名內外受教育者，現

在金融組合八千餘名的職員，大部分都是受過這箇教育的，筆者因為這次的留學，是親得受過這種教育之一的，教師的得人，教育內容的充實，教育設備的完善，真出於我們的意想以上，實在令人感佩不置的，但是微感不足的，就是教育的期間較短，而稍有側重於技術教育的傾向，精神教育似乎稍有一些未能澈底，教授的方式，還是先生講學生聽，而不積極要求學生自動的研究，這一點和我們新民會的中央訓練處，恰是犯的一路病，不過關於這種感想，且等日後有暇時，再來發表，現在我們且把朝鮮金融組合職員的精神，去考察他一下，據聞現在朝鮮金融組合的職員，因為待遇的問題退職者頗多，京畿道一道昭和十四年度的退職者，就佔全道職員總數的三〇%，而且退職者之中轉入銀行公司去的佔四七%，因生活困難另想別途的佔二五%，因待遇不良而退職，這雖然不能完全歸罪於精神教育的不徹底，但是全體職員若都是對合作運動抱着熱誠和信念的同志結合，就是犧牲了生命也在所不惜，何能因為待遇不良就往別地方跑呢，結果我們也不能不說這是金融組合的職員們缺乏奮鬥的精神了，關於這一點我們應當反省的，就是我們的新民會職員，也不能說完全沒有這種情形的，有人對於這種情形很歎息的說：「新民會的待遇太低，不足以養人材，所以人材都從新民會裏跑出去了，」新民會是再建新中國同志的結合體，新民會的職員都應該是抱有同一思想和堅確信念的同志，而今後新民會的前途，我們知道一定是艱險多難的，為的達成我們新民會的大理想，要求我們諸同志最高度的奮鬥和犧牲，換一句話說，就是我們為的重建新中國，是要鞠躬盡瘁死而後已才能行呢，那種抱有享樂人生觀的退想思想的人材，或功利主義官僚式的人材，是須要從我們新民會中把他打出去的，養他們又有甚麼用處呢？同志們努力奮鬥吧！現在的問題不是新民會來怎樣的待遇我們，我們正須要去怎樣創造我們的新民會呢。

結 論

總而言之，朝鮮金融組合因為創立和發展的情形特殊，可謂一種官辦的合作運動，這種合作社的特長是成為政府的國策遂行機關，官的計劃和方針都能容易遂行，而他的

短處，是合作運動的自發性，和民主性大為喪失，社員對合作精神難理解，而職員又容易官僚化，雖然現在是統制經濟，但是政府為統制政策推行得圓滑，是必須要求民衆澈底的理解，和積極自動的協力，換句話說，就是合作社社員都要自動去實現生產報國或公益優先的理想，而政府又須明瞭民家經濟的實情，替民衆來謀福利的，所以在統制政策下的合作社，是要負有一方面要援助政府的國策遂行，一方面要政府的諮詢機關，及民意的代表機關的責任的，所以這種合作社運動，雖然他的絕對的自主性，是為國家的目的所限制，而其自身內部的自主性則應該因為這種使命的完成更強化的。朝鮮的金融組合因為發生的性質特殊，並因受政府直接強力的監督，國家機關的性質太強，民家運動的性質太弱，官的法律和命令合作社造出來了，在官的父權管理之下，把合作社養大了，合作社只有被動和依賴，到現在政府的父權有些成為合作社自主自動的障礙了，這樣現在朝鮮金融組合的指導者，還提倡政治中立，這深令人覺得朝鮮的金融組合，始終要止於被動和他主的地步，不許成為自動自主的民衆運動了，這樣「可使由之不可使知之」的辦法，弄成官僚的獨裁化，和職員的官僚化，沒有民衆指導者的氣概和熱誠大概是當然

的吧！但是朝鮮金融組合對於朝鮮民衆經濟改善的功績，不用等筆者來頌揚，已經早被家所公認的了？從資本主義最盛的時代，保護朝鮮民衆，不但沒有破產，反有顯著的向上，對於朝鮮的農村振興，和民度的向上，金融組合都有莫大功績的，據聞昭和十四年朝鮮的大旱，比前此六十幾年前大旱更甚，而前度大旱餓死者有三萬餘人，這次的大旱連一箇餓死的也沒有，據此我們可以想像到朝鮮民度向上的程度了。

朝鮮金融組合雖名為金融組合，但是他的活動部門，並不只限於金融，而是因缺乏政治性，和進取性，到現在對於生產以及購販等事業，沒能拿金融組合的力量，把他都辦到合理化，在金融部門也終沒能免掉弱者的地位，我們很替他遺憾的。

朝鮮金融組合現在已經迫於在新體制之下，將過去的諸般，嚴重的加以檢討，在新指導理念下再出發的必要硬說現在的一切都合乎新體制我們覺着事實上有些靠不住，不客氣的說，新體制在世界任何地方都沒有呢，硬說朝鮮金融組合的現在就是新體制，叫新體制聽見一定要哭了，其實真正的新體制，是要經過我們的同志們，今後絕大的奮鬥和創造，才能出現的，所以希望朝鮮金融組合的指導者諸公，不要拘泥過去的歷史，努力去創造吧！

(三〇、一、二三於那台)

養雞淺說 (續)

第二節 自然孵化法

劉俊明

利用母雞之天然就巢性，屬不宜。

而行孵卵，即母雞在一產卵期末，就起孵卵的念頭，體溫亦較增高，整巢抱卵，用自己的體溫，孵化雞卵，謂之自然孵化法。此法雖由母雞自己孵化，但亦須人類之保護及管理，方能得到良好之結果，其種卵之選擇，已如上述，但母雞之選擇，及巢箱之安置，關係亦極重要，尤得注意，蓋因將來之得利虧本，皆在此一時也，茲特將其應注意事項，分述如下：

1. 母雞宜選就巢性強者——往見許多母雞，在孵卵期內，靜躁無常，苦無恒性，一出巢外，便不思歸，雞卵若經冷時過久，則對幼雛之生育，發生障礙甚大。

2. 母雞宜擇舉動靜穩——不過於笨重者，笨重之雞出入巢時，往將雞卵踏破，性燥之雞，則有離不甚親切，皆

時若卵內有血痕者，即出孵出，第二期在十二三日間，此時卵內已略見雛形，屆時如無以上之形態，即可除去。

9. 每卵孵化的日數，因各種情形而異，短者十八九日，長者二十四五日，但多數在二十一、二日間。

第三節 人工孵化法
人工利用器械代替雞體，而孵化雞卵者，謂之人工孵化法，此法我國自古即已發明，法為利用火力及馬糞之熱源，以孵化雞卵，此法不甚完全，故成績亦不甚優良。後自科學進步，養雞事業漸漸發達，而孵卵方法亦逐漸改良，歐西各國，遂有

子之發育，妨害甚大。雞卵之下，宜敷些柔軟之物，免去卵破損之害，其管理上應注意之條件，亦為甚多，茲列記如下：

1. 孵卵器當置於空氣流通之地，且溫度無劇烈之變動，及隱靜而少震動之處。

2. 初次試用，可在使用前，就溫度之調節練習一二次，俟溫度一定後，再行入卵。

3. 孵卵器在孵卵前後，其溫度須保持一定，且適於抱卵雞之體溫，以華氏一〇二度為宜。

4. 注意濕度之平衡，如缺乏時，可用微溫之水撒佈卵面，而於近孵期，尤要注意。

5. 每日在一定之期間，將卵曝於外氣中二次，每次約二十分鐘，且同時將面之上下旋轉。

6. 於適當之時期宜行檢卵，其法及注意事項，與自然孵化法相同。

第四節 育雛法
卵孵至相當時日，雛在殼內發育完全後，即卵殼而出，成為雛雞。雛雞初出卵殼，身體極弱，對外界之抵抗力尚無，故於飼養，管理，及保護上，須處處留心，稍不留意，則易發生疾病，或致死亡，雞舍之中，務求清潔，平時常宜打掃，不可稍留污穢，更要預防外

界犬貓等之侵害，所給食物之多寡，亦須按照生長期之大小而異，茲將育雛應注意之各項，分別述之於下：

1. 初生之小雞，須於母雞之翅，或時和之陽光下，暫時休息，及烘乾羽毛上之濕氣。

2. 雞舍務求清潔，及預防外界之侵害。

3. 小雞出後一晝夜，可無給食，因此時小雞肚內，尚餘多量之卵黃，恐驟然給食，勢必停滯於胃中，反成便秘之症。

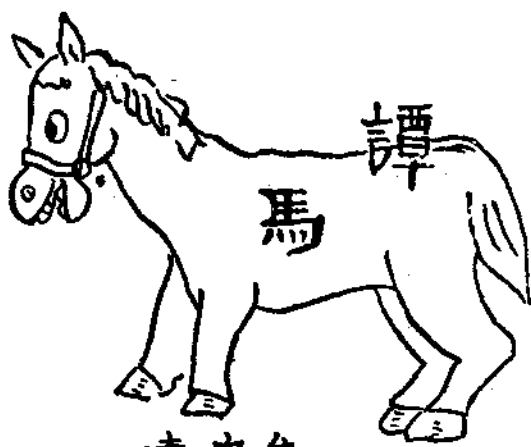
4. 第二日間，可用卵黃煮熟捻碎喂食，但量數不要過多。第三日以後，可飼以青菜麵粉，與牛奶或水的調合物，及動物質飼料。

- 5. 食料宜常更換，每種飼料，飼用數次後，即宜變更，以強健其胃部。
- 6. 飼料不宜多帶水分，因雞食多含水分之食物，易成下痢症。
- 7. 所給食物，務求清潔，且如米麥等堅硬食物，宜破碎喂之，可使容易消化。
- 8. 於炎熱及嚴冬之時，務要注意小雞之保護，以免凍斃及熱死。
- 9. 小雞之住所，務要空氣流通，及陽光充足。
- 10. 每日給食之次數，第一月可給食五六次，第二月可給食四次，第三月可再減至三次，每次分量，不可過多，亦不可過少。

雌雞雌雄之辨認甚難，然雌漸長成，孰雌孰雄，不能判認，亦為憾事，至審察之方法，非素有經驗的人，不能深悉，縱能約略言之，未必分毫不差，茲特將辨別之方法，分述如下，以備參考：

1. 聲高而銳者為雄雞，低而沈濁者為雌雞。
2. 動作強者為雄，較弱者為雌。

- 3. 撒餌於地上，其逃行速，及眼光銳敏者多為雄，逃行與見物遲者多為雌。
- 4. 頭大頸長，嘴大脚粗，脚後之距離顯著者為雄，否則為雌。
- 5. 羽毛尖銳有閃光者為雄，反則為雌。
- 6. 檢視肛門，附有小形之突起者為雄，無則為雌。
- 7. 臀部寬廣者為雌，窄小者為雄。



遠定焦

馬肉之用途
現在中國馬肉之用途，以馬肉為普通下等食品，其肉熟煮加醬油味尚美。幾與牛羊猪肉相當等。且市場中有馬肉舖，驢肉舖之設。

馬與藥
馬肉可以解熱消內臟毒，其用途據本草綱目有左列各種。

- 一、馬乳——甘冷無毒，止渴解熱，漢書禮樂誌（給大官相馬酒，法以馬乳為酒），宋史高昌國傳（以馬乳釀味，味亦醇厚），又以馬乳釀葡萄酒之一種，圖經本草（葡萄酒紫白二色，又有似馬乳者），韓愈葡萄詩，（若欲滿盤堆馬乳，莫辭添竹飲龍鬚）又謂元世祖有純白馬一萬匹，其牡之乳，帝室皇族飲之，因其父成吉思汗有功，故非皇族不能飲。（可見馬乳非常貴重，古羅馬人以驢乳化餅用。
- 二、馬心——治健忘、病、痞悶等症。
- 三、馬肺——治小兒葶藶第一品也。
- 四、馬肝——有大毒（本草綱目）馬肝及鞍下肉，殺人不可食，史記封禪書（父成食馬肝死耳漢書（馬稟火氣而生，火不能生木，故有肝無膽，膽者木之精氣也，木臟不足，故肝有大毒，食之者死）唯婦人月經不通時，赤馬肝之一分用火燒混之，以少量熱酒，於食前服之，經即通，蘇試有（崙石琢馬肝）之詩，蓋石如馬肝也。
- 五、馬腎——翼越集（馬有寶，寶在腎，牛有黃，在膽，造物之所鍾也，牛黃馬寶之類）為強壯劑。
- 六、陰莖——白馬之陰莖，甘鹹無毒，春期發情之時，執之乾燥百日，用之為強壯劑。治男女萎縮，強氣肥肉，種子等。與、牛、猿、獼、狐狸、狗、鹿、鯨、酒。
- 七、胞衣——駒胞衣乾後用之，治婦女月經不調，小兒驚癇。
- 八、夜眼——足膝之上之夜眼治齒痛。
- 九、牙齒——甘平有微毒，磨粉用之治小兒癩病及蟲牙等。
- 十、骨——骨有毒，磨粉治小兒頭瘡、耳瘡、陰瘡及小兒夜啼等。
- 十一、頭骨——甘微寒有微毒，治齒痛，頭瘡耳瘡，不眠症等。
- 十二、懸蹄——甘平無毒，治齒痛，癩癧，頭瘡，小兒夜啼，婦人血病等。
- 十三、鬚毛（即鬣）有毒燒用之，治惡瘡，小兒之癩，止血等。
- 十四、尾——燒用之，治齒痛。
- 十五、皮——婦人臨產時，敷以赤馬皮，可以催生用。
- 十六、腦——有毒食之可以致癲，唯以酒混飲，可以戒酒。
- 十七、血——有大毒，生馬之血入人肉中，一二日即死，然古代韃靼人有飲馬血者。
- 十八、汗——有大毒，和酒

（未完）

飲之，可以戒酒。

十九、馬溺(小便)——白馬之溺治消渴及積聚癥症等，並治婦人乳腫，小兒赤疔，蟲牙疼痛。以白鼈浸馬溺中，食之治心腹痛。

二十、馬通(馬糞)——微溫無毒，取馬糞用水浸絞汁與

乾燥馬糞和丸治婦人產後，吐血不止，衄血不止，口鼻出血，卒終惡死，久痢赤血白，攪腸沙痛，小兒卒忤，小兒哭啼，傷寒勞喘，熱毒攻肢，風蟲牙痛，鼻色不開，筋骨傷破，疔腫傷風，多年惡瘡，諸瘡傷水，凍指欲墮，積聚脹滿，一切漏病等。

其他如以馬糞作燃料(漢書)(以馬通重之)又(臥就複船下，以馬通惠之)蒙古牛馬之糞無用駱駝糞，(左傳)(殺而埋之馬矢之中。北方有在糞堆中，行雞卵解化者，日本古陣中以馬糞爲薪，又以馬糞汁洗手傷。

二十一、馬勃——韓愈(牛溲馬勃兼收並蓄)馬勃非馬糞，本草綱目(馬勃園中之

涇地及腐木上生，夏秋采類，土人掘取洗滌，去皮切薄酒乾爲藥功力較蕪蓉大百倍，)而無夫之婦可用以代男。其他如神馬草，馬醉木等尚多。

馬皮與鬣尾之用法 中國利用馬皮之掌故甚多，後漢書馬援傳，(男兒當死於邊野，以馬革裹屍還之語何能臥床上，與女兒伍)等語，馬皮較牛皮稍薄弱，但用途亦廣，北京之白馬皮箱，即白馬皮所製之箱也，又古之鞍轡亦有馬皮製者，木蘭辭(東市買駿馬西市買鞍轡)之語。

又馬革可以製船(後漢書南匈奴傳，(作馬革船，)吳萊詩(婆夷航革船)今黃河上流包頭一帶，尙利用革，運輸貨物。

馬之鬣，在清朝時代用其附於帽項，名馬尾頂，又馬尾製拂塵，俗名名蒼蠅刷兒。

(野馬或蛟龍之遺精入地生鎖陽，其形如筆，上豐下儉，鱗甲栴比，筋絡連接，似男子陽具，即肉蕪蓉之

(未完)

關於皮膚的健康……(二) 方一知

頭髮指甲的清潔

住在鄉村的人們，大都工作繁忙的，辛苦的；性情大都又是誠樸的，守分的，所以對工作是忠實的，因之爲了工作的完成，對自己身體的保護，便不注意了。且說頭髮與指甲吧。常見許多女人，十天八天也不把頭髮梳理一次，以致頭上像頂了一個鳥巢，髮色蒼黃，灰土堆積，那實在失却髮的美的存在了。並且，髮內塵埃堆積，則皮膚孔道即被塞閉，毛囊亦即不得充分之營養，日久毛囊先凋，新髮就無由而生了，舊髮日漸黃萎，更屬當然。所以，在萬分忙迫中，也應偷暇常把頭梳一梳，洗一洗，假如可能時，無妨少許塗以品質純良的油類。這不但對自己髮的健康的保護，是應當的，就是對於家庭生活的和樂說，也是應該的。一些所謂鄉村的大家閨秀們，爲了弄花拿那極小的針，指甲都是留得長長的，她們更以此爲美。其實，那樣美態，現代已不需要了。至於一般農婦農夫對指甲很少注意，儘讓指甲在工作時磨滑，或者因工作使指甲成了畸形發展，更有因工作把指甲整個揪掉。最普遍的，是指甲內任泥垢積藏，不知剪除，任病菌藏在裡面，因搔癢，因食物，以致引起不測病症，這是很可惜的！假如指甲常剪，自能清潔，並且，工作便利，自然不易折傷了。

華北合作 第七卷·第二期

民國三十年三月廿日出版

新民會中央總會厚生部合作科內

編輯者 華北合作編輯室

出版者 新民合作社中央會

定價 一部 五十錢

一今年 五元 (送料不要)

前號目次

卷頭言……………(一)

新民會と合作社の關係……………(二)

速かに中樞機關を設置せよ……………(八)

◆華北合作の誕生……………(一一)

三十年代の合作社運動……………(二二)

を如何に闘ふか……………(二六)

◆華北に躍る合作社群像……………(二九)

重慶・共産黨勢力下の合作社……………(一九)

—これと如何に闘ふべきか—

◆日本産業組合の動き……………(二二)

◆經濟情報……………(二八—三二)

◆新民會第一回全体協議會で經濟關係議案はどう處理されたか……………(二三)

◆斜視—土地所有と農業經營……………(三一)

國策會社と協同組合……………(三二)

◆勸業彙報……………(三四)

◆華北合作何でも来い……………(三四)

◆玉田縣に於ける土布に関する調査……………(三五)

春淺し爐邊の噂に……………(三八)

戯語のこと……………(三八)

▽華文版目次……………(四十一頁)

會央中社作合民新

製定社作合學賑

民新

級高

筆年萬

(費資料送)圖十三打一□

よれま込申宛科作合部生厚會總央中□

△國定教科書之印刷・販賣!

印刷

活版、膠版、平版、原色版、其他高價印刷、製本、設備完備

中日合辦
資本金五百萬圓

出版

中國出版界之指導、綜合雜誌、各種研究、文藝、古典複製



新民印書館

學用品

中國學校用品、事務用品之製作、販賣

北京阜成門外北禮士路
代表電話(二)二二三〇番西

△各種出版物之刊行!

備設新最

國際運輸



北支支社

支店所在地

營業種目

- 一、海陸運送及運送取扱營業
- 二、倉庫營業
- 三、代辦及保證行爲
- 四、勞力請負
- 五、委託販賣業
- 六、直接又ノ間接ニ運送ニ關係アル資金ノ供給
- 七、前各號ニ關聯スル一切ノ業務

○本社
 大連市山縣
 通三二番地
 營業地域
 滿鐵本支線
 滿洲國有線
 各河川以
 上各沿線沿
 岸及背後地
 主要地

支店 天津 北京 濟南 青島 石門
 太原 徐州 開封
 連雲 芝罘 塘沽 唐山 保定
 新鄉 滄縣 灤縣 豐臺
 秦皇島 正定 榆次 臨冷 運城
 門頭溝 順德 彰德 邯鄲 高邑
 陽泉 清化鎮 德縣 博山 益都
 焦作 大汶口 兗州 濟寧
 張店 運河 蚌埠 膠縣 高密
 新安鎮 濰縣 海州 商邱 龍口
 坊子 濰縣 海州 商邱 龍口
 威海衛
 京山 京漢 津浦 膠濟 隴海
 同浦 石太 道清
 各鐵道沿線及背後地 主要地

出張所 蒙疆運輸股份
 有限公司本
 社(張家口)
 出張所 大同
 厚和 包頭
 營業所 南口
 康莊 宣化
 豐鎮 平地泉
 口泉 下花園

支社社長白井喜一

北京王府井大街

